

令和6年度公共用水域水質測定結果

令和8年3月

環境省 水・大気環境局

目 次

1. はじめに	1
2. 水質測定項目等について	1
3. 測定結果の概要	2
4. まとめ	7
(資料)	
表1 令和6年度公共用水域における水質測定地点数及び検体数	8
表2 健康項目の環境基準達成状況(非達成率)	9
表3-1 環境基準の達成状況(BOD又はCOD)	10
表3-2 広域的な閉鎖性海域における環境基準の達成状況(COD)	11
表4 環境基準達成率の推移(BOD又はCOD)	11
図1-1 環境基準達成率の推移(BOD又はCOD)	12
図1-2 広域的な閉鎖性海域における環境基準達成率の推移(COD)	12
表5 水域群別・類型別水質の推移(BOD又はCOD年間平均値)	13
図2-1 水域群別水質の推移(BOD又はCOD年間平均値)	14
図2-2 河川における類型別水質の推移(BOD年間平均値)	14
図2-3 湖沼における類型別水質の推移(COD年間平均値)	15
図2-4 海域における類型別水質の推移(COD年間平均値)	15
表6 広域的な閉鎖性海域における水質状況の推移(COD年間平均値)	16
図3 広域的な閉鎖性海域における水質状況の推移(COD年間平均値)	17
表7 指定湖沼の水質状況の推移(COD)	18
図4 指定湖沼の水質状況の推移(COD年間平均値)	18
表8 環境基準の達成状況(大腸菌数)	19
図5 環境基準達成率の推移(大腸菌数)	20
表9 水域群別・類型別水質の推移(大腸菌数年間平均値)	20
図6-1 水域群別水質の推移(大腸菌数年間平均値)	21
図6-2 河川における類型別水質の推移(大腸菌数年間平均値)	21
図6-3 湖沼における類型別水質の推移(大腸菌数年間平均値)	22
図6-4 海域における類型別水質の推移(大腸菌数年間平均値)	22
表10-1 湖沼における全窒素及び全燐の環境基準達成状況	23
表10-2 湖沼における全窒素及び全燐の環境基準達成率の推移	23
図7 湖沼における全窒素及び全燐の環境基準達成率の推移	24
表11 湖沼における全窒素及び全燐の類型別の濃度推移	24
図8-1 湖沼における全窒素の類型別の濃度推移	25
図8-2 湖沼における全燐の類型別の濃度推移	25
表12 指定湖沼における全窒素及び全燐の濃度推移	26
図9-1 指定湖沼における全窒素の濃度推移(全地点平均)	27
図9-2 指定湖沼における全燐の濃度推移(全地点平均)	27
表13-1 海域における全窒素及び全燐の環境基準達成状況	28
表13-2 海域における全窒素及び全燐の環境基準達成率の推移	28
図10 海域における全窒素及び全燐の環境基準達成率の推移	29
表14 広域的な閉鎖性海域における全窒素及び全燐の環境基準達成率の推移	29
図11 広域的な閉鎖性海域における全窒素及び全燐の環境基準達成率の推移	30

表15	海域における全窒素及び全燐の種類別の濃度推移	30
図12-1	海域における全窒素の種類別の濃度推移	31
図12-2	海域における全燐の種類別の濃度推移	31
表16	広域的な閉鎖性海域における全窒素及び全燐の濃度推移	32
図13-1	広域的な閉鎖性海域における全窒素の種類別の濃度推移	34
図13-2	広域的な閉鎖性海域における全燐の種類別の濃度推移	35
表17-1	水生生物保全に係る環境基準の達成状況（全亜鉛）	36
表17-2	水生生物保全に係る環境基準の達成状況（ノニルフェノール）	37
表17-3	水生生物保全に係る環境基準の達成状況 （直鎖アルキルベンゼンスルホン酸及びその塩）	38
図14-1	全亜鉛濃度（年間平均値）の分布状況（地点数）	39
図14-2	ノニルフェノール濃度（年間平均値）の分布状況（地点数）	40
図14-3	直鎖アルキルベンゼンスルホン酸及びその塩濃度（年間平均値）の分布状況 （地点数）	41
図15	底層溶存酸素量濃度（日間平均値の年間最低値）の分布状況（地点数）	42
図16-1	トリハロメタン生成能の濃度（年間平均値）の分布状況（地点数）	43
図16-2	トリハロメタン生成能の濃度推移（年間平均値）	43
表18	トリハロメタン生成能の濃度推移（年間平均値）	43
表19-1	人の健康の保護に係る要監視項目の指針値超過状況（令和6年度）	44
表19-2	人の健康の保護に係る要監視項目の指針値超過状況 （平成6年度～令和6年度累計）	45
表19-3	水生生物保全に係る要監視項目の指針値超過状況（令和6年度）	46
図17	水生生物保全に係る要監視項目の濃度分布状況	47
（参考資料）		
参考1	水質汚濁に係る環境基準、要監視項目及び指針値	49
参考2-1	令和6年度健康項目環境基準値超過地点一覧	56
参考2-2	健康項目に係る環境基準値超過検体数（平成27年度～令和6年度）	58
参考3-1	生活環境項目（全窒素及び全燐を除く）に係る環境基準値超過検体数 （平成27年度～令和6年度）	60
参考3-2	生活環境項目（全窒素及び全燐）に係る環境基準値超過検体数 （平成27年度～令和6年度）	64
参考4-1	BOD又はCODが低い水域	65
参考4-2	BOD又はCODが高い水域	67
参考5	濃度差及び増減率から見た水質改善の上位水域	68
（付表）		
付表1	河川のBODの水域毎データ（都道府県別）	70
付表2	湖沼のCODの水域毎データ（都道府県別）	109
付表3	海域のCODの水域毎データ（都道府県別）	113
付表4	湖沼の全窒素及び全燐の水域毎データ（都道府県別）	123
付表5	海域の全窒素及び全燐の水域毎データ（都道府県別）	127
付表6	全亜鉛の水域毎データ（都道府県別）	133
付表7	ノニルフェノールの水域毎データ（都道府県別）	156
付表8	直鎖アルキルベンゼンスルホン酸及びその塩（LAS）の水域毎データ（都道府県別）	178

1. はじめに

公共用水域の水質の測定は、「水質汚濁防止法」（昭和45年法律第138号）の規定に基づき、昭和46年度以来、水質汚濁に係る環境基準が定められている項目（以下「環境基準項目」という。（参考1））を中心に、全国の都道府県が毎年定める測定計画に従って、都道府県、水質汚濁防止法政令市のほか、一級河川のうち国の直轄管理区間については、国土交通省地方整備局等（以下「都道府県等」という。）によって実施されている。

また、「特定水道利水障害の防止のための水道水源水域の水質の保全に関する特別措置法」（平成6年法律第9号。以下「水道水源法」という。）の規定に基づき、平成7年度以降、水道水源水域におけるトリハロメタン生成能の測定が、同じく都道府県等によって実施されている。

本報告は、都道府県等が令和6年度に実施した公共用水域の水質測定結果のうち、環境基準項目・トリハロメタン生成能及び要監視項目についてとりまとめ、全国的な水質の状況を把握することにより、今後の水環境行政の円滑な推進に資することを目的として実施したものである。

なお、公共用水域の水質等のダイオキシン類測定については、「ダイオキシン類対策特別措置法」（平成11年法律第105号）の規定に基づき、平成12年度から都道府県、同法政令市及び国土交通省地方整備局等によって全国的に実施されているが、大気、土壌等とともに別途取りまとめているので、本報告書には含めていない。

2. 水質測定の項目等について

(1) 測定項目

環境基準項目（参考1）は、カドミウム、全シアンといった人の健康の保護に関する項目（以下「健康項目」という。）と、有機汚濁の代表的指標である生物化学的酸素要求量（BOD）又は化学的酸素要求量（COD）、水素イオン濃度（pH）、全窒素及び全リン等の生活環境の保全に関する項目（以下「生活環境項目」という。）に大別される。

健康項目は、水質測定が開始された昭和46年度には8項目であったが、以降、順次見直され、現在では27項目となっている。健康項目に係る環境基準は、全国の全ての公共用水域に適用されるものであるが、ふっ素及びほう素については、海域における濃度が自然状態で環境基準値を上回っていることから、海域には適用しないこととされている。

生活環境項目は、水質測定が開始された昭和46年度には7項目であったが、以降、順次見直され、現在では13項目（令和4年4月に大腸菌群数が大腸菌数に見直された。）となっている。生活環境項目の環境基準は、国又は都道府県が、水域群（河川、湖沼及び海域）別に、利水目的等に応じて環境基準の類型指定を行った水域（以下「類型指定水域」という。）について適用されることとされており、本報告書ではこれら類型指定水域において行われた水質測定結果をとりまとめている。

また、「水道水源法」の規定に基づき、特定項目とされているトリハロメタン生成能については平成7年度より測定が行われている。

この他、人の健康の保護に係る物質、または、生活環境のうち水生生物の保全に係る物質ではあるが、公共用水域等における検出状況等からみて、直ちに環境基準項目とはせず、引き続き知見の集積に努めるべき物質を「要監視項目」（参考1）として設定し、都道府県ごとの水質測定計画への位置づけ等により知見の収集に努めている。現在、要監視項目は、人の健康の保護に係る要監視項目として27項目（令和2年5月にペルフルオロオクタンスルホン酸及びペルフルオロオクタン酸が追加された。）、水生生物保全に係る要監視項目として6項目が設定されている。

(2) 測定地点数及び検体数

令和6年度における健康項目の測定地点数及び検体数は、前年度に比べ、それぞれ0.1%減少(5,274地点)、0.1%増加(187,605検体)した。また、生活環境項目の測定地点数及び検体数は、前年度に比べ、それぞれ0.4%増加(7,055地点(類型指定水域数:3,454水域))、13.4%減少(398,962検体)した(表1)。

3. 測定結果の概要

(1) 健康項目の環境基準の達成状況

健康項目全体(27項目)の環境基準達成率は99.1%(前年度99.0%)となった。

環境基準値の超過は、カドミウム、鉛、砒素、1,2-ジクロロエタン、硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素、ふっ素及びぼう素の7項目について、のべ50地点でみられ、水域群別では、河川が7項目のべ46地点、湖沼が2項目のべ4地点、海域については、超過地点なしであった(表2)。

環境基準値超過の主な原因としては、海水の影響によるものを除くと、地質等による自然由来が最も多く、砒素、ふっ素ではこれが主たる原因となっている。この他は、休廃止鉱山廃水、温泉排水、農業肥料及び家畜排泄物等が原因となっている。

(2) 生活環境項目の環境基準の達成状況

① 河川

A) BOD

河川のBODについては、類型指定水域(2,619水域)における環境基準達成率は93.9%(前年度2,576水域、93.8%)であり、前年度より、0.1ポイント増加した(表3-1、表4、図1-1)。また、BODの昭和54年度からの推移をみると、昭和62年度までは3.0mg/L程度であったものが、年々低下傾向を示し、令和6年度は1.1mg/Lとなっている(表5、図2-1、図2-2)。

B) 大腸菌数

河川の大腸菌数については、類型指定水域の環境基準点(2,378地点)における環境基準適合率は60.0%(前年度2,453地点、58.3%)であり、前年度より、1.7ポイント増加した(表8、図5)。

C) 水生生物保全に係る環境基準項目(全亜鉛、ノニルフェノール、直鎖アルキルベンゼンスルホン酸及びその塩(LAS))

河川的全亜鉛については、類型指定されていない水域も含め、令和6年度は3,420地点で測定が行われ(類型指定されている水域数及び測定地点数は、それぞれ1,316水域、2,083地点)、類型指定水域における環境基準達成率は、98.1%であった(表1、表17-1)。また、河川における全亜鉛の環境基準値は0.03mg/L以下となっており、年間平均値の分布状況は図14-1のとおりであった(図14-1)。

河川のノニルフェノールについては、類型指定されていない水域も含め、令和6年度は2,510地点で測定が行われ(類型指定されている水域数及び測定地点数は、それぞれ1,218水域、1,665地点)、類型指定水域における環境基準達成率は、99.9%であった(表1、表17-2)。また、河川におけるノニルフェノールの環境基準値は、生物A環境基準値が0.001mg/L以下、生物特A環境

基準値が0.0006mg/L以下、生物B及び生物特B環境基準値が0.002mg/L以下となっており、年間平均値の分布状況は図14-2のとおりであった（図14-2）。

河川のLASについては、類型指定されていない水域も含め、令和6年度は2,508地点で測定が行われ（類型指定されている水域数及び測定地点数は、それぞれ1,203水域、1,649地点）、類型指定水域における環境基準達成率は、99.9%であった（表1、表17-3）。また、河川におけるLASの環境基準値は、生物A環境基準値が0.03mg/L以下、生物特A環境基準値が0.02mg/L以下、生物B環境基準値が0.05mg/L以下、生物特B環境基準値が0.04mg/L以下となっており、年間平均値の分布状況は図14-3のとおりであった（図14-3）。

② 湖沼

A) COD

湖沼のCODについては、類型指定水域（199水域）における環境基準達成率は50.8%（前年度192水域、52.6%）であり、前年度より1.8ポイント減少した（表3-1、表4、図1-1）。また、CODの昭和54年度からの推移をみると、平成14年度以前は3mg/L台後半でほぼ横ばいであり、平成15年度以降は3mg/L台前半で推移していたが、令和6年度は3.7mg/Lとなっている（表5、図2-1、図2-3）。

なお、湖沼水質保全特別措置法（昭和59年法律第61号）に基づく11の指定湖沼は、令和5年度に類型がAAからAとなった野尻湖以外は、環境基準を達成していない（表7、図4）。

B) 大腸菌数

湖沼の大腸菌数については、類型指定水域の環境基準点（232地点）における環境基準適合率は97.4%（前年度239地点、97.9%）であり、前年度より、0.5ポイント減少した（表8、図5）。

C) 全窒素及び全燐

湖沼の全窒素及び全燐については、類型指定水域（124水域）における環境基準達成率は51.6%（前年度50.8%）であった。

また、全窒素、全燐それぞれについてみると、全窒素については、類型指定水域（42水域）における環境基準達成率は21.4%（同19.0%）であり、全燐については、類型指定水域（124水域）における環境基準達成率は54.0%（同51.6%）であった（表10-1、表10-2、図7）。

D) 水生生物保全に係る環境基準項目（全亜鉛、ノニルフェノール、直鎖アルキルベンゼンスルホン酸及びその塩（LAS））

湖沼の全亜鉛については、類型指定されていない水域も含め、令和6年度は303地点で測定が行われ（類型指定されている水域数及び測定地点数は、それぞれ123水域、201地点）、類型指定水域における環境基準達成率は、100%であった（表1、表17-1）。また、湖沼における全亜鉛の環境基準値は0.03mg/L以下となっており、年間平均値の分布状況は図14-1のとおりであった（図14-1）。

湖沼のノニルフェノールについては、類型指定されていない水域も含め、令和6年度は226地点で測定が行われ（類型指定されている水域数及び測定地点数は、それぞれ121水域、163地点）、類型指定水域における環境基準達成率は、100%であった（表1、表17-2）。また、湖沼におけ

るノニルフェノールの環境基準値は、生物A環境基準値が0.001mg/L以下、生物特A環境基準値が0.0006mg/L以下、生物B及び生物特B環境基準値が0.002mg/L以下となっており、年間平均値の分布状況は図14-2のとおりであった（図14-2）。

湖沼のLASについては、類型指定されていない水域も含め、令和6年度は228地点で測定が行われ（類型指定されている水域数及び測定地点数は、それぞれ121水域、163地点）、類型指定水域における環境基準達成率は、100%であった（表1、表17-3）。また、湖沼におけるLASの環境基準値は、生物A環境基準値が0.03mg/L以下、生物特A環境基準値が0.02mg/L以下、生物B環境基準値が0.05mg/L以下、生物特B環境基準値が0.04mg/L以下となっており、年間平均値の分布状況は図14-3のとおりであった（図14-3）。

E) 底層溶存酸素量（底層D0）

湖沼の底層D0については、令和6年度は175地点で測定が行われた（表1）。湖沼における底層D0の環境基準値は、生物1環境基準値が4.0mg/L以上、生物2環境基準値が3.0mg/L以上、生物3環境基準値が2.0mg/L以上となっており、日間平均値の年間最低値の分布状況は図15のとおりであった（図15）。

指定湖沼について

湖沼は閉鎖性の水域であり、汚濁物質が蓄積しやすいため、河川等に比べて環境基準の達成率が低い。また、富栄養化に伴い、利水障害も生じている。湖沼の水質汚濁の原因は、多岐にわたっており、湖沼水質保全のためには、従来からの水質汚濁防止法による規制だけでは十分ではないこと等にかんがみ、昭和59年に湖沼水質保全特別措置法が制定され、昭和60年3月から施行されている。

同法に基づき、これまでに、琵琶湖、霞ヶ浦等の11湖沼が指定湖沼として指定され、湖沼水質保全計画に基づき、下水道の整備等水質の保全に資する事業の推進や工場排水等に対する負荷規制等の各種施策が実施されてきた。

これらの結果、湖沼に流入する汚濁負荷量は削減されてきたものの、ほとんどの指定湖沼において、未だ環境基準が達成されていない状況にあるため、平成18年4月に改正湖沼水質保全特別措置法を施行し、これまでの対策に加えて、農地、市街地等のいわゆる「面源」から湖沼へ流入する汚濁負荷の削減を図るための対策の推進、湖沼の水質の改善に資する湖辺の植生の保護等の措置を講じることとした。

指定湖沼（関係府県）	指定時期	湖沼水質保全計画（計画年次）
霞ヶ浦（茨城県、栃木県、千葉県）	昭和60年12月	第8期（令和3～7年度）
印旛沼（千葉県）	〃	第8期（令和3～7年度）
手賀沼（千葉県）	〃	第8期（令和3～7年度）
琵琶湖（滋賀県、京都府）	〃	第8期（令和3～7年度）
児島湖（岡山県）	〃	第8期（令和3～7年度）
諏訪湖（長野県）	昭和61年10月	第8期（令和4～8年度）
釜房ダム（宮城県）	昭和62年9月	第7期（令和4～13年度）
中海（鳥取県、島根県）	平成元年2月	第8期（令和6～10年度）
宍道湖（島根県）	〃	第8期（令和6～10年度）
野尻湖（長野県）	平成6年10月	第7期（令和6～10年度）
八郎湖（秋田県）	平成19年12月	第3期（令和元～6年度）

③ 海域

A) COD

海域のCODについては、類型指定水域（616水域）における環境基準達成率は78.2%（前年度590水域、80.5%）であり、前年度より2.3ポイント減少した（表3-1、表4、図1-1）。ま

た、COD の昭和 54 年度からの推移をみると、1.6～1.9mg/L でほぼ横ばいに推移している（表 5、図 2-1、図 2-4）。

海域のうち、広域的な閉鎖性海域であり水質総量削減の対象となっている東京湾、伊勢湾及び瀬戸内海の環境基準達成率は、東京湾 63.2%（前年度 68.4%）、伊勢湾 56.3%（同 50.0%）、大阪湾 66.7%（同 66.7%）、瀬戸内海（大阪湾を除く）81.1%（同 79.1%）であった（表 3-2、図 1-2）。

B) 大腸菌数

海域の大腸菌数については、類型指定水域の環境基準点（711 地点）における環境基準適合率は 87.5%（前年度 758 地点、88.7%）であり、前年度より、1.2 ポイント減少した（表 8、図 5）。

C) 全窒素及び全燐

海域の全窒素及び全燐については、類型指定水域（152 水域）における環境基準達成率は 89.5%（前年度 88.2%）であり、類型指定が 100 水域を超えた平成 10 年度以降、徐々に上昇傾向であり、今年度は前年度より 1.3 ポイント増加した（なお、海域については、全窒素のみ又は全燐のみに環境基準を適用する水域はない）（表 13-1、表 13-2、図 10）。

D) 水生生物保全に係る環境基準項目（全亜鉛、ノニルフェノール、直鎖アルキルベンゼンスルホン酸及びその塩（LAS））

海域の全亜鉛については、類型指定されていない水域も含め、令和 6 年度は 866 地点で測定が行われ（類型指定されている水域数及び測定地点数は、それぞれ 45 水域、240 地点）、類型指定水域における環境基準達成率は、97.8%であった（表 1、表 17-1）。また、海域における全亜鉛の環境基準値は、生物 A 環境基準値が 0.02mg/L 以下、生物特 A 環境基準値が 0.01mg/L 以下となっており、年間平均値の分布状況は図 14-1 のとおりであった（図 14-1）。

海域のノニルフェノールについては、類型指定されていない水域も含め、令和 6 年度は 572 地点で測定が行われ（類型指定されている水域数及び測定地点数は、それぞれ 45 水域、273 地点）、類型指定水域における環境基準達成率は、100%であった（表 1、表 17-2）。また、海域におけるノニルフェノールの環境基準値は、生物 A 環境基準値が 0.001mg/L 以下、生物特 A 環境基準値が 0.0007mg/L 以下となっており、年間平均値の分布状況は図 14-2 のとおりであった（図 14-2）。

海域の LAS については、類型指定されていない水域も含め、令和 6 年度は 582 地点で測定が行われ（類型指定されている水域数及び測定地点数は、それぞれ 45 水域、273 地点）、類型指定水域における環境基準達成率は、100%であった（表 1、表 17-3）。また、海域における LAS の環境基準値は、生物 A 環境基準値が 0.01mg/L 以下、生物特 A 環境基準値が 0.006mg/L 以下となっており、年間平均値の分布状況は図 14-3 のとおりであった（図 14-3）。

E) 底層溶存酸素量（底層 D0）

海域の底層 D0 については、令和 6 年度は 779 地点で測定が行われた（表 1）。海域における底層 D0 の環境基準値は、生物 1 環境基準値が 4.0mg/L 以上、生物 2 環境基準値が 3.0mg/L 以上、生物

3環境基準値が2.0mg/L以上となっており、日間平均値の年間最低値の分布状況は図15のとおりであった（図15）。

水質総量削減について

昭和53年、水質汚濁防止法及び瀬戸内海環境保全特別措置法に基づき、広域的な閉鎖性海域のうち、人口、産業等が集中し、排水基準のみでは環境基準を達成維持することが困難な海域である東京湾、伊勢湾及び瀬戸内海を指定水域として、当該水域に流入する汚濁負荷量の総量を削減することを目的に、水質総量削減制度が導入された。

昭和54年以来、5年ごと9次にわたり、削減目標量を定め、汚濁負荷量を削減（化学的酸素要求量（COD）は第1次から削減対象に指定、全窒素及び全リンは第5次から追加）しており、各指定水域の後背地における排水量が50 m³/日以上以上の工場・事業場に対し、総量規制基準による排水規制を実施するとともに、下水道、浄化槽等の生活排水処理施設の整備等の汚濁負荷削減対策を実施している。また、近年では、指定水域における干潟・藻場の保全・再生や底質環境の改善等についても推進を図っている。

(3) トリハロメタン生成能

トリハロメタン生成能については、令和6年度は河川431地点、湖沼65地点で測定が行われ、全体の平均値は0.048mg/L（前年度0.047mg/L）であり、平成9年度以降0.04～0.05mg/Lで横ばいに推移している（表1、図16-2、表18）。

トリハロメタン生成能について

水道水源法に基づき、特定水道利水障害を防止するため指定水域及び指定地域に指定された場合に、当該水域を水源とする浄水場の浄水処理方法、水温等を勘案して、当該水域の水質目標を定め、評価することとされているが、現在のところ指定がない。

トリハロメタンとは、メタン（CH₄）の4つの水素原子のうち3個が塩素や臭素等のハロゲン原子で置き換わった化合物で発がん性物質である。具体的には、クロロホルム（CHCl₃）、ブロモジクロロメタン（CHBrCl₂）、ブロモホルム（CHBr₃）、ジブロモクロロメタン（CHBr₂Cl）の4物質が代表的な物質である。これらのトリハロメタンは、水道原水中に含まれるフミン質等の有機物質が、浄水処理の過程で注入される塩素と反応して生じる。トリハロメタン生成能とは、一定の条件下でその水がもつトリハロメタンの潜在的な生成量をいい、具体的には一定のpH（7±0.2）及び温度（20℃）において、水に塩素を添加して一定時間（24時間）経過した場合に生成されるトリハロメタンの量で表される。

(4) 要監視項目

人の健康保護に係る要監視項目（27項目）については、令和6年度は、河川において508～1,469地点、湖沼において18～45地点、海域において55～125地点で測定が行われた（項目により測定地点数が異なる）。指針値の超過は、モリブデン及びアンチモンが河川で、全マンガン並びにペルフルオロオクタンスルホン酸（PFOS）及びペルフルオロオクタン酸（PFOA）が河川と湖沼で、ウランが河川と海域でみられた（表19-1）。水生生物保全に係る要監視項目（6項目）については、指針値の超過はみられなかった（表19-3、図17）。

要監視項目について

平成5年1月の中央公害対策審議会答申（水質汚濁に係る人の健康の保護に関する環境基準の項目追加等について）を受け、「人の健康の保護に関連する物質ではあるが、公共用水域等における検出状況等からみて、直ちに環境基準とはせず、引き続き知見の集積に努めるべき物質」として、環境庁が平成5年3月に設定したものである。

4. まとめ

健康項目については、これまで水質汚濁防止法による工場・事業場に対する排水規制の強化等により、全国的にはほぼ環境基準を達成している状況である。

生活環境項目については、水質汚濁防止法に基づく排水規制や下水道等の排水処理施設の整備等が推進され、河川の有機汚濁（BOD）は90%以上の環境基準達成率を確保しているが、湖沼や海域の有機汚濁（COD）や、それと密接に関わる全窒素及び全磷による水質汚濁の改善には、なお努力が必要な状況にある。また、ふん便汚染がよりの確に把握することを目的として、令和4年に見直された大腸菌数については、環境基準達成率について注視していく。

表1 令和6年度公共用水域における水質測定地点数及び検体数

水域等 測定項目		河川			湖沼			海域			全体		
		水域数	地点数	検体数	水域数	地点数	検体数	水域数	地点数	検体数	水域数	地点数	検体数
健康項目		-	3,809	145,109	-	416	14,883	-	1,049	27,613	-	5,274	187,605
生活環境項目		6,370	4,559 (9,924)	240,278	692	483 (1,331)	47,476	906	2,013 (3,798)	111,208	7,968	7,055 (15,053)	398,962
BOD等7項目	全体	2,633	4,527	214,326	203	478	38,407	618	2,010	90,192	3,454	7,015	342,925
	AA	406	570	25,322	28	119	7,448	-	-	-			
	A	1,343	2,393	111,877	156	306	27,819	279	1,319	59,887			
	B	522	910	46,501	19	53	3,140	220	443	19,471			
	C	273	501	23,248	-	-	-	119	248	10,834			
	D	69	123	6,273	-	-	-	-	-	-			
E	20	30	1,105	-	-	-	-	-	-				
全窒素及び 全燐	全体	-	-	-	124	326	5,427	153	1,002	16,397	277	1,328	21,824
	I	-	-	-	9	22	140	13	75	1,168			
	II	-	-	-	59	143	2,232	93	634	9,894			
	III	-	-	-	36	98	1,819	36	164	3,159			
	IV	-	-	-	16	49	884	11	129	2,176			
V	-	-	-	4	14	352	-	-	-				
全亜鉛 (水生生物)		1,316	2,083	12,511	123	201	1,770	45	240	1,515	1,484	2,524	15,796
		-	[3,420]	[17,674]	-	[303]	[2,802]	-	[866]	[3,697]			
ノニルフェノール (水生生物)		1,218	1,665	6,427	121	163	915	45	273	1,513	1,384	2,101	8,855
		-	[2,510]	[9,008]	-	[226]	[1,319]	-	[572]	[2,296]			
LAS (水生生物)		1,203	1,649	7,014	121	163	957	45	273	1,591	1,369	2,085	9,562
		-	[2,508]	[9,644]	-	[228]	[1,374]	-	[582]	[2,383]			
底層DO						[175]	[1,687]		[779]	[6,231]		[954]	[7,918]
トリハロメタン生成能		-	431	2,002	-	65	222	-	-	-	-	496	2,224

注:1)生活環境項目の地点数合計の()内の値は、のべ地点数(BOD等7項目の地点数と全窒素及び全燐の地点数、全亜鉛、ノニルフェノール、LAS(水生生物)の地点数の単純合計)である。

2)生活環境項目の全亜鉛、ノニルフェノール、LAS、底層DOの[]内の値は類型指定されていない水域も含めた値を記載しており、生活環境項目の合計値には含まれていない。

3)生活環境項目の底層DO(施行期日:平成28年3月30日)の類型指定水域は現時点で確認されていない。

表2 健康項目の環境基準達成状況(非達成率)

	令和6年度									令和5年度		
	河川		湖沼		海域		全体			全体		
	a:超過 地点数	b:調査 地点数	a:超過 地点数	b:調査 地点数	a:超過 地点数	b:調査 地点数	a:超過 地点数	b:調査 地点数	a/b (%)	a:超過 地点数	b:調査 地点数	a/b (%)
カドミウム	2	2,968	0	258	0	777	2	4,001	0.05	3	3,988	0.08
全シアン	0	2,677	0	234	0	668	0	3,577	0	0	3,542	0
鉛	4	3,097	0	261	0	793	4	4,149	0.10	4	4,142	0.10
六価クロム	0	2,724	0	238	0	732	0	3,692	0	0	3,665	0
砒素	20	3,090	3	262	0	812	23	4,162	0.55	26	4,155	0.63
総水銀	0	2,815	0	248	0	776	0	3,837	0	0	3,830	0
アルキル水銀	0	504	0	56	0	161	0	721	0	0	766	0
PCB	0	1,813	0	155	0	433	0	2,399	0	0	2,414	0
ジクロロメタン	0	2,623	0	204	0	542	0	3,367	0	0	3,339	0
四塩化炭素	0	2,615	0	202	0	516	0	3,331	0	0	3,286	0
1,2-ジクロロエタン	1	2,614	0	204	0	536	1	3,352	0.03	1	3,317	0.03
1,1-ジクロロエチレン	0	2,604	0	203	0	532	0	3,337	0	0	3,324	0
シス-1,2-ジクロロエチレン	0	2,604	0	203	0	532	0	3,337	0	0	3,324	0
1,1,1-トリクロロエタン	0	2,637	0	209	0	532	0	3,376	0	0	3,350	0
1,1,2-トリクロロエタン	0	2,606	0	203	0	532	0	3,339	0	0	3,331	0
トリクロロエチレン	0	2,645	0	214	0	554	0	3,411	0	0	3,399	0
テトラクロロエチレン	0	2,645	0	214	0	554	0	3,411	0	0	3,399	0
1,3-ジクロロプロペン	0	2,626	0	210	0	517	0	3,351	0	0	3,330	0
チウラム	0	2,567	0	214	0	505	0	3,284	0	0	3,249	0
シマジン	0	2,552	0	213	0	505	0	3,268	0	0	3,295	0
チオベンカルブ	0	2,540	0	213	0	504	0	3,255	0	0	3,285	0
ベンゼン	0	2,589	0	205	0	537	0	3,329	0	0	3,310	0
セレン	0	2,566	0	207	0	542	0	3,313	0	0	3,323	0
硝酸性窒素及び 亜硝酸性窒素	2	3,094	0	393	0	782	2	4,269	0.05	4	4,248	0.09
ふっ素	16 (19)	2,613 (2,616)	1 (1)	226 (226)	0 (0)	0 (26)	17 (20)	2,839 (2,868)	0.60	17 (28)	2,823 (2,861)	0.60
ほう素	1 (76)	2,488 (2,563)	0 (4)	213 (217)	0 (0)	0 (21)	1 (80)	2,701 (2,801)	0.04	1 (89)	2,671 (2,781)	0
1,4-ジオキサン	0	2,547	0	220	0	586	0	3,353	0	0	3,299	0
合計	44 <46>	3,809	4 <4>	416	0 <0>	1,049	48 <50>	5,274	0.91	54 <56>	5,278	1.02

注: 1) 硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素、ふっ素、ほう素は、平成11年度から全国的に水質測定を開始している。
 2) ふっ素及びほう素の環境基準は、海域には適用されない。これら2項目に係る海域の測定地点数は、()内に参考までに記載したが、環境基準の評価からは除外し、合計欄にも含まれない。
 また、河川及び湖沼においても、海水の影響により環境基準を超過した地点を除いた地点数を記載しているが、下段()内には、これらを含めた地点数を参考までに記載した。
 3) 合計欄の上段には重複のない地点数を記載しているが、下段<>内には、同一地点において複数の項目が環境基準を超えた場合でも、それぞれの項目において超過地点数を1として集計した、延べ地点数を記載した。
 なお、非達成率の計算には、複数の項目で超過した地点の重複分を差し引いた超過地点数48により算出した。

表3-1 環境基準の達成状況(BOD 又は COD)

《 河 川 》

類 型	水域数		達成水域数		達成率(%)	
	令和6年度	令和5年度	令和6年度	令和5年度	令和6年度	令和5年度
AA	401	396	380	376	94.8	94.9
A	1,335	1,309	1,248	1,224	93.5	93.5
B	522	511	485	476	92.9	93.2
C	272	273	258	254	94.9	93.0
D	69	67	69	67	100.0	100.0
E	20	20	18	19	90.0	95.0
合 計	2,619	2,576	2,458	2,416	93.9	93.8

《 湖 沼 》

類 型	水域数		達成水域数		達成率(%)	
	令和6年度	令和5年度	令和6年度	令和5年度	令和6年度	令和5年度
AA	28	27	7	6	25.0	22.2
A	153	147	90	92	58.8	62.6
B	18	18	4	3	22.2	16.7
C	0	0	0	0	0.0	0.0
合 計	199	192	101	101	50.8	52.6

《 海 域 》

類 型	水域数		達成水域数		達成率(%)	
	令和6年度	令和5年度	令和6年度	令和5年度	令和6年度	令和5年度
A	277	260	181	175	65.3	67.3
B	220	213	182	183	82.7	85.9
C	119	117	119	117	100.0	100.0
合 計	616	590	482	475	78.2	80.5

《 全 体 》

	水域数		達成水域数		達成率(%)	
	令和6年度	令和5年度	令和6年度	令和5年度	令和6年度	令和5年度
合 計	3,434	3,358	3,041	2,992	88.6	89.1

注: 1) 河川はBOD、湖沼及び海域はCODである。

2) 令和6年度調査は、令和5年度までに類型指定がなされた水域のうち、有効な測定結果が得られた水域について取りまとめたものである。

表3-2 広域的な閉鎖性海域における環境基準の達成状況(COD)

類型		水域数		達成水域数		達成率(%)	
		令和6年度	令和5年度	令和6年度	令和5年度	令和6年度	令和5年度
東京湾	A	2	2	0	0	0.0	0.0
	B	8	8	3	4	37.5	50.0
	C	9	9	9	9	100.0	100.0
	合計	19	19	12	13	63.2	68.4
伊勢湾 (三河湾 含む)	A	4	4	0	0	0.0	0.0
	B	6	6	3	2	50.0	33.3
	C	6	6	6	6	100.0	100.0
	合計	16	16	9	8	56.3	50.0
大阪湾	A	3	3	0	0	0.0	0.0
	B	2	2	1	1	50.0	50.0
	C	7	7	7	7	100.0	100.0
	合計	12	12	8	8	66.7	66.7
瀬戸内海 (大阪湾 除く)	A	51	51	29	25	56.9	49.0
	B	55	55	49	50	89.1	90.9
	C	42	42	42	42	100.0	100.0
	合計	148	148	120	117	81.1	79.1
瀬戸内海 (大阪湾 含む)	A	54	54	29	25	53.7	46.3
	B	57	57	50	51	87.7	89.5
	C	49	49	49	49	100.0	100.0
	合計	160	160	128	125	80.0	78.1
有明海	A	1	1	0	0	0.0	0.0
	B	5	5	3	4	60.0	80.0
	C	9	9	9	9	100.0	100.0
	合計	15	15	12	13	80.0	86.7
八代海	A	4	4	2	2	50.0	50.0
	B	8	8	7	7	87.5	87.5
	C	2	2	2	2	100.0	100.0
	合計	14	14	11	11	78.6	78.6

表4 環境基準達成率の推移(BOD 又は COD)

水域	年度	昭和																				平成										
		49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	元	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11					
河川		51.3	57.1	57.6	58.5	59.5	65.0	67.2	63.3	65.3	65.9	63.4	67.7	68.6	68.3	73.3	73.8	73.6	75.4	77.3	67.9	72.3	73.6	80.9	81.0	81.5						
湖沼		41.9	38.6	40.7	35.2	37.6	41.8	41.6	42.7	41.7	40.8	42.7	41.2	40.0	43.1	44.2	46.3	44.2	42.3	44.6	46.1	40.6	39.5	42.0	41.0	40.9	45.1					
海域		70.7	72.4	76.4	76.9	75.3	78.2	79.8	81.6	81.3	79.8	81.3	80.0	81.2	82.6	82.7	82.4	77.6	80.2	80.9	79.5	79.2	78.6	81.1	74.9	73.6	74.5					
	東京湾	44	44	67	61	61	61	61	61	61	61	61	61	63	63	63	63	63	63	74	63	63	63	63	63	63	63					
	伊勢湾	47	53	47	47	53	53	59	41	53	47	47	59	47	65	53	59	59	53	65	47	56	56	44	44	50						
	大阪湾	67	67	67	67	67	67	75	67	67	67	67	67	67	67	67	67	67	67	67	67	67	67	67	67	67	67					
	瀬戸内海*	-	-	-	-	-	-	81	83	83	81	81	79	81	81	79	75	79	79	73	77	75	79	75	75	75						
	瀬戸内海	67	69	72	73	75	76	72	81	81	81	81	78	80	81	78	75	78	78	72	76	75	78	75	76	75						
	有明海	88	81	88	81	94	88	88	94	94	94	94	94	94	94	88	94	94	94	88	94	94	93	93	93	80	93					
	八代海	75	100	86	93	93	93	79	86	93	93	100	93	100	86	93	93	100	100	100	100	100	100	100	86	79	79					
全体		54.9	59.6	60.6	61.2	61.7	66.7	68.7	66.0	67.5	67.7	66.1	69.0	69.9	70.1	73.9	74.3	73.1	75.0	75.2	76.5	68.9	72.1	73.7	78.1	77.9	78.7					
水域数		1,927	2,394	2,586	2,769	2,814	2,866	2,913	2,935	2,982	3,009	3,044	3,052	3,061	3,070	3,083	3,092	3,103	3,123	3,149	3,147	3,170	3,181	3,231	3,244	3,258	3,270					

水域	年度	平成																				令和						
		12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	元	2	3	4	5	6		
河川		82.4	81.5	85.1	87.4	89.8	87.2	91.2	90.0	92.3	92.3	92.5	93.0	93.1	92.0	93.9	95.8	95.2	94.0	94.6	94.1	93.5	93.1	92.4	93.8	93.9		
湖沼		42.3	45.8	43.8	55.2	50.9	53.4	55.6	50.3	53.0	50.0	53.2	53.7	55.3	55.1	55.6	58.7	56.7	53.2	54.3	50.0	49.7	53.6	50.3	52.6	50.8		
海域		75.3	79.3	76.9	76.2	75.5	76.0	74.5	78.7	76.4	79.2	78.3	78.4	79.8	77.3	79.1	79.8	78.6	79.2	80.5	80.7	78.6	79.8	80.5	78.2			
	東京湾	63	68	68	68	63	63	68	63	74	68	63	68	63	63	63	63	63	63	63	68	63	68	68	68	63		
	伊勢湾	56	56	44	50	50	44	56	56	56	56	56	56	56	56	50	69	63	44	50	63	63	56	50	56			
	大阪湾	67	67	67	67	67	67	67	67	67	67	67	67	67	67	67	75	67	67	67	67	67	67	67	67	67		
	瀬戸内海*	77	75	69	70	67	74	71	78	72	77	81	79	79	77	78	77	74	74	72	77	77	70	76	79	81		
	瀬戸内海	76	74	69	70	67	74	70	77	72	77	80	78	78	77	77	77	74	74	72	76	76	69	75	78	80		
	有明海	87	93	87	93	80	87	87	80	93	93	87	80	87	87	93	93	93	93	93	80	87	87	93	87	80		
	八代海	43	86	86	86	71	64	64	86	79	86	79	64	86	79	86	86	93	79	93	79	64	79	71	79	79		
全体		79.4	79.5	81.7	83.8	85.2	83.4	86.3	85.8	87.4	87.6	87.8	88.2	88.6	87.3	89.1	91.1	90.3	89.0	89.6	89.2	88.8	88.3	87.8	89.1	88.6		
水域数		3,274	3,291	3,300	3,301	3,313	3,319	3,334	3,324	3,331	3,335	3,337	3,326	3,329	3,335	3,339	3,340	3,338	3,341	3,342	3,350	3,326	3,359	3,351	3,358	3,434		

注：1）河川はBOD、湖沼及び海域はCODである。
 2）達成率(%)=(達成水域数/類型指定水域数)×100
 3）伊勢湾には、三河湾を含む。
 4）瀬戸内海は、上段が大阪湾を除く、下段が大阪湾を含む。

図1-1 環境基準達成率の推移(BOD 又は COD)

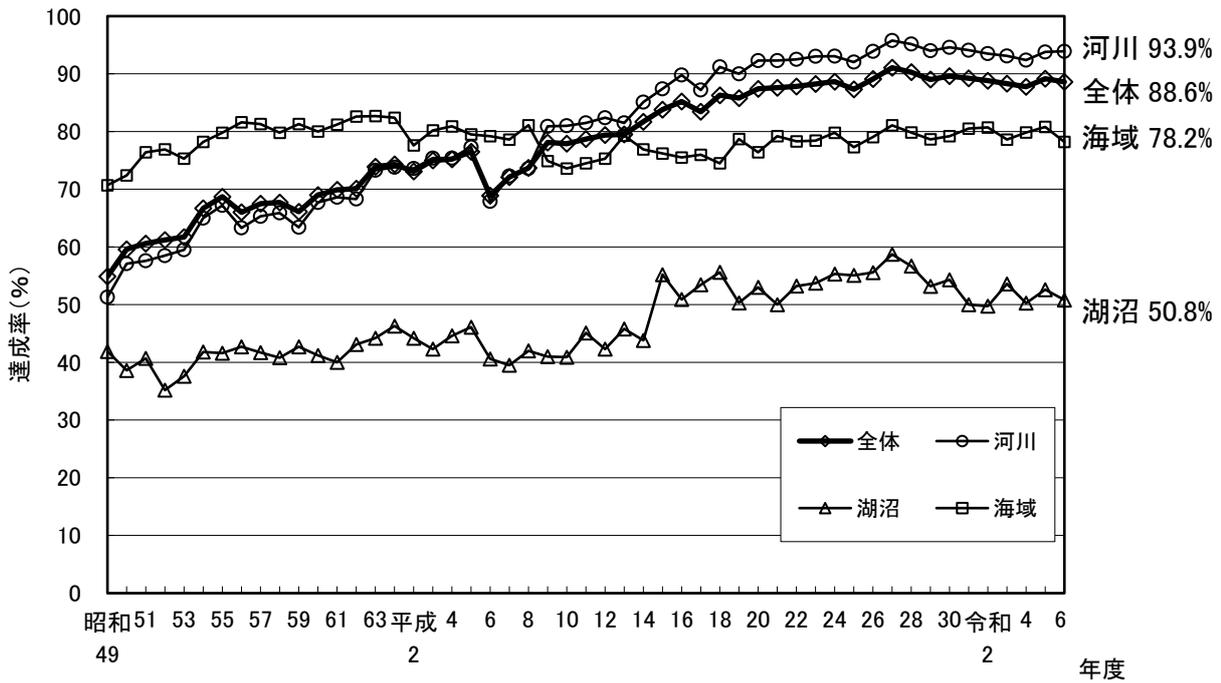


図1-2 広域的な閉鎖性海域における環境基準達成率の推移(COD)

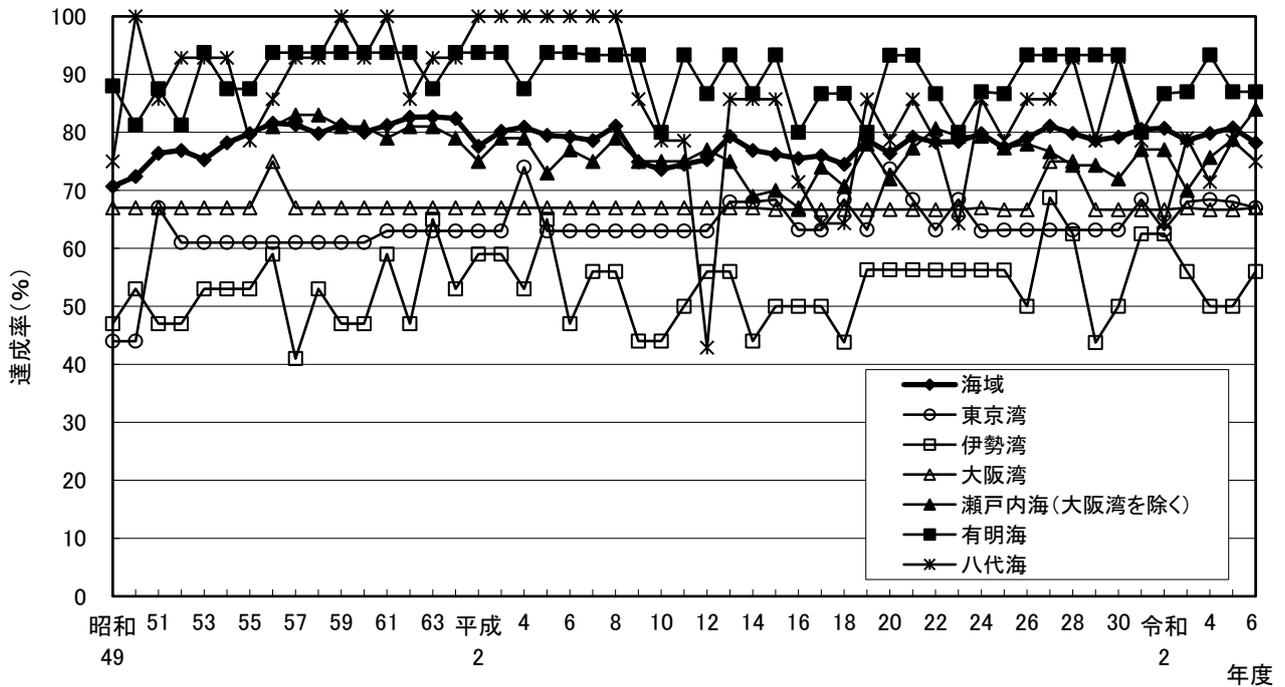


表5 水域群別・類型別水質の推移(BOD 又は COD 年間平均値)

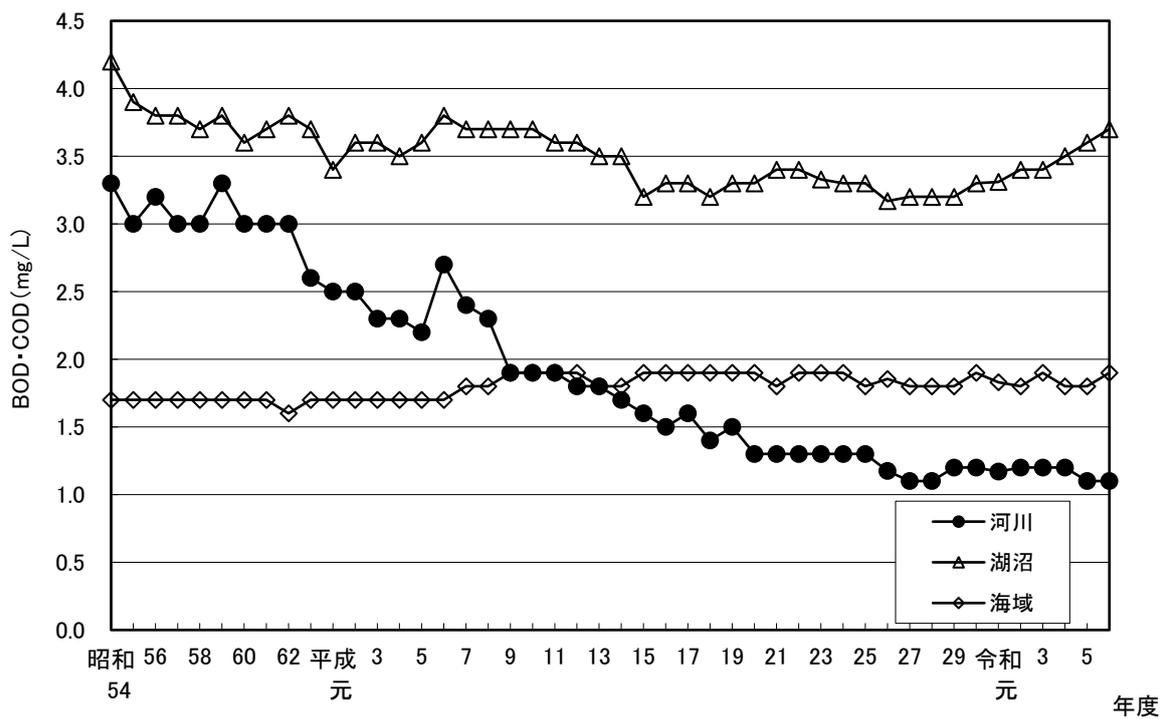
(単位:mg/L)

類型	年度	昭和											平成 元											
		54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	2		3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
河川	全体	3.3	3.0	3.2	3.0	3.0	3.3	3.0	3.0	3.0	2.6	2.5	2.5	2.3	2.3	2.2	2.7	2.4	2.3	1.9	1.9	1.9	1.8	1.8
	AA	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.7	0.7	0.7	0.7	0.7	0.7	0.7	0.7
	A	1.6	1.5	1.7	1.5	1.5	1.7	1.6	1.6	1.6	1.4	1.4	1.4	1.3	1.4	1.3	1.5	1.4	1.3	1.2	1.2	1.2	1.2	1.2
	B	3.1	2.9	3.1	2.9	2.9	3.1	2.9	2.9	2.9	2.7	2.6	2.5	2.4	2.6	2.3	2.9	2.7	2.6	2.1	2.1	2.2	2.1	2.1
	C	5.9	5.6	5.8	5.8	6.0	6.3	5.9	6.0	5.9	5.0	4.8	4.6	4.3	4.2	4.1	5.1	4.6	4.3	3.7	3.5	3.6	3.5	3.4
	D	8.0	7.4	7.6	7.7	7.3	7.8	6.9	7.2	7.1	6.3	6.2	6.1	5.1	5.3	5.2	6.5	5.8	5.2	4.7	4.7	4.5	4.4	4.5
E	14	13	14	12	12	14	12	12	12	9.8	8.9	9.2	8.0	7.6	8.1	8.8	7.9	7.6	6.4	6.1	6.0	5.6	5.7	
湖沼	全体	4.2	3.9	3.8	3.8	3.7	3.8	3.6	3.7	3.8	3.7	3.4	3.6	3.6	3.5	3.6	3.8	3.7	3.7	3.7	3.7	3.6	3.6	3.5
	AA	1.6	1.5	1.6	1.6	1.5	1.5	1.6	1.6	1.6	1.6	1.6	1.7	1.8	1.7	1.8	1.7	1.7	1.7	1.7	1.8	1.8	1.8	1.8
	A	4.0	3.8	3.5	3.8	3.6	3.7	3.4	3.6	3.7	3.5	3.4	3.5	3.5	3.5	3.4	3.8	3.6	3.6	3.7	3.6	3.5	3.5	3.5
	B	8.2	7.8	7.7	7.0	7.1	7.3	7.5	7.2	7.4	7.3	6.4	6.6	6.7	6.6	7.0	7.1	7.1	7.3	7.1	6.8	6.8	7.0	6.4
	C	8.9	8.0	7.2	7.9	7.6	7.3	5.3	6.3	5.8	6.6	6.0	7.4	7.4	7.7	7.3	—	—	—	—	—	—	—	—
海域	全体	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7	1.6	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7	1.8	1.8	1.9	1.9	1.9	1.9	1.8	
	A	1.4	1.4	1.4	1.4	1.4	1.4	1.4	1.4	1.4	1.4	1.4	1.4	1.4	1.4	1.5	1.5	1.5	1.5	1.6	1.7	1.7	1.6	1.6
	B	2.0	2.0	1.9	1.9	1.9	2.0	2.0	1.9	1.9	1.9	1.9	2.0	1.9	1.9	1.9	2.0	1.9	1.9	2.0	2.1	2.1	2.1	2.1
	C	2.8	2.7	2.6	2.6	2.6	2.8	2.8	2.7	2.6	2.6	2.6	2.7	2.6	2.6	2.6	2.7	2.7	2.7	2.8	2.7	2.8	2.9	2.7

類型	年度	平成											令和 元											
		14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24		25	26	27	28	29	30	2	3	4	5	6
河川	全体	1.7	1.6	1.5	1.6	1.4	1.5	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3	1.2	1.1	1.1	1.2	1.2	1.2	1.2	1.2	1.1	1.1	
	AA	0.7	0.7	0.7	0.7	0.6	0.6	0.6	0.6	0.6	0.7	0.6	0.6	0.6	0.6	0.6	0.6	0.6	0.6	0.6	0.6	0.6	0.6	
	A	1.1	1.1	1.0	1.1	1.0	1.0	1.0	1.0	0.9	0.9	1.0	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9
	B	2.0	1.9	1.7	1.9	1.7	1.7	1.5	1.6	1.5	1.6	1.5	1.5	1.4	1.3	1.4	1.4	1.4	1.4	1.4	1.4	1.4	1.4	1.4
	C	3.2	2.9	2.8	2.9	2.6	2.8	2.4	2.3	2.3	2.4	2.3	2.3	2.1	2.0	2.0	2.1	2.1	2.0	2.1	2.1	2.2	2.0	2.0
	D	4.4	4.3	4.1	4.4	4.1	4.1	3.5	3.3	3.4	3.3	3.2	3.3	3.1	2.7	2.8	3.0	3.0	3.0	2.7	3.0	3.0	2.7	2.7
E	5.5	4.8	4.7	4.9	4.6	4.3	4.0	3.6	3.8	3.2	3.4	3.6	3.4	3.2	3.3	4.1	4.1	4.0	3.9	3.5	3.7	3.5	3.7	
湖沼	全体	3.5	3.2	3.3	3.3	3.2	3.3	3.3	3.4	3.4	3.3	3.3	3.3	3.2	3.2	3.2	3.2	3.3	3.3	3.4	3.4	3.5	3.6	3.7
	AA	1.9	1.8	1.9	1.9	1.7	1.8	1.8	1.9	2.0	1.6	1.8	1.8	1.8	1.8	1.9	1.9	1.8	1.8	1.9	1.9	1.9	1.9	1.8
	A	3.4	3.1	3.3	3.2	3.2	3.3	3.3	3.3	3.3	3.3	3.3	3.2	3.1	3.0	3.1	3.1	3.1	3.2	3.2	3.3	3.4	3.5	3.6
	B	6.3	6.3	6.0	6.1	5.9	6.1	6.1	6.1	6.1	6.4	6.2	6.0	5.7	5.8	5.6	5.8	6.1	5.9	6.2	6.0	6.2	6.6	6.9
	C	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
海域	全体	1.8	1.9	1.9	1.9	1.9	1.9	1.8	1.9	1.9	1.9	1.8	1.9	1.8	1.8	1.8	1.8	1.9	1.8	1.8	1.9	1.8	1.8	1.9
	A	1.6	1.7	1.7	1.6	1.7	1.6	1.7	1.6	1.6	1.6	1.6	1.6	1.6	1.6	1.6	1.6	1.7	1.6	1.6	1.6	1.6	1.6	1.6
	B	2.1	2.1	2.1	2.1	2.1	2.1	2.1	2.1	2.1	2.1	2.1	2.1	2.1	2.1	2.0	2.1	2.1	2.1	2.0	2.1	2.0	2.1	2.1
	C	2.7	2.8	2.7	2.8	2.8	2.7	2.7	2.6	2.7	2.9	2.6	2.6	2.6	2.6	2.6	2.6	2.6	2.7	2.6	2.7	2.6	2.7	2.6

注:河川はBOD、湖沼及び海域はCODの環境基準点における年間平均値を用いて算出したものである。

図2-1 水域群別水質の推移(BOD 又は COD 年間平均値)



注: 河川は BOD、湖沼・海域は COD である。

図2-2 河川における類型別水質の推移(BOD 年間平均値)

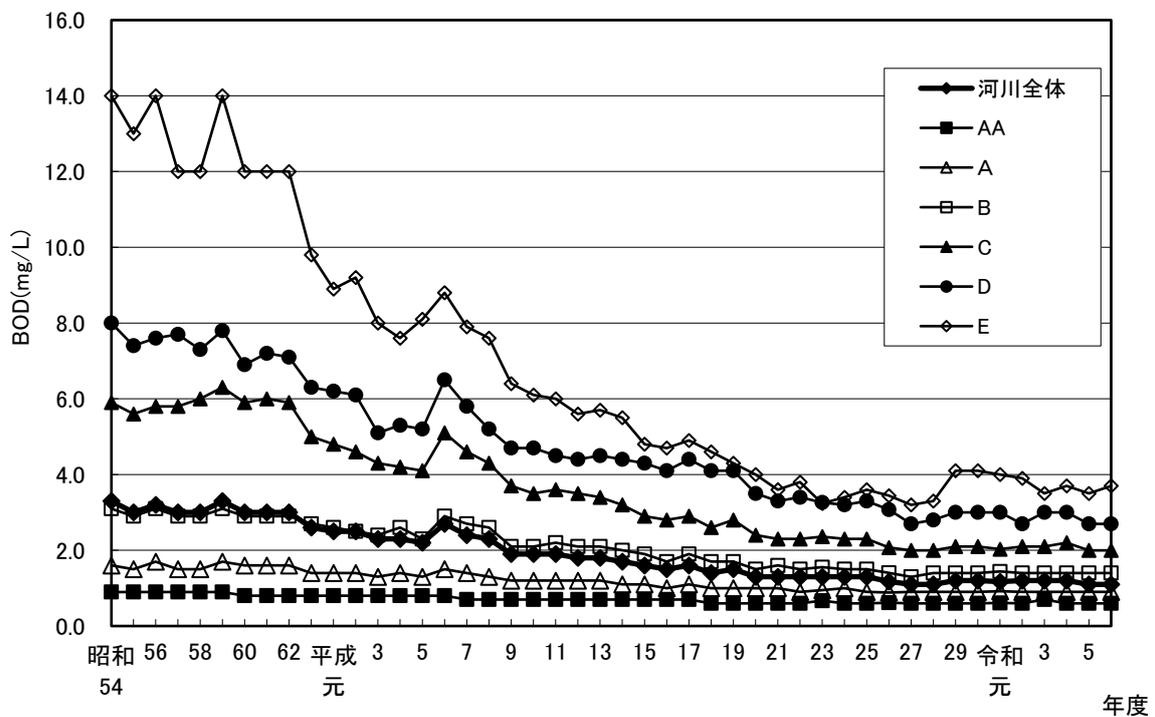


図2-3 湖沼における類型別水質の推移(COD年間平均値)

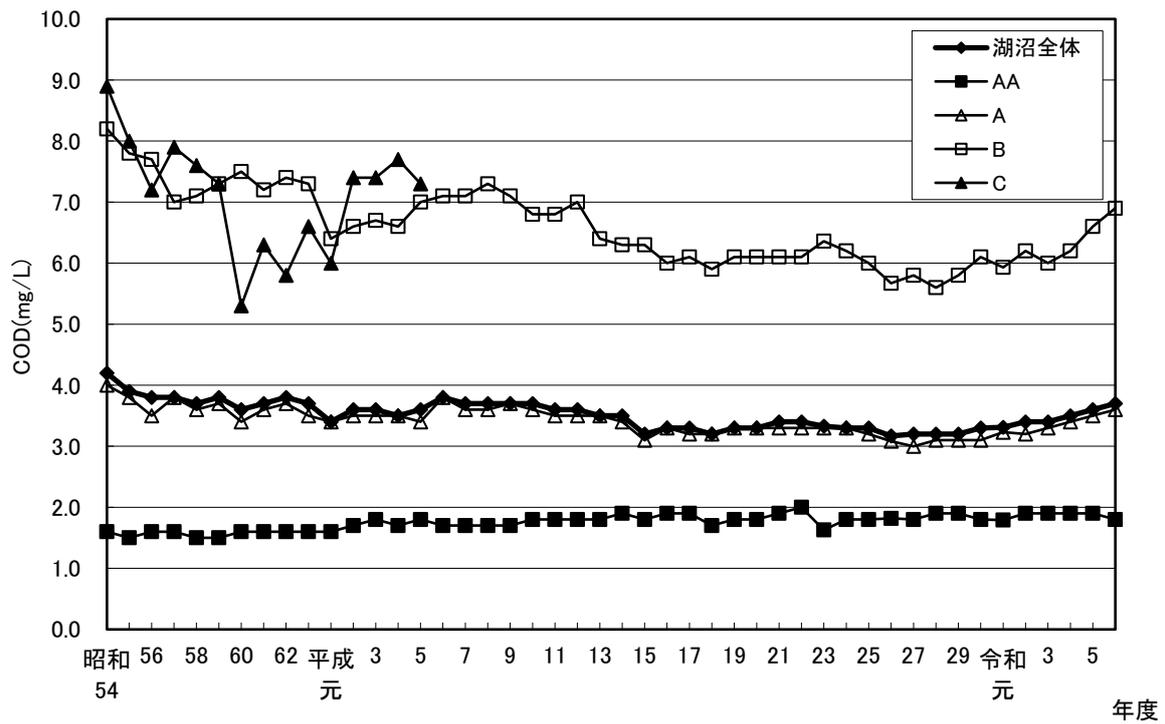


図2-4 海域における類型別水質の推移(COD年間平均値)

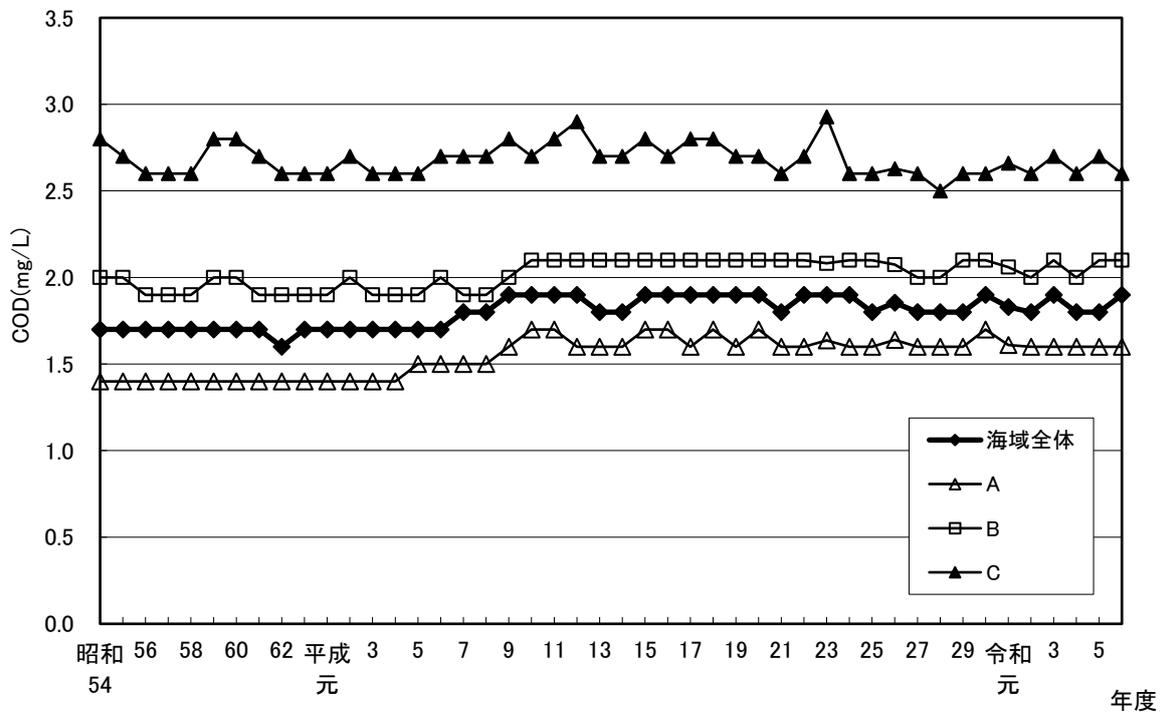


表6 広域的な閉鎖性海域における水質状況の推移(COD 年間平均値)

		年 度										最近10年間の平均値
		平成27	28	29	30	令和元	2	3	4	5	6	
東京湾	平均値 (mg/L)	2.6	2.7	3.0	2.9	2.8	2.7	2.7	2.6	2.9	2.8	2.8 mg/L
	A 類 型	2.2	2.2	2.2	2.1	1.9	1.9	1.9	1.8	2.0	2.0	
	B 類 型	2.5	2.7	3.1	2.8	2.8	2.8	2.6	2.5	2.9	2.8	
	C 類 型	2.8	2.9	3.3	3.2	3.3	3.1	3.0	3.0	3.3	3.1	
	環境基準点総数①	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	
	基準値を満たす環境基準点数 ②	33	26	25	28	33	29	30	34	32	27	
②/① (%)	67	53	51	57	67	59	61	69	65	55		
伊(三河湾を含む)	平均値 (mg/L)	3.1	2.9	3.3	3.4	3.2	2.8	3.2	3.2	2.9	3.1	3.1 mg/L
	A 類 型	2.6	2.4	3.0	3.2	3.0	2.5	3.0	3.1	2.6	3.0	
	B 類 型	2.7	2.6	3.0	3.2	2.5	2.4	2.6	2.6	2.5	2.5	
	C 類 型	3.9	3.5	3.9	3.9	3.9	3.5	3.8	3.8	3.6	3.7	
	環境基準点総数③	32	32	32	32	32	32	32	32	32	32	
	基準値を満たす環境基準点数 ④	19	18	13	13	18	18	17	16	15	17	
④/③ (%)	59	56	41	41	56	56	53	50	47	53		
大阪湾	平均値 (mg/L)	2.6	2.4	2.4	2.7	2.8	2.7	2.9	2.7	2.7	2.6	2.7 mg/L
	A 類 型	2.3	2.1	2.1	2.5	2.4	2.4	2.6	2.4	2.4	2.3	
	B 類 型	2.7	2.5	2.5	2.8	3.3	2.9	3.1	3.0	3.0	2.9	
	C 類 型	2.7	2.6	2.6	2.9	3.0	2.8	3.0	2.8	2.9	2.8	
	環境基準点総数⑤	28	28	28	28	28	28	28	28	28	28	
	基準値を満たす環境基準点数 ⑥	19	19	18	16	18	16	15	17	15	17	
⑥/⑤ (%)	68	68	64	57	64	57	54	61	54	61		
瀬戸内海(大阪湾を除く)	平均値 (mg/L)	2.0	2.0	1.9	2.0	1.9	1.9	2.0	1.9	1.9	1.9	1.9 mg/L
	A 類 型	1.7	1.8	1.7	1.8	1.7	1.7	1.8	1.7	1.7	1.8	
	B 類 型	2.3	2.2	2.2	2.3	2.2	2.2	2.3	2.2	2.1	2.2	
	C 類 型	2.7	2.7	2.6	2.8	2.6	2.6	2.7	2.6	2.5	2.6	
	環境基準点総数⑦	424	418	418	416	416	416	418	418	418	418	
	基準値を満たす環境基準点数 ⑧	308	283	320	282	318	311	276	313	319	318	
⑧/⑦ (%)	73	68	77	68	76	75	66	75	76	76		
瀬戸内海(大阪湾を含む)	平均値 (mg/L)	2.0	2.0	2.0	2.1	2.0	2.0	2.1	2.0	1.9	2.0	2.0 mg/L
	A 類 型	1.8	1.8	1.8	1.9	1.7	1.7	1.9	1.8	1.7	1.8	
	B 類 型	2.3	2.2	2.2	2.3	2.2	2.2	2.3	2.2	2.2	2.2	
	C 類 型	2.7	2.7	2.6	2.8	2.6	2.6	2.8	2.7	2.6	2.6	
	環境基準点総数⑨	452	446	446	444	444	444	446	446	446	446	
	基準値を満たす環境基準点数 ⑩	327	302	338	298	336	327	291	330	334	335	
⑩/⑨ (%)	72	68	76	67	76	74	65	74	75	75		
有明海	平均値 (mg/L)	1.9	1.8	1.7	1.8	2.0	2.0	2.1	2.0	2.2	2.2	2.0 mg/L
	A 類 型	2.1	2.1	2.1	2.1	2.3	2.3	2.3	2.2	2.5	2.5	
	B 類 型	1.5	1.5	1.3	1.3	1.6	1.6	1.8	1.6	2.0	1.8	
	C 類 型	2.2	2.0	2.0	2.0	2.1	2.2	2.2	2.2	2.3	2.4	
	環境基準点総数⑪	34	34	34	34	34	34	34	34	34	34	
	基準値を満たす環境基準点数 ⑫	27	27	29	27	24	25	25	28	26	24	
⑫/⑪ (%)	79	79	85	79	71	74	74	82	76	71		
八代海	平均値 (mg/L)	1.7	1.7	1.8	1.7	1.9	2.0	2.0	2.0	2.0	1.9	1.9 mg/L
	A 類 型	1.6	1.6	1.7	1.6	1.8	1.9	1.8	1.8	1.9	1.9	
	B 類 型	1.9	1.8	1.8	1.7	2.1	2.2	2.1	2.1	2.2	2.0	
	C 類 型	2.1	2.2	2.0	2.0	2.4	2.5	2.4	2.5	2.5	2.3	
	環境基準点総数⑬	29	29	29	29	29	29	29	29	29	29	
	基準値を満たす環境基準点数 ⑭	27	28	26	28	23	20	25	23	23	24	
⑭/⑬ (%)	93	97	90	97	79	69	86	79	79	83		

図3 広域的な閉鎖性海域における水質状況の推移(COD 年間平均値)

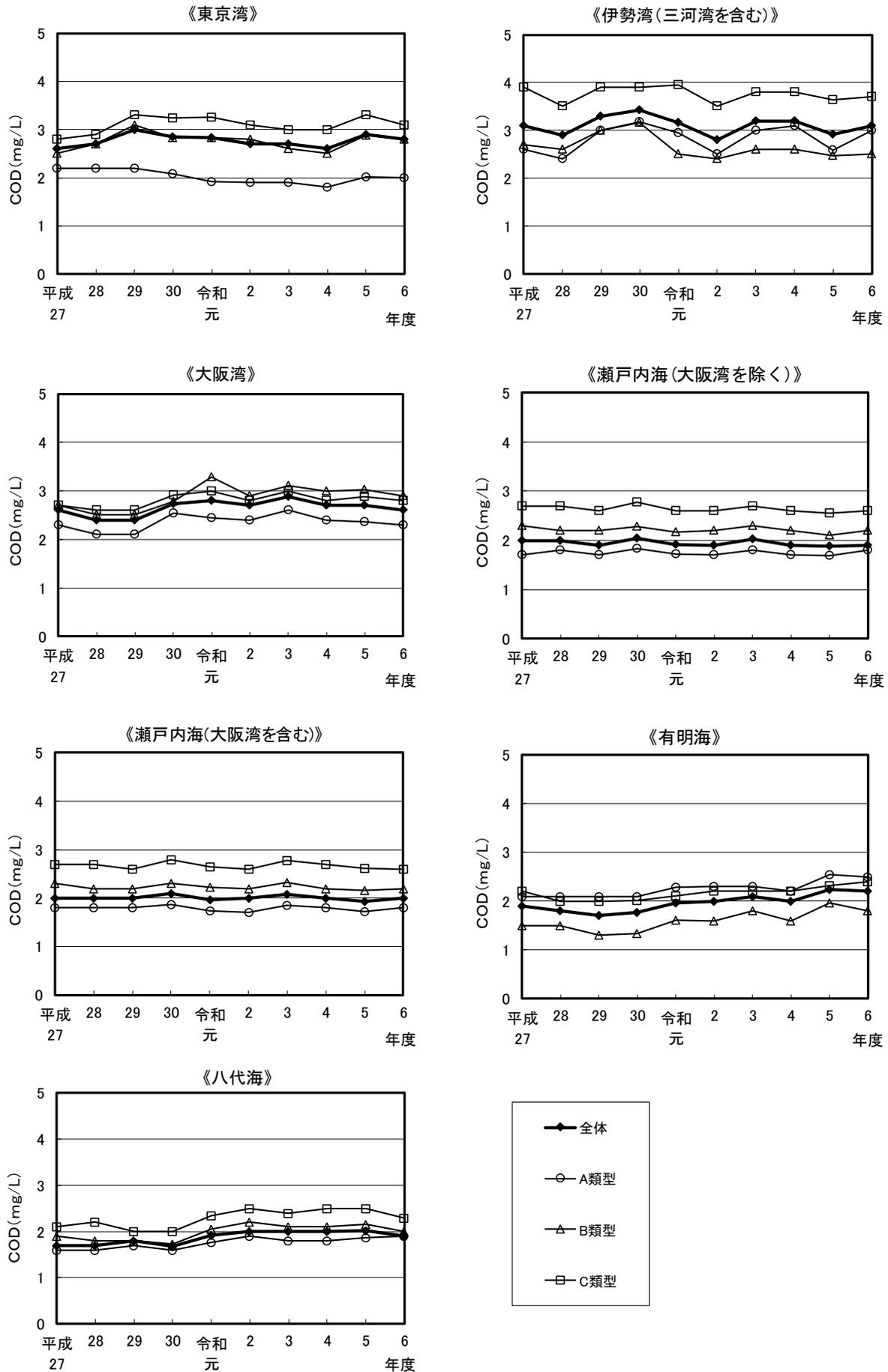


表7 指定湖沼の水質状況の推移(COD)

(単位 mg/L)

湖沼	年度	類型	地点数	平成 27	28	29	30	令和 元	2	3	4	5	6
釜房ダム		AA	1	2.7 2.8	2.8 2.3	2.3 2.1	2.3 2.2	3.0 2.5	2.7 2.4	2.8 2.5	2.7 2.4	3.2 2.7	3.0 2.8
八郎湖		A	3	11 7.9	10 8.0	8.9 6.5	10 7.4	14 8.6	10 7.6	10 8.2	10 7.0	10 7.7	11 8.0
霞ヶ浦	(西浦)	A	4	8.6 7.8	7.8 6.8	7.6 6.9	7.6 6.7	7.3 6.5	7.4 6.7	7.9 7.2	7.5 6.9	8.1 7.5	7.5 7.2
	(北浦)	A	2	10 8.9	8.6 7.8	9.2 8.4	9.3 8.4	9.3 7.9	9.5 8.7	9.9 9.0	9.6 8.9	9.4 9.0	8.9 8.3
	(常陸利根川)	A	2	9.0 8.3	7.6 7.2	7.7 7.5	7.9 7.6	7.6 7.1	7.5 7.2	8.1 7.5	7.4 7.2	8.0 7.5	8.2 7.7
印旛沼		A	1	14 11	12 11	13 11	15 12	14 11	12 10	13 12	15 13	15 13	15 13
手賀沼		B	1	9.3 8.1	10 8.6	9.7 8.6	10 9.2	10 8.9	11 10	10 9.1	11 10	11 9.8	11 11
諏訪湖		A	3	6.4 4.7	5.6 4.4	6.4 5.2	5.0 4.7	4.9 4.1	5.3 4.0	5.5 3.9	4.9 3.9	4.9 4.5	5.6 4.7
野尻湖		A	2	2.2 1.9	2.3 2.1	2.5 2.2	2.1 2.0	1.9 1.9	2.4 2.1	2.5 2.2	2.4 2.2	2.5 2.0	2.6 2.2
琵琶湖	(北湖)	AA	4	2.8 2.5	2.9 2.6	2.9 2.6	2.6 2.4	2.9 2.5	2.8 2.6	2.8 2.5	2.8 2.6	2.6 2.3	2.5 2.4
	(南湖)	AA	4	4.6 3.2	4.3 3.3	4.4 3.3	4.2 3.4	4.1 3.2	5.3 3.5	5.2 3.5	4.9 3.5	4.7 3.4	4.3 3.2
中海		A	12	5.2 3.7	4.9 3.7	4.9 3.5	4.4 3.6	4.6 3.6	4.4 3.5	4.9 3.4	4.8 3.6	4.7 3.4	5.2 3.9
宍道湖		A	5	4.7 4.3	5.0 4.4	4.9 4.4	5.3 4.6	5.8 5.2	6.5 5.4	5.5 4.8	4.6 4.4	5.7 4.8	5.6 4.9
児島湖		B	2	7.2 7.0	8.0 7.1	7.8 7.5	8.8 7.9	7.7 7.4	8.1 7.3	8.2 7.4	8.3 7.5	8.6 7.8	8.2 7.3
指定湖沼全体			46	5.9	5.7	5.7	5.9	5.7	5.8	5.9	5.9	6.1	6.2

注：1) 上段はCOD75%値、下段はCOD年間平均値である。
 2) 75%値は各環境基準点の75%値のうちの最高値、年間平均値は各環境基準点の年間平均値の全地点平均値を記載した。
 3) 指定湖沼全体の平均値は、指定湖沼毎の平均値を平均化して求めた。
 4) 地点数は、令和6年度の各湖沼における環境基準点の測定地点数を記載した。

図4 指定湖沼の水質状況の推移(COD 年間平均値)

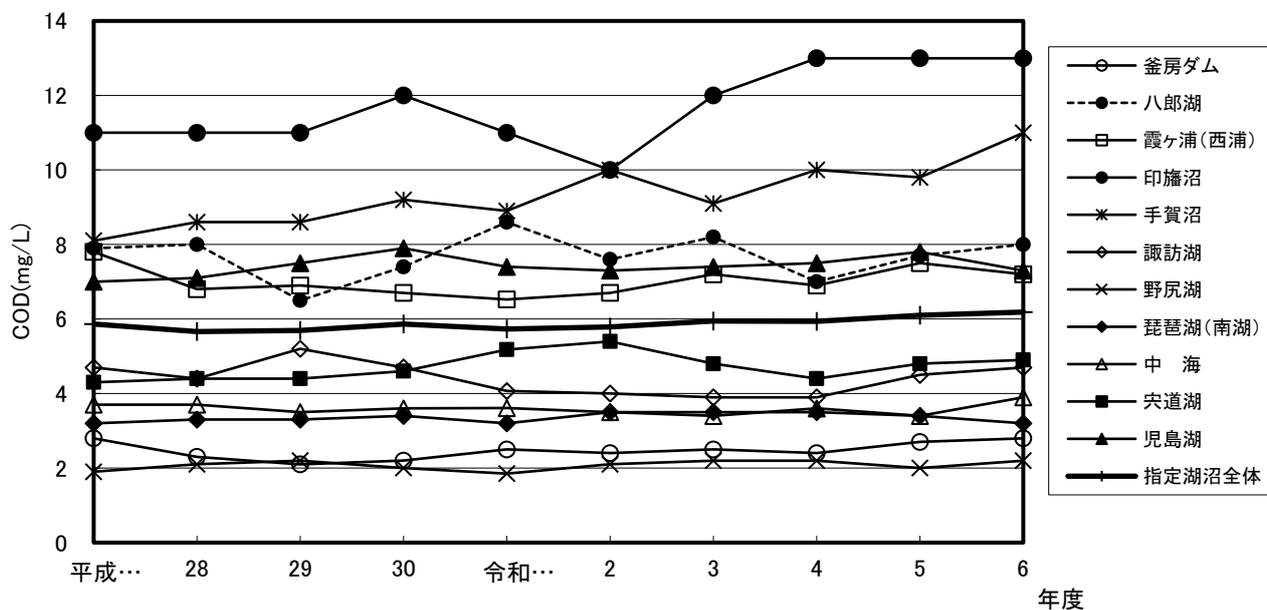


表8 環境基準の達成状況(大腸菌数)

《 河 川 》

類 型	地点数		達成地点数		達成率(%)	
	令和6年度	令和5年度	令和6年度	令和5年度	令和6年度	令和5年度
AA	401	426	94	90	23.4	21.1
A	1,448	1,496	899	919	62.1	61.4
B	529	531	433	420	81.9	79.1
合 計	2,378	2,453	1,426	1,429	60.0	58.3

《 湖 沼 》

類 型	地点数		達成地点数		達成率(%)	
	令和6年度	令和5年度	令和6年度	令和5年度	令和6年度	令和5年度
AA	47	51	46	47	97.9	92.2
A	185	188	180	187	97.3	99.5
合 計	232	239	226	234	97.4	97.9

《 海 域 》

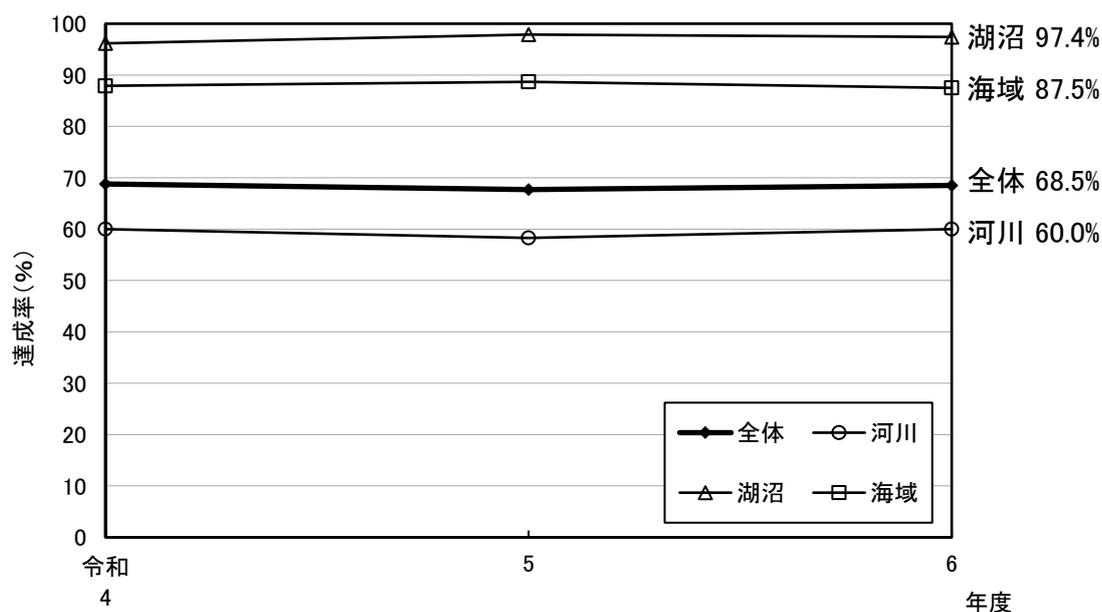
類 型	地点数		達成地点数		達成率(%)	
	令和6年度	令和5年度	令和6年度	令和5年度	令和6年度	令和5年度
A	711	758	622	672	87.5	88.7
合 計	711	758	622	672	87.5	88.7

《 全 体 》

	地点数		達成地点数		達成率(%)	
	令和6年度	令和5年度	令和6年度	令和5年度	令和6年度	令和5年度
合 計	3,321	3,450	2,274	2,335	68.5	67.7

注：1) 地点数及び達成地点数は、基準地点のみ(補助地点は含めず)。
 2) 集計値は、水産1級、水産2級及び水産3級のみを利用目的としている地点を除いている。

図5 環境基準達成率の推移(大腸菌数)



注: 1) 地点数及び達成地点数は、基準地点のみ(補助地点は含めず)。
 2) 集計値は、水産1級、水産2級及び水産3級のみを利用目的としている地点を除いている。

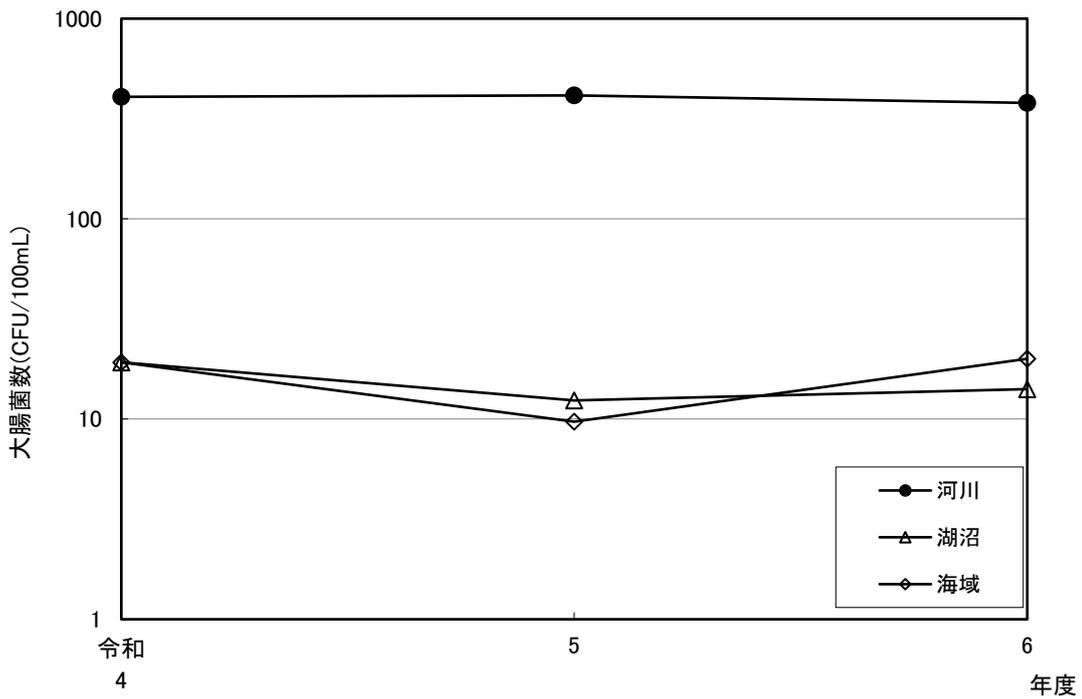
表9 水域群別・類型別水質の推移(大腸菌数年間平均値)

(単位 CFU/100mL)

類型 \ 年度		令和	5	6
		4		
河川	全体	407.1	414.0	379.4
	AA	122.2	109.8	106.6
	A	256.9	300.3	250.6
	B	1054.2	978.0	938.8
湖沼	全体	19.2	12.4	14.1
	AA	2.9	5.3	5.9
	A	23.6	14.3	16.1
海域	全体	19.2	9.7	20.0
	A	19.2	9.7	20.0

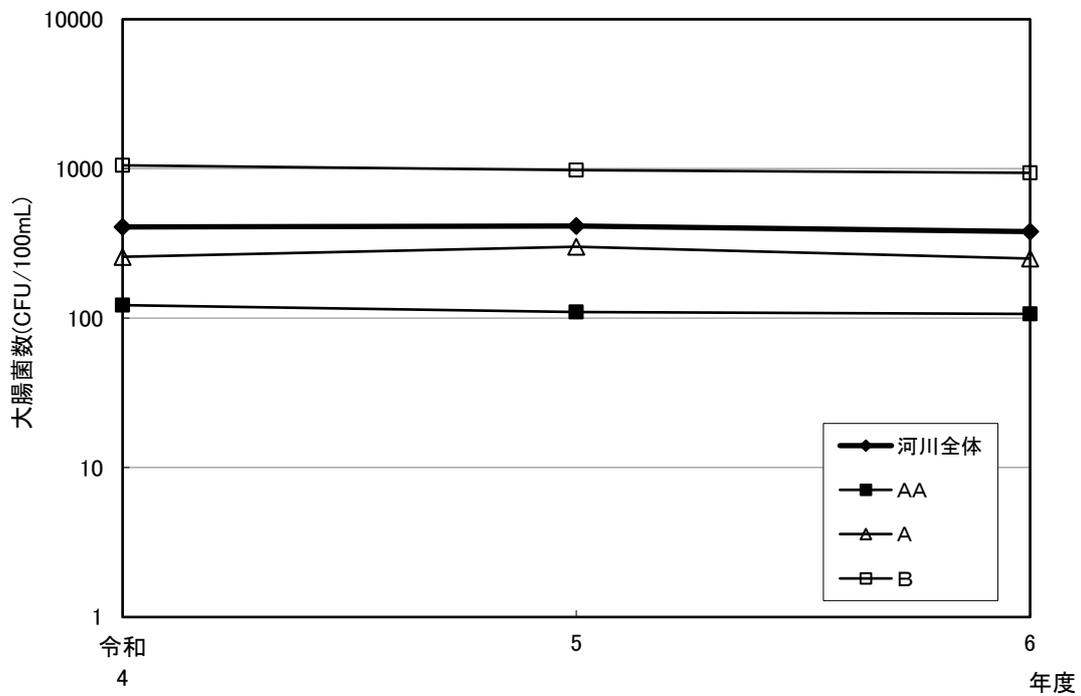
注: 1) 地点数及び達成地点数は、基準地点のみ(補助地点は含めず)。
 2) 集計値は、水産1級、水産2級及び水産3級のみを利用目的としている地点を除いている。

図6-1 水域群別水質の推移(大腸菌数年間平均値)



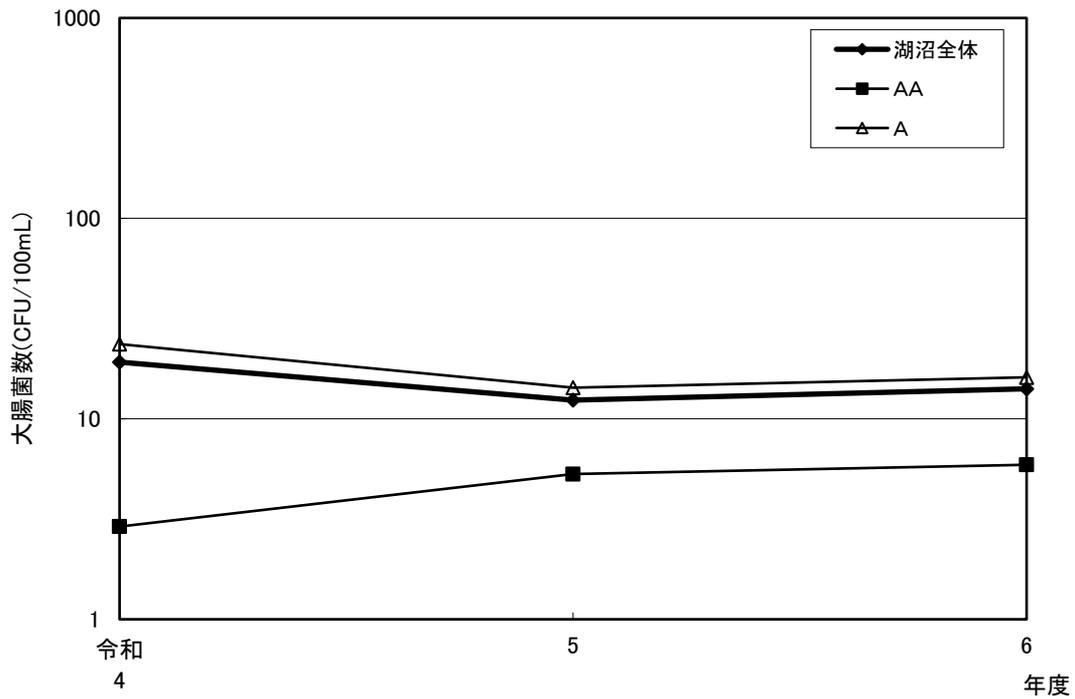
注: 1) 地点数及び達成地点数は、基準地点のみ(補助地点は含めず)。
 2) 集計値は、水産1級、水産2級及び水産3級のみを利用目的としている地点を除いている。

図6-2 河川における類型別水質の推移(大腸菌数年間平均値)



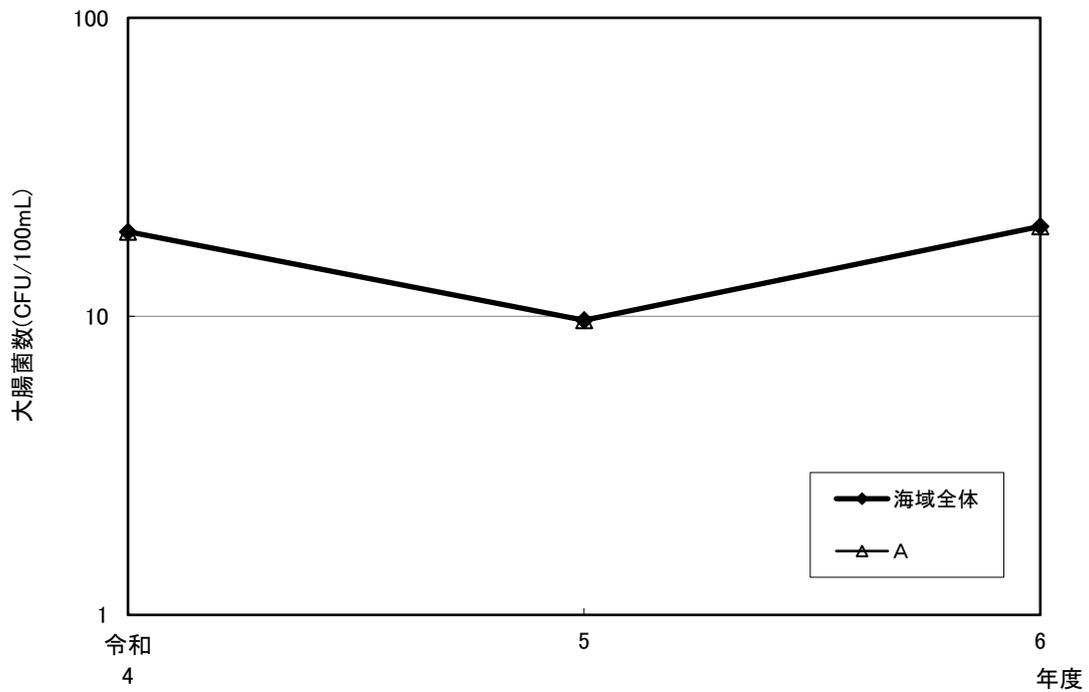
注: 1) 地点数及び達成地点数は、基準地点のみ(補助地点は含めず)。
 2) 集計値は、水産1級、水産2級及び水産3級のみを利用目的としている地点を除いている。

図6-3 湖沼における類型別水質の推移(大腸菌数年間平均値)



注: 1) 地点数及び達成地点数は、基準地点のみ(補助地点は含めず)。
 2) 集計値は、水産1級、水産2級及び水産3級のみを利用目的としている地点を除いている。

図6-4 海域における類型別水質の推移(大腸菌数年間平均値)



注: 1) 地点数及び達成地点数は、基準地点のみ(補助地点は含めず)。
 2) 集計値は、水産1級、水産2級及び水産3級のみを利用目的としている地点を除いている。

表10-1 湖沼における全窒素及び全燐の環境基準達成状況

類型	類型指定水域数				達成水域数				達成率 (%)					
	令和6年度		令和5年度		令和6年度		令和5年度		令和6年度			令和5年度		
	全窒素	全燐	全窒素	全燐	全窒素	全燐	全窒素	全燐	全窒素	全燐	全窒素・全燐	全窒素	全燐	全窒素・全燐
I	0	9	0	9	0	6	0	7	-	66.7	66.7	-	77.8	77.8
II	10	59	10	59	2	35	2	33	20.0	59.3	60.0	20.0	55.9	55.9
III	14	36	14	36	5	21	4	21	35.7	58.3	55.6	28.6	58.3	55.6
IV	14	16	14	16	1	4	1	2	7.1	25.0	12.5	7.1	12.5	12.5
V	4	4	4	4	1	1	1	1	25.0	25.0	25.0	25.0	25.0	25.0
計	42	124	42	124	9	67	8	64	21.4	54.0	51.6	19.0	51.6	50.8

注：1) 全窒素・全燐の達成率は、以下の考え方で算出している。
 ① 全窒素及び全燐の環境基準が適用される水域については、全窒素、全燐ともに環境基準を満足している場合に達成水域としている。
 ② 全燐のみ環境基準が適用される水域については、全燐が環境基準を満足している場合に達成水域としている。
 2) 湖沼については、全窒素のみ環境基準を適用する水域はない。

表10-2 湖沼における全窒素及び全燐の環境基準達成率の推移

項目	年度	昭和	60	61	62	63	平成	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
		59					元															
全窒素	類型指定水域数	3	7	15	17	21	22	22	22	22	22	23	23	24	25	27	27	28	32	32	32	35
	達成水域数	0	1	2	2	1	3	3	1	1	1	1	1	3	3	3	2	2	2	3	2	3
	達成率 (%)	0.0	14.3	13.3	11.8	4.8	13.6	13.6	4.5	4.5	4.5	4.3	4.3	12.5	12.0	11.1	7.4	7.1	6.3	9.4	6.3	8.6
全燐	類型指定水域数	3	17	31	37	42	45	47	48	48	48	49	50	51	54	60	64	67	79	81	93	98
	達成水域数	0	9	17	16	16	17	24	17	23	19	23	24	27	25	25	30	31	35	34	47	50
	達成率 (%)	0.0	52.9	54.8	43.2	38.1	37.8	51.1	35.4	47.9	39.6	46.9	48.0	52.9	46.3	41.7	46.9	46.3	44.3	42.0	50.5	51.0
全窒素・全燐	類型指定水域数	3	17	31	37	42	45	47	48	48	48	49	50	51	54	60	64	67	79	81	93	98
	達成水域数	0	8	15	15	13	16	20	14	18	15	20	18	24	23	23	27	27	30	28	40	43
	達成率 (%)	0.0	47.1	48.4	40.5	31.0	35.6	42.6	29.2	37.5	31.3	40.8	36.0	47.1	42.6	38.3	42.2	40.3	38.0	34.6	43.0	43.9

項目	年度	平成	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	令和	2	3	4	5	6
		17														元					
全窒素	類型指定水域数	35	35	35	37	39	38	39	39	39	39	39	40	41	42	42	42	42	42	42	42
	達成水域数	4	3	4	3	6	5	5	5	5	6	5	5	6	7	9	9	8	10	8	9
	達成率 (%)	11.4	8.6	11.4	8.1	15.4	13.2	12.8	12.8	12.8	15.4	12.8	12.5	14.6	16.7	21.4	23.8	19.0	23.8	19.0	21.4
全燐	類型指定水域数	103	109	110	112	115	117	119	119	119	121	121	121	121	121	120	122	123	124	124	124
	達成水域数	54	57	57	64	67	62	61	65	62	64	66	64	62	62	61	67	69	68	64	67
	達成率 (%)	52.4	52.3	51.8	57.1	58.3	53.0	51.3	54.6	52.1	52.9	54.5	52.9	51.2	51.2	50.8	54.5	56.1	54.8	51.6	54.0
全窒素・全燐	類型指定水域数	103	109	110	112	115	117	119	119	119	121	121	121	121	121	120	123	123	124	124	124
	達成水域数	48	50	51	56	60	59	57	61	60	61	62	60	58	59	59	65	65	67	63	64
	達成率 (%)	46.6	45.9	46.4	50.0	52.2	50.4	47.9	51.3	50.4	50.4	51.2	49.6	47.9	48.8	49.2	52.8	52.8	54.0	50.8	51.6

注：1) 「全窒素」は、全窒素について環境基準を満足している水域を達成水域とした。
 2) 「全燐」は、全燐について環境基準を満足している水域を達成水域とした。
 3) 「全窒素・全燐」の環境基準の達成について
 ① 全窒素及び全燐の環境基準が適用される水域については、全窒素、全燐ともに環境基準を満足している場合に達成水域としている。
 ② 全燐のみ環境基準が適用される水域については、全燐が環境基準を満足している場合に達成水域としている。
 4) 湖沼については、全窒素のみ環境基準を適用する水域はない。
 5) 湖沼の全窒素及び全燐は、昭和59年度から測定が開始された。

図7 湖沼における全窒素及び全燐の環境基準達成率の推移

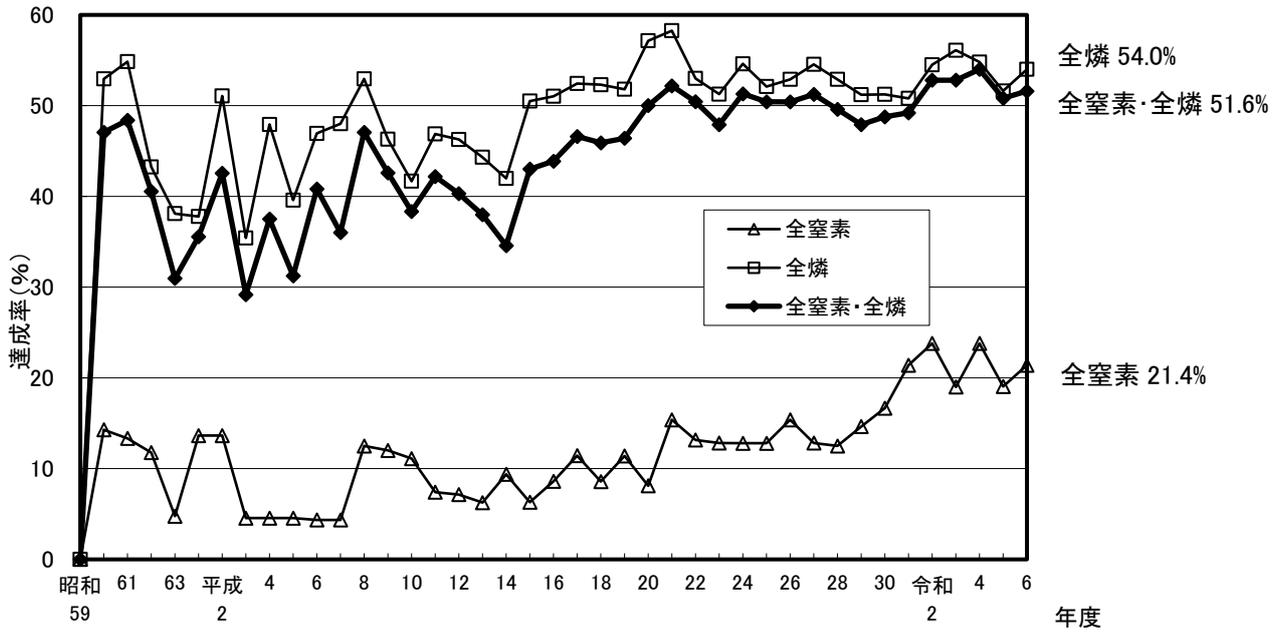


表11 湖沼における全窒素及び全燐の類型別の濃度推移

		(単位:mg/L)																				
湖沼	年度	年度																				
		昭和59	60	61	62	63	平成元	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
全窒素	全体	2.5	0.67	0.66	0.65	0.69	0.62	0.60	0.68	0.67	0.68	0.60	0.62	0.61	0.60	0.63	0.59	0.66	0.62	0.57	0.60	0.64
	I	—	0.13	0.18	0.16	0.17	0.19	0.17	0.19	0.17	0.19	0.17	0.17	0.14	0.15	0.17	0.17	0.21	0.21	0.19	0.20	0.20
	II	—	0.22	0.25	0.25	0.26	0.25	0.22	0.24	0.23	0.24	0.20	0.25	0.25	0.27	0.31	0.33	0.36	0.39	0.35	0.30	0.38
	III	2.3	1.2	0.71	0.68	0.71	0.69	0.67	0.78	0.66	0.68	0.63	0.61	0.61	0.63	0.66	0.63	0.66	0.64	0.61	0.60	0.68
	IV	1.1	1.1	1.0	0.98	0.89	0.83	0.82	0.91	1.1	1.1	0.87	0.90	0.93	0.92	0.95	0.89	1.10	1.01	0.9	1.0	1.1
	V	4.7	3.5	3.6	2.5	2.5	2.0	2.0	2.5	2.3	2.1	2.0	2.3	2.0	1.8	2.0	1.7	1.6	1.6	1.4	1.4	1.5
全燐	全体	0.25	0.065	0.056	0.054	0.049	0.046	0.044	0.047	0.045	0.057	0.050	0.047	0.051	0.049	0.048	0.043	0.045	0.041	0.038	0.040	0.038
	I	—	0.004	0.004	0.005	0.005	0.005	0.005	0.005	0.004	0.005	0.004	0.005	0.004	0.004	0.007	0.004	0.004	0.005	0.006	0.000	0.004
	II	—	0.009	0.008	0.008	0.008	0.009	0.009	0.012	0.010	0.010	0.008	0.009	0.008	0.009	0.011	0.011	0.013	0.011	0.013	0.011	0.012
	III	0.14	0.054	0.053	0.054	0.050	0.050	0.048	0.047	0.050	0.056	0.056	0.054	0.060	0.062	0.060	0.055	0.056	0.053	0.050	0.050	0.047
	IV	0.098	0.083	0.11	0.097	0.065	0.064	0.064	0.071	0.062	0.11	0.072	0.066	0.074	0.071	0.072	0.060	0.074	0.069	0.065	0.067	0.069
	V	0.53	0.48	0.45	0.26	0.23	0.20	0.21	0.22	0.20	0.18	0.21	0.21	0.21	0.19	0.18	0.17	0.15	0.15	0.14	0.13	0.14
全窒素	全体	0.60	0.60	0.59	0.59	0.59	0.61	0.61	0.62	0.63	0.58	0.56	0.58	0.59	0.53	0.54	0.53	0.52	0.52	0.53	0.55	
	I	0.19	0.21	0.20	0.19	0.19	0.18	0.21	0.20	0.18	0.19	0.19	0.20	0.20	0.18	0.17	0.17	0.16	0.16	0.16	0.17	
	II	0.39	0.40	0.39	0.37	0.36	0.36	0.40	0.50	0.36	0.35	0.35	0.37	0.35	0.33	0.35	0.30	0.31	0.32	0.31	0.33	
	III	0.7	0.64	0.63	0.66	0.64	0.69	0.69	0.75	0.74	0.66	0.61	0.62	0.68	0.61	0.69	0.63	0.57	0.55	0.60	0.63	
	IV	1.0	1.0	0.95	0.92	0.96	0.97	0.92	1.0	1.1	0.93	0.92	0.95	0.94	0.84	0.96	0.83	0.89	0.89	0.87	0.89	
	V	1.4	1.4	1.3	1.4	1.2	1.3	1.3	1.2	1.3	1.2	1.3	1.2	1.2	1.2	1.2	1.2	1.2	1.2	1.1	1.1	
全燐	全体	0.034	0.036	0.036	0.037	0.039	0.039	0.038	0.040	0.041	0.036	0.037	0.039	0.038	0.037	0.032	0.041	0.039	0.037	0.038	0.038	
	I	0.004	0.004	0.005	0.004	0.005	0.004	0.005	0.005	0.004	0.005	0.005	0.004	0.004	0.005	0.006	0.004	0.004	0.027	0.004	0.004	
	II	0.011	0.012	0.011	0.011	0.011	0.013	0.015	0.013	0.013	0.013	0.013	0.016	0.014	0.012	0.014	0.013	0.012	0.012	0.012	0.012	
	III	0.040	0.042	0.045	0.047	0.042	0.045	0.045	0.050	0.050	0.043	0.041	0.043	0.042	0.044	0.039	0.051	0.046	0.038	0.043	0.043	
	IV	0.068	0.07	0.066	0.067	0.076	0.066	0.064	0.065	0.07	0.062	0.067	0.067	0.073	0.062	0.072	0.069	0.070	0.069	0.074	0.074	
	V	0.13	0.13	0.13	0.13	0.15	0.15	0.15	0.15	0.15	0.13	0.15	0.15	0.15	0.15	0.15	0.15	0.16	0.16	0.15	0.16	

注：1) 湖沼の全窒素及び全燐は、昭和59年度から測定が開始された。
2) 環境基準点における年間平均値を用いて算出している。

図8-1 湖沼における全窒素の類型別の濃度推移

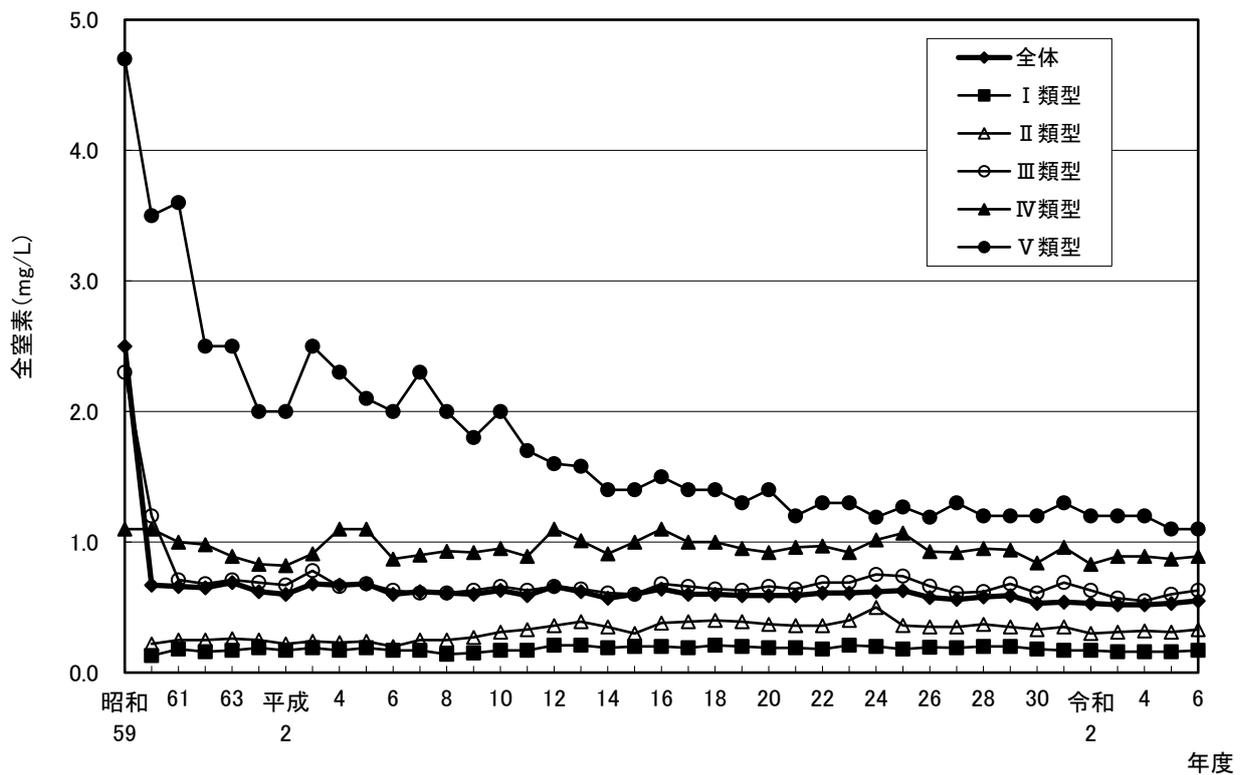


図8-2 湖沼における全燐の類型別の濃度推移

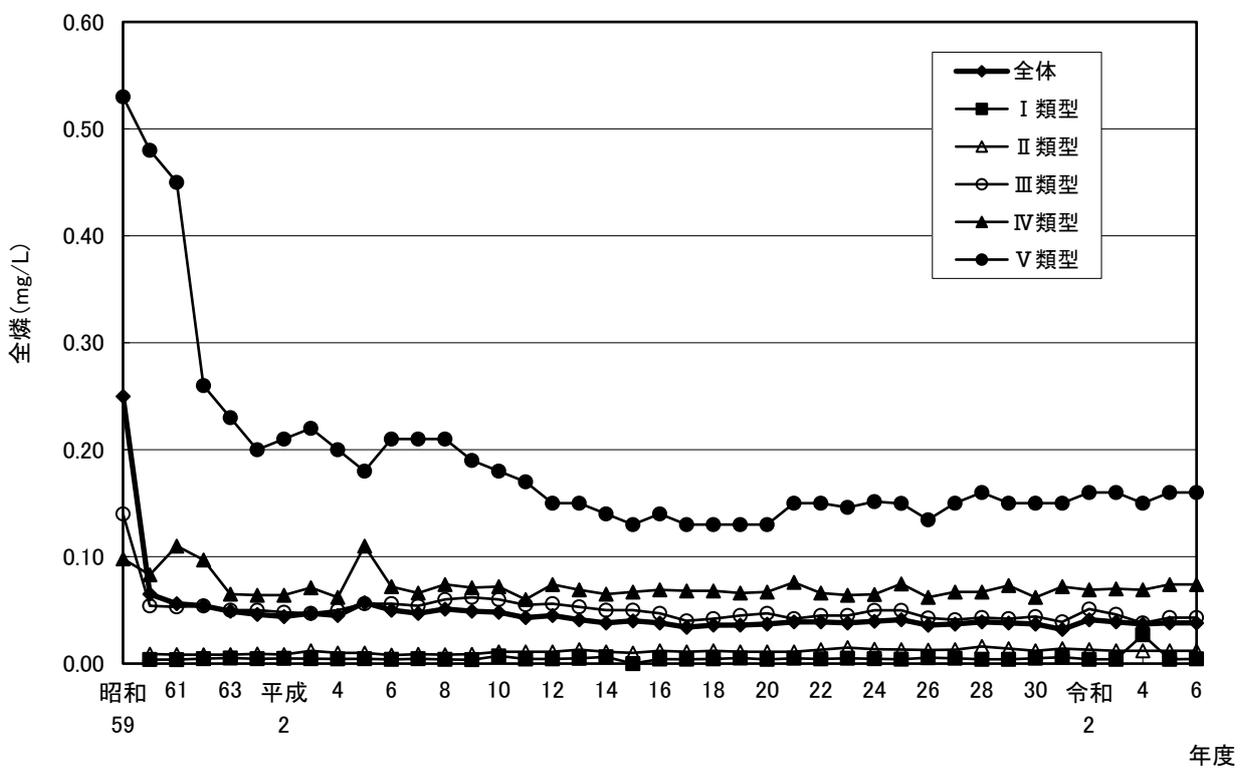


表12 指定湖沼における全窒素及び全燐の濃度推移

(1) 全窒素

(単位: mg/L)

湖沼	年度		地点数	平成27	28	29	30	令和元	2	3	4	5	6
	類型	地点数											
釜房ダム *	-	1	0.57	0.40	0.46	0.40	0.36	0.40	0.38	0.44	0.50	0.49	0.49
八郎湖	IV	3	1.2	1.2	1.3	1.5	1.4	1.3	1.4	1.2	1.2	1.4	1.4
霞ヶ浦	西浦	III	4	1.2	1.2	1.1	1.0	1.2	0.9	0.92	0.68	0.89	1.1
				1.1	1.1	1.0	0.9	1.10	0.8	0.82	0.62	0.80	0.97
	北浦	III	2	1.3	1.3	1.3	1.4	1.4	1.4	1.0	1.00	1.1	1.3
常陸利根川	III	2	1.2	1.3	1.2	1.3	1.4	1.3	0.9	0.94	1.03	1.3	1.3
			0.9	0.94	0.89	0.97	1.10	0.9	0.77	0.61	0.81	0.91	
印旛沼	III	1	2.4	2.6	2.3	2.2	2.8	3.0	2.9	2.5	2.5	2.5	2.5
			2.4	2.6	2.3	2.2	2.8	3.0	2.9	2.5	2.5	2.5	
手賀沼	V	1	2.1	2.2	2.1	2.1	2.3	2.3	2.3	2.2	2.1	2.2	
諏訪湖	IV	3	0.88	0.88	0.94	0.63	0.61	0.70	0.62	0.57	0.66	0.67	0.67
			0.82	0.80	0.87	0.62	0.60	0.64	0.61	0.54	0.63	0.65	
野尻湖 *	-	2	0.14	0.13	0.11	0.13	0.11	0.12	0.12	0.09	0.11	0.17	
琵琶湖	北湖	II	3	0.25	0.23	0.22	0.21	0.20	0.20	0.21	0.20	0.19	0.19
				0.24	0.23	0.21	0.20	0.20	0.19	0.20	0.20	0.18	0.18
南湖	II	1	0.24	0.25	0.23	0.32	0.22	0.24	0.27	0.23	0.22	0.23	0.23
			0.24	0.25	0.23	0.32	0.22	0.24	0.27	0.23	0.22	0.23	
中海	III	12	0.50	0.59	0.51	0.51	0.44	0.47	0.44	0.53	0.49	0.49	
宍道湖	III	5	0.45	0.47	0.52	0.47	0.50	0.48	0.43	0.53	0.46	0.46	0.46
			0.44	0.45	0.47	0.44	0.46	0.45	0.40	0.47	0.43	0.44	
児島湖	V	2	1.1	1.2	1.5	1.2	1.0	1.2	1.1	1.2	1.2	1.3	1.3
			1.1	1.2	1.5	1.2	1.0	1.2	1.1	1.2	1.2	1.3	
指定湖沼全体		42	0.90	0.94	0.92	0.88	0.94	0.92	0.89	0.82	0.84	0.91	

(2) 全 燐

(単位: mg/L)

湖沼	年度		地点数	平成27	28	29	30	令和元	2	3	4	5	6
	類型	地点数											
釜房ダム	II	1	0.022	0.017	0.018	0.018	0.014	0.015	0.015	0.016	0.020	0.018	0.018
八郎湖	IV	3	0.083	0.077	0.078	0.075	0.081	0.080	0.098	0.069	0.081	0.10	0.10
霞ヶ浦	西浦	III	4	0.100	0.10	0.09	0.090	0.097	0.098	0.100	0.086	0.093	0.082
				0.090	0.089	0.086	0.084	0.088	0.092	0.098	0.077	0.085	0.076
	北浦	III	2	0.12	0.12	0.12	0.13	0.13	0.14	0.12	0.11	0.11	0.10
常陸利根川	III	2	0.110	0.11	0.11	0.12	0.11	0.13	0.11	0.10	0.098	0.087	0.087
			0.095	0.085	0.093	0.098	0.092	0.100	0.10	0.09	0.095	0.089	
印旛沼	III	1	0.13	0.14	0.14	0.16	0.15	0.14	0.16	0.14	0.16	0.14	0.14
			0.13	0.14	0.14	0.16	0.15	0.14	0.16	0.14	0.16	0.14	
手賀沼	V	1	0.13	0.15	0.15	0.16	0.15	0.17	0.16	0.16	0.17	0.18	
諏訪湖	IV	3	0.052	0.050	0.060	0.045	0.040	0.044	0.041	0.038	0.047	0.041	0.041
			0.049	0.042	0.052	0.042	0.036	0.037	0.038	0.035	0.037	0.037	
野尻湖	I	2	0.006	0.006	0.005	0.005	0.005	0.005	0.005	0.006	0.005	0.006	
琵琶湖	北湖	II	3	0.008	0.009	0.007	0.006	0.006	0.007	0.008	0.009	0.008	0.009
				0.007	0.008	0.006	0.005	0.005	0.006	0.007	0.008	0.007	0.008
南湖	II	1	0.012	0.013	0.014	0.017	0.011	0.015	0.016	0.014	0.014	0.016	0.016
			0.012	0.013	0.014	0.017	0.011	0.015	0.016	0.014	0.014	0.016	
中海	III	12	0.048	0.064	0.054	0.051	0.042	0.057	0.045	0.051	0.054	0.059	
宍道湖	III	5	0.038	0.042	0.056	0.049	0.044	0.059	0.044	0.048	0.052	0.059	0.059
			0.035	0.040	0.045	0.048	0.041	0.056	0.038	0.040	0.050	0.048	
児島湖	V	2	0.17	0.18	0.19	0.17	0.18	0.21	0.20	0.17	0.18	0.19	0.19
			0.17	0.18	0.18	0.16	0.18	0.20	0.20	0.17	0.18	0.19	
指定湖沼全体		42	0.069	0.070	0.072	0.073	0.071	0.077	0.076	0.068	0.074	0.073	

注：1) 上段は各環境基準点の年間平均値の全地点最大値、下段は環境基準点の年間平均値の全地点平均値を記載した。

2) 全窒素で類型指定のない釜房ダム及び野尻湖(*)は、全燐の類型指定で環境基準となってる地点の年間平均値の全地点平均値を記載した。

3) 指定湖沼全体の平均値は、指定湖沼毎の平均値を平均して求めた。

4) 地点数は、令和6年度の各湖沼における環境基準点の測定地点数を記載した。

図9-1 指定湖沼における全窒素の濃度推移(全地点平均)

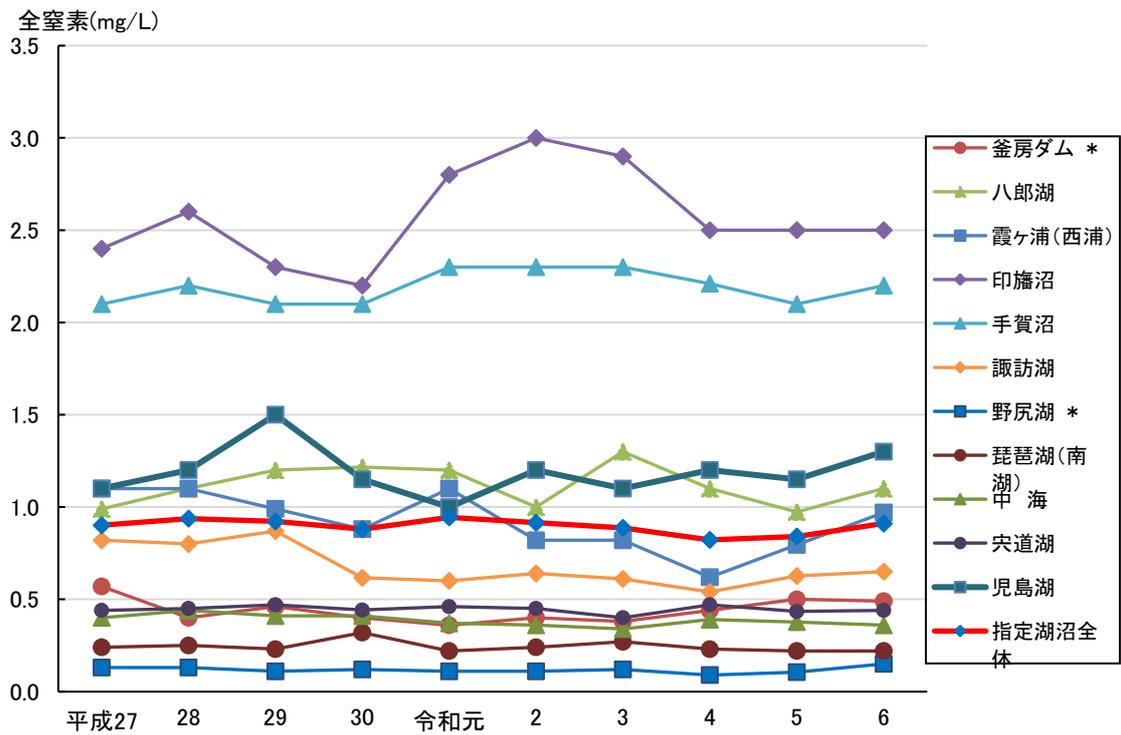


図9-2 指定湖沼における全燐の濃度推移(全地点平均)

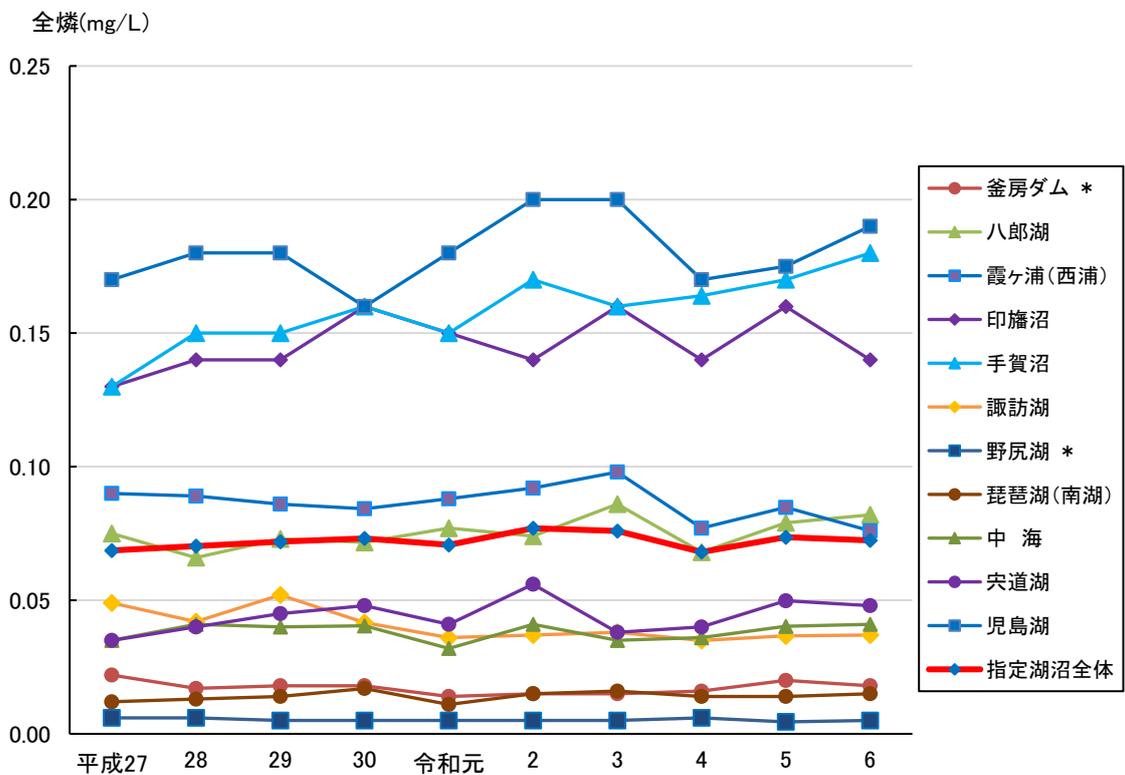


表13-1 海域における全窒素及び全磷の環境基準達成状況

類 型	類型指定水域数		達成水域数		達成率(%)	
	令和6年度	令和5年度	令和6年度	令和5年度	令和6年度	令和5年度
I	13	13	10	11	76.9	84.6
II	92	92	83	83	90.2	90.2
III	36	36	33	30	91.7	83.3
IV	11	11	10	10	90.9	90.9
計	152	152	136	134	89.5	88.2

注：1) 全窒素及び全磷ともに環境基準を満足している場合に、達成水域とした。
 2) 海域については、全窒素のみ又は全磷のみ環境基準を適用する水域はない。

表13-2 海域における全窒素及び全磷の環境基準達成率の推移

項 目	年度	平成7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21
		全窒素	類型指定水域数	9	29	49	112	124	132	145	152	152	152	152	152	152
達成水域数	2		20	33	83	96	102	128	134	135	126	131	133	141	140	143
達成率(%)	22.2		69.0	67.3	74.1	77.4	77.3	88.3	88.2	88.8	82.9	86.2	87.5	92.8	92.1	94.7
全磷	類型指定水域数	9	29	49	112	124	132	145	152	152	152	152	152	152	152	151
	達成水域数	4	16	32	94	107	112	127	134	135	134	134	132	133	136	128
	達成率(%)	44.4	55.2	65.3	83.9	86.3	84.8	87.6	88.2	88.8	88.2	88.2	86.8	87.5	89.5	84.8
全窒素・全磷	類型指定水域数	9	29	49	112	124	132	145	152	152	152	152	152	152	152	151
	達成水域数	2	16	27	79	90	94	119	122	128	119	125	122	125	129	123
	達成率(%)	22.2	55.2	55.1	70.5	72.6	71.2	82.1	80.3	84.2	78.3	82.2	80.3	82.2	84.9	81.5

項 目	年度	平成22	23	24	25	26	27	28	29	30	令和元	2	3	4	5	6
		全窒素	類型指定水域数	152	151	149	149	151	151	151	151	151	151	151	152	152
達成水域数	137		142	132	141	145	145	146	143	147	145	146	149	151	145	147
達成率(%)	90.1		94.0	88.6	94.6	96.0	96.0	96.7	94.7	97.4	96.0	96.7	98.0	99.3	95.4	96.7
全磷	類型指定水域数	152	151	149	149	151	151	151	151	151	151	151	152	152	152	152
	達成水域数	133	132	131	137	139	134	139	139	142	143	137	139	138	138	138
	達成率(%)	87.5	87.4	87.9	91.9	92.1	88.7	92.1	92.1	94.0	94.7	90.7	91.4	90.8	90.8	90.8
全窒素・全磷	類型指定水域数	152	151	149	149	151	151	151	151	151	151	151	152	152	152	152
	達成水域数	124	128	125	132	135	131	136	137	139	138	133	138	137	134	136
	達成率(%)	81.6	84.8	83.9	88.6	89.4	86.8	90.1	90.7	92.1	91.4	88.1	90.8	90.1	88.2	89.5

注：1) 全窒素及び全磷ともに環境基準を満足している場合に、達成水域とした。
 2) 海域については、全窒素のみ又は全磷のみ環境基準を適用する水域はない。
 3) 海域の全窒素及び全磷は平成7年度から測定が開始された。

図10 海域における全窒素及び全リンの環境基準達成率の推移

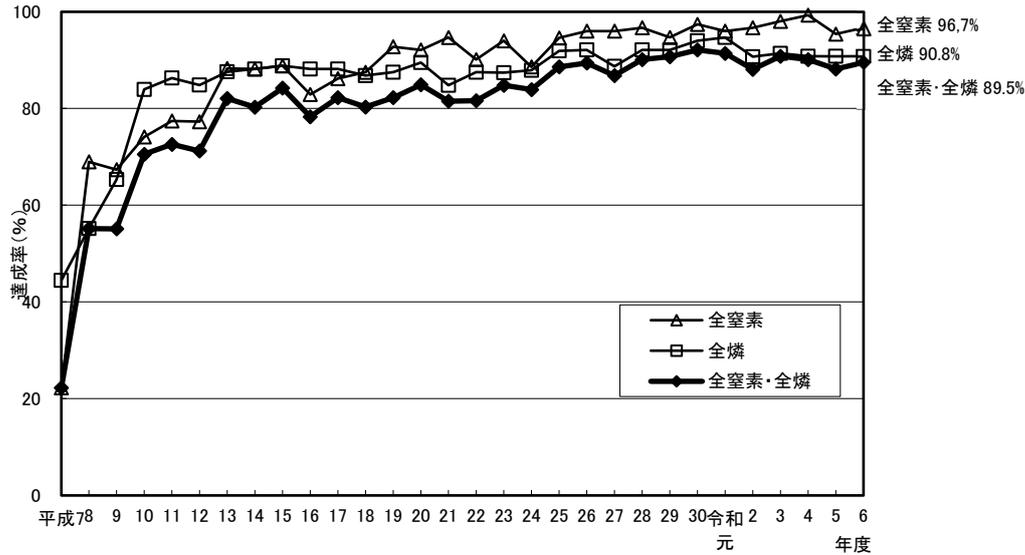


表14 広域的な閉鎖性海域における全窒素及び全リンの環境基準達成率の推移

項目	年度	平成7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21
		東京湾	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6
東京湾	2	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	4	4	4	3	5
東京湾	33.3	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	66.7	66.7	66.7	50.0	83.3
伊勢湾(三河湾を含む)	—	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7
伊勢湾(三河湾を含む)	—	3	2	3	3	3	3	4	4	4	3	5	3	4	6	3
伊勢湾(三河湾を含む)	—	42.9	28.6	42.9	42.9	42.9	42.9	57.1	57.1	57.1	42.9	71.4	42.9	57.1	85.7	42.9
大阪湾	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
大阪湾	0	1	1	2	2	1	1	2	2	3	2	2	3	2	2	2
大阪湾	0.0	33.3	33.3	66.7	66.7	33.3	33.3	66.7	100.0	66.7	66.7	100.0	66.7	66.7	66.7	66.7
瀬戸内海(大阪湾を除く)	—	5	12	57	57	57	57	57	57	57	57	57	57	57	57	56
瀬戸内海(大阪湾を除く)	—	3	11	46	48	53	56	53	55	50	56	54	55	55	55	55
瀬戸内海(大阪湾を除く)	—	60.0	91.7	80.7	84.2	93.0	98.2	93.0	96.5	87.7	98.2	94.7	96.5	96.5	98.2	98.2
瀬戸内海(大阪湾を含む)	—	8	15	60	60	60	60	60	60	60	60	60	60	60	60	59
瀬戸内海(大阪湾を含む)	—	4	12	48	50	54	57	55	58	52	58	57	57	57	57	57
瀬戸内海(大阪湾を含む)	—	50.0	80.0	80.0	83.3	90.0	95.0	91.7	96.7	86.7	96.7	95.0	95.0	95.0	96.6	96.6
有明海	—	—	—	—	—	—	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5
有明海	—	—	—	—	—	—	2	3	3	2	3	3	2	2	2	2
有明海	—	—	—	—	—	—	40.0	60.0	60.0	40.0	60.0	60.0	40.0	40.0	40.0	40.0
八代海	—	—	—	—	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4
八代海	—	—	—	—	3	1	4	3	4	4	4	4	4	4	3	2
八代海	—	—	—	—	75.0	25.0	100.0	75.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	75.0	75.0	50.0

項目	年度	平成22	23	24	25	26	27	28	29	30	令和元	2	3	4	5	6
		東京湾	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6
東京湾	4	6	5	5	5	4	6	4	6	6	6	6	6	6	5	6
東京湾	66.7	100.0	83.3	83.3	83.3	66.7	100.0	66.7	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	83.3	100.0
伊勢湾(三河湾を含む)	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7
伊勢湾(三河湾を含む)	6	3	4	6	5	5	6	6	6	6	6	6	6	5	6	6
伊勢湾(三河湾を含む)	85.7	42.9	57.1	85.7	71.4	71.4	85.7	85.7	85.7	85.7	85.7	85.7	85.7	71.4	85.7	85.7
大阪湾	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
大阪湾	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
大阪湾	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
瀬戸内海(大阪湾を除く)	57	57	57	57	57	57	57	57	57	57	57	58	57	57	57	57
瀬戸内海(大阪湾を除く)	55	53	56	56	55	55	56	55	55	55	55	53	53	55	55	55
瀬戸内海(大阪湾を除く)	96.5	93.0	98.2	98.2	96.5	96.5	98.2	96.5	96.5	96.5	96.5	91.4	93.0	96.5	96.5	96.5
瀬戸内海(大阪湾を含む)	60	60	60	60	60	60	60	60	60	60	60	61	60	60	60	60
瀬戸内海(大阪湾を含む)	58	56	59	59	58	58	59	58	58	58	58	56	56	58	58	58
瀬戸内海(大阪湾を含む)	96.7	93.3	98.3	98.3	96.7	96.7	98.3	96.7	96.7	96.7	96.7	91.8	93.3	96.7	96.7	96.7
有明海	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5
有明海	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	1	2	2	2	2
有明海	40.0	40.0	40.0	40.0	40.0	40.0	40.0	40.0	40.0	40.0	40.0	20.0	40.0	40.0	40.0	40.0
八代海	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4
八代海	4	3	4	3	4	3	3	4	3	4	4	4	4	0	4	4
八代海	100.0	75.0	100.0	75.0	100.0	75.0	75.0	100.0	75.0	100.0	100.0	100.0	100.0	0.0	100.0	100.0

注：1）全窒素及び全リンともに環境基準を満足している場合に、達成水域とした。
 2）海域については、全窒素のみ又は全リンのみ環境基準を適用する水域はない。
 3）海域の全窒素及び全リンは平成7年度から測定が開始された。

図11 広域的な閉鎖性海域における全窒素及び全磷の環境基準達成率の推移

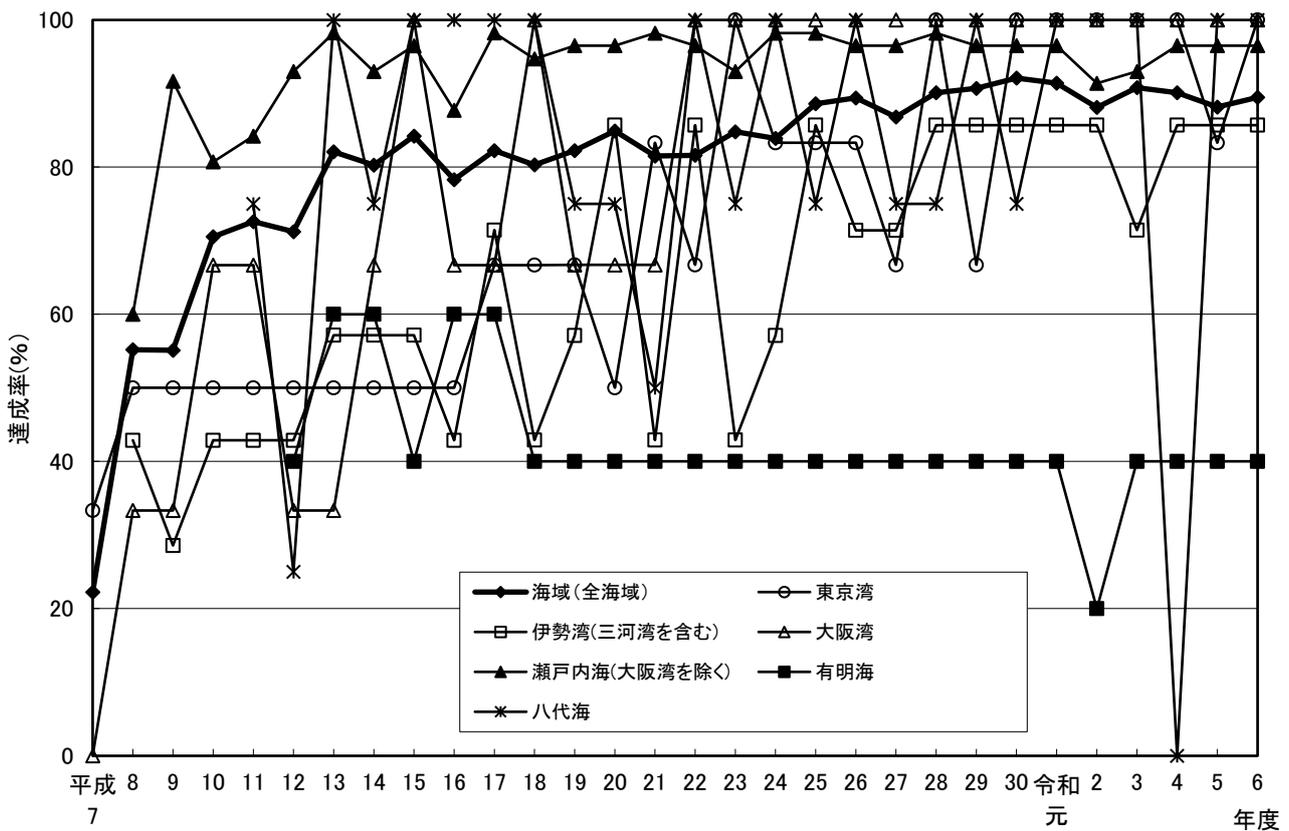


表15 海域における全窒素及び全磷の類型別の濃度推移

年度		平成	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21		
類型	海域	全窒素	全体	0.85	0.53	0.40	0.36	0.34	0.34	0.31	0.28	0.30	0.31	0.28	0.29	0.27	0.27	0.25
		I	—	0.20	0.12	0.14	0.14	0.17	0.17	0.17	0.18	0.17	0.17	0.18	0.16	0.16	0.15	
		II	0.45	0.34	0.29	0.28	0.27	0.26	0.25	0.22	0.23	0.25	0.22	0.23	0.21	0.21	0.20	
		III	0.86	0.57	0.59	0.57	0.51	0.52	0.49	0.44	0.47	0.46	0.43	0.44	0.41	0.42	0.40	
		IV	1.2	0.93	0.98	1.0	0.98	1.0	0.95	0.89	0.89	0.87	0.78	0.79	0.78	0.82	0.72	
		全磷	全体	0.064	0.052	0.036	0.031	0.029	0.029	0.031	0.027	0.027	0.028	0.027	0.029	0.027	0.028	0.028
		I	—	0.018	0.014	0.013	0.014	0.015	0.015	0.014	0.015	0.014	0.015	0.014	0.015	0.015	0.015	0.017
		II	0.035	0.038	0.026	0.024	0.024	0.023	0.023	0.022	0.022	0.023	0.022	0.023	0.022	0.022	0.022	0.022
		III	0.063	0.054	0.052	0.049	0.044	0.050	0.046	0.041	0.043	0.044	0.043	0.047	0.044	0.045	0.046	
		IV	0.086	0.083	0.085	0.077	0.074	0.074	0.075	0.070	0.070	0.066	0.069	0.067	0.070	0.068	0.067	0.064

年度		平成	22	23	24	25	26	27	28	29	30	令和	2	3	4	5	6		
類型	海域	全窒素	全体	0.25	0.27	0.26	0.24	0.25	0.25	0.23	0.24	0.24	0.24	0.28	0.22	0.21	0.22	0.23	
		I	0.16	0.16	0.16	0.17	0.16	0.16	0.15	0.16	0.16	0.16	0.14	0.16	0.15	0.16	0.16	0.15	
		II	0.19	0.21	0.19	0.19	0.20	0.19	0.18	0.19	0.19	0.19	0.17	0.20	0.17	0.16	0.17	0.18	
		III	0.40	0.41	0.34	0.38	0.37	0.39	0.36	0.35	0.36	0.34	0.38	0.34	0.32	0.34	0.34	0.33	
		IV	0.75	0.74	0.68	0.69	0.70	0.73	0.67	0.73	0.67	0.66	0.66	0.84	0.64	0.64	0.64	0.67	
		全磷	全体	0.026	0.027	0.027	0.025	0.026	0.026	0.026	0.026	0.026	0.025	0.027	0.031	0.026	0.025	0.025	0.025
		I	0.015	0.015	0.019	0.016	0.016	0.015	0.016	0.016	0.014	0.014	0.016	0.016	0.015	0.016	0.015	0.016	
		II	0.021	0.022	0.021	0.020	0.021	0.020	0.021	0.021	0.021	0.020	0.021	0.021	0.025	0.021	0.021	0.020	
		III	0.043	0.044	0.036	0.042	0.043	0.044	0.041	0.040	0.041	0.041	0.037	0.043	0.041	0.040	0.040	0.038	
		IV	0.062	0.060	0.057	0.055	0.060	0.061	0.059	0.064	0.055	0.055	0.059	0.072	0.059	0.056	0.061	0.056	

注：1) 海域の全窒素及び全磷は、平成7年度から測定が開始された。
 2) 環境基準点における年間平均値を用いて算出している。

図12-1 海域における全窒素の類型別の濃度推移

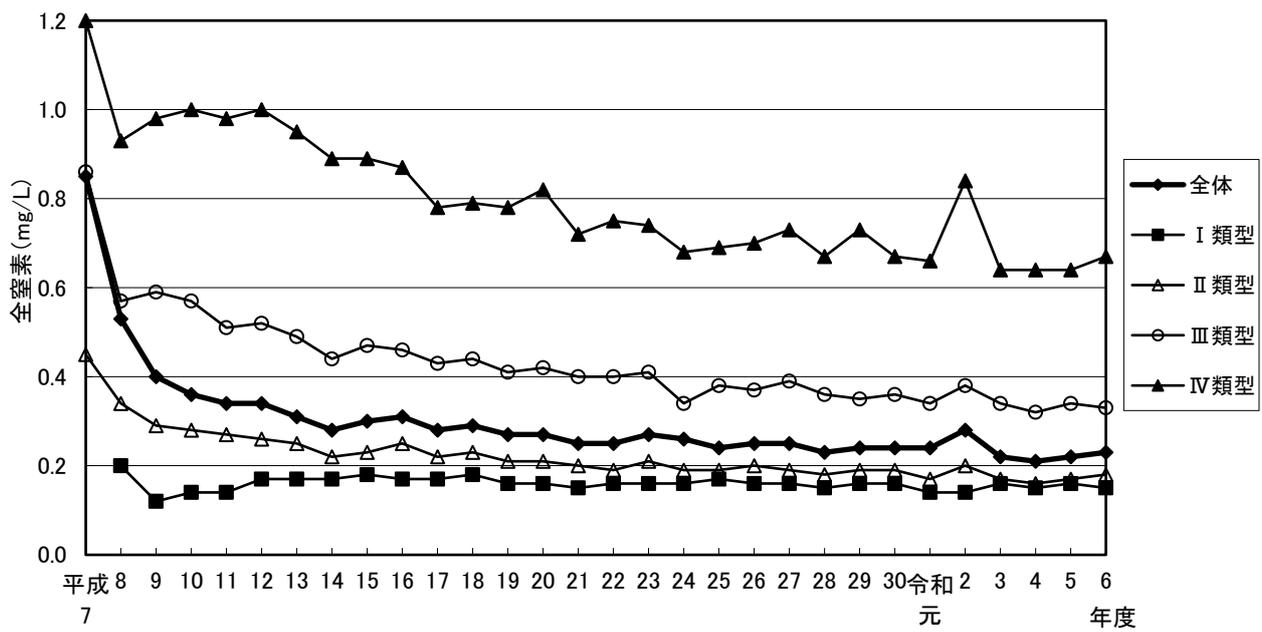


図12-2 海域における全磷の類型別の濃度推移

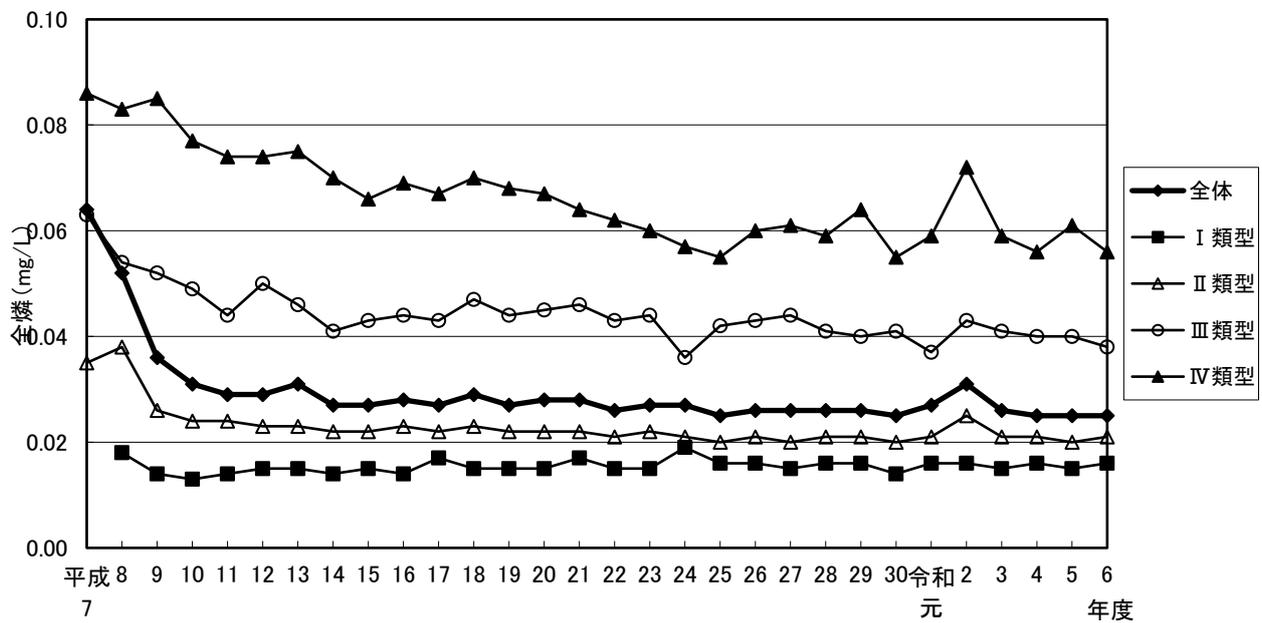


表16 広域的な閉鎖性海域における全窒素及び全磷の濃度推移

		(1)全窒素										最近10年間の 平均値
		年度	平成 27	28	29	30	令和 元	2	3	4	5	
東京湾	平均値(mg/L)	0.64	0.59	0.67	0.59	0.57	0.57	0.56	0.54	0.55	0.57	0.59 mg/L
	I 類型	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	II 類型	0.28	0.27	0.35	0.25	0.26	0.25	0.22	0.24	0.22	0.24	
	III 類型	0.58	0.55	0.61	0.54	0.51	0.51	0.48	0.50	0.50	0.47	
	IV 類型	0.81	0.74	0.83	0.75	0.73	0.73	0.75	0.68	0.71	0.75	
	環境基準点総数①	32	32	32	32	32	32	32	32	32	32	
	基準値を満たす 環境基準点数 ②	21	24	22	27	25	26	29	29	30	30	
	②/①(%)	66	75	69	84	78	81	91	91	94	94	
伊(三河湾を含む)	平均値(mg/L)	0.38	0.36	0.37	0.35	0.40	0.35	0.34	0.34	0.33	0.31	0.35 mg/L
	I 類型	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	II 類型	0.30	0.29	0.31	0.28	0.32	0.28	0.27	0.26	0.25	0.26	
	III 類型	0.43	0.39	0.40	0.39	0.44	0.37	0.41	0.35	0.38	0.35	
	IV 類型	0.58	0.54	0.55	0.52	0.61	0.53	0.46	0.56	0.50	0.43	
	環境基準点総数③	33	33	33	33	33	33	33	33	33	33	
	基準値を満たす 環境基準点数 ④	25	25	22	27	19	26	24	32	31	29	
	④/③(%)	76	76	67	82	58	79	73	97	94	88	
大阪湾	平均値(mg/L)	0.33	0.32	0.31	0.31	0.29	0.30	0.27	0.26	0.29	0.25	0.29 mg/L
	I 類型	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	II 類型	0.23	0.21	0.20	0.22	0.20	0.22	0.19	0.18	0.18	0.17	
	III 類型	0.37	0.33	0.32	0.34	0.33	0.31	0.27	0.27	0.32	0.26	
	IV 類型	0.50	0.51	0.49	0.46	0.42	0.45	0.43	0.43	0.46	0.39	
	環境基準点総数⑤	22	22	22	22	22	22	22	22	22	22	
	基準値を満たす 環境基準点数 ⑥	22	22	22	22	22	22	22	22	22	22	
	⑥/⑤(%)	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	
瀬戸内海(大阪湾を除く)	平均値(mg/L)	0.20	0.19	0.20	0.20	0.18	0.18	0.19	0.18	0.18	0.18	0.19 mg/L
	I 類型	0.15	0.14	0.13	0.15	0.16	0.19	0.17	0.12	0.18	0.13	
	II 類型	0.18	0.17	0.18	0.18	0.16	0.16	0.16	0.16	0.15	0.16	
	III 類型	0.27	0.24	0.25	0.26	0.25	0.21	0.25	0.23	0.22	0.23	
	IV 類型	0.82	0.71	0.82	0.77	0.87	0.73	0.71	0.77	0.73	0.87	
	環境基準点総数⑦	277	275	275	275	275	258	279	279	279	278	
	基準値を満たす 環境基準点数 ⑧	267	268	266	260	270	248	266	272	270	272	
	⑧/⑦(%)	96	97	97	95	98	96	95	97	97	98	
瀬戸内海(大阪湾を含む)	平均値(mg/L)	0.21	0.19	0.21	0.21	0.19	0.19	0.19	0.18	0.18	0.19	0.19 mg/L
	I 類型	0.15	0.14	0.13	0.15	0.16	0.19	0.17	0.12	0.18	0.13	
	II 類型	0.18	0.17	0.18	0.18	0.16	0.17	0.16	0.16	0.15	0.16	
	III 類型	0.30	0.26	0.27	0.28	0.27	0.24	0.26	0.24	0.25	0.24	
	IV 類型	0.70	0.63	0.69	0.65	0.70	0.63	0.60	0.64	0.63	0.69	
	環境基準点総数⑨	299	297	297	297	297	280	301	301	301	300	
	基準値を満たす 環境基準点数 ⑩	289	290	288	282	292	270	288	294	292	294	
	⑩/⑨(%)	97	98	97	95	98	96	96	98	97	98	
有明海	平均値(mg/L)	0.32	0.33	0.27	0.29	0.26	0.26	0.29	0.26	0.29	0.30	0.29 mg/L
	I 類型	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	II 類型	0.25	0.25	0.22	0.25	0.20	0.23	0.21	0.21	0.22	0.25	
	III 類型	0.38	0.39	0.31	0.32	0.31	0.28	0.34	0.31	0.34	0.34	
	IV 類型	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	環境基準点総数⑪	31	31	31	30	30	30	30	30	30	30	
	基準値を満たす 環境基準点数 ⑫	29	28	31	27	30	29	28	30	29	28	
	⑫/⑪(%)	94	90	100	90	100	97	93	100	97	93	
八代海	平均値(mg/L)	0.17	0.18	0.16	0.17	0.14	0.16	0.18	0.17	0.17	0.18	0.17 mg/L
	I 類型	0.14	0.15	0.14	0.15	0.12	0.14	0.15	0.14	0.16	0.15	
	II 類型	0.20	0.20	0.16	0.19	0.16	0.16	0.21	0.20	0.17	0.20	
	III 類型	0.30	0.31	0.24	0.28	0.25	0.23	0.30	0.26	0.26	0.33	
	IV 類型	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	環境基準点総数⑬	14	14	14	14	14	12	14	14	14	14	
	基準値を満たす 環境基準点数 ⑭	14	13	14	13	14	12	13	13	13	14	
	⑭/⑬(%)	100	93	100	93	100	100	93	93	93	100	

(2)全燐

		年度										最近10年間の 平均値
		平成 27	28	29	30	令和 元	2	3	4	5	6	
東京 湾	平均値 (mg/L)	0.058	0.051	0.061	0.052	0.053	0.048	0.057	0.051	0.061	0.053	0.054 mg/L
	I 類 型	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	II 類 型	0.031	0.025	0.031	0.024	0.027	0.025	0.026	0.025	0.027	0.026	
	III 類 型	0.056	0.044	0.053	0.049	0.049	0.043	0.049	0.047	0.056	0.045	
	IV 類 型	0.069	0.065	0.076	0.064	0.065	0.059	0.074	0.062	0.077	0.068	
	環境基準点総数①	32	32	32	32	32	32	32	32	32	32	
	基準値を満たす 環境基準点数 ②	19	26	20	26	23	26	25	27	18	26	
②/①(%)	59	81	63	81	72	81	78	84	56	81		
伊（三 河湾を 含む） 湾	平均値 (mg/L)	0.043	0.040	0.041	0.038	0.039	0.035	0.036	0.040	0.037	0.036	0.038 mg/L
	I 類 型	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	II 類 型	0.031	0.029	0.031	0.027	0.026	0.025	0.027	0.029	0.027	0.029	
	III 類 型	0.053	0.047	0.044	0.045	0.047	0.043	0.047	0.045	0.045	0.042	
	IV 類 型	0.067	0.065	0.068	0.061	0.068	0.059	0.051	0.065	0.056	0.050	
	環境基準点総数③	33	33	33	33	33	33	33	33	33	33	
	基準値を満たす 環境基準点数 ④	18	26	20	25	27	27	26	29	27	24	
④/③(%)	55	79	61	76	82	82	79	88	82	73		
大 阪 湾	平均値 (mg/L)	0.037	0.036	0.033	0.032	0.034	0.038	0.031	0.031	0.033	0.029	0.034 mg/L
	I 類 型	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	II 類 型	0.027	0.026	0.023	0.025	0.024	0.030	0.024	0.022	0.025	0.023	
	III 類 型	0.039	0.037	0.034	0.034	0.041	0.040	0.031	0.031	0.035	0.030	
	IV 類 型	0.054	0.054	0.050	0.045	0.044	0.054	0.046	0.049	0.048	0.041	
	環境基準点総数⑤	22	22	22	22	22	22	22	22	22	22	
	基準値を満たす 環境基準点数 ⑥	20	19	22	21	21	17	21	22	21	22	
⑥/⑤(%)	91	86	100	95	95	77	95	100	95	100		
瀬 戸 内 海 （大阪湾を除く）	平均値 (mg/L)	0.020	0.022	0.022	0.022	0.022	0.023	0.022	0.022	0.021	0.022	0.022 mg/L
	I 類 型	0.014	0.012	0.010	0.008	0.009	0.009	0.008	0.011	0.011	0.013	
	II 類 型	0.019	0.021	0.021	0.021	0.021	0.023	0.022	0.021	0.020	0.021	
	III 類 型	0.028	0.029	0.031	0.028	0.028	0.029	0.027	0.029	0.027	0.027	
	IV 類 型	0.047	0.047	0.044	0.040	0.045	0.041	0.044	0.046	0.041	0.048	
	環境基準点総数⑦	277	275	275	275	275	258	279	279	279	278	
	基準値を満たす 環境基準点数 ⑧	274	266	269	265	268	232	259	269	267	267	
⑧/⑦(%)	99	97	98	96	97	90	93	96	96	96		
瀬 戸 内 海 （大阪湾を含む）	平均値 (mg/L)	0.022	0.023	0.023	0.022	0.023	0.025	0.023	0.023	0.022	0.022	0.023 mg/L
	I 類 型	0.014	0.012	0.010	0.008	0.009	0.009	0.008	0.011	0.011	0.013	
	II 類 型	0.019	0.021	0.021	0.021	0.021	0.023	0.022	0.021	0.020	0.021	
	III 類 型	0.031	0.031	0.032	0.030	0.032	0.032	0.028	0.029	0.029	0.028	
	IV 類 型	0.050	0.050	0.047	0.042	0.045	0.046	0.045	0.047	0.044	0.045	
	環境基準点総数⑨	299	297	297	297	297	280	301	301	301	300	
	基準値を満たす 環境基準点数 ⑩	294	285	291	286	289	249	280	291	288	289	
⑩/⑨(%)	98	96	98	96	97	89	93	97	96	96		
有 明 海	平均値 (mg/L)	0.049	0.049	0.041	0.042	0.045	0.042	0.048	0.049	0.045	0.045	0.045 mg/L
	I 類 型	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	II 類 型	0.034	0.034	0.029	0.031	0.029	0.032	0.033	0.036	0.031	0.033	
	III 類 型	0.062	0.060	0.051	0.050	0.057	0.050	0.060	0.059	0.055	0.054	
	IV 類 型	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	環境基準点総数⑪	31	31	31	30	30	30	30	30	30	30	
	基準値を満たす 環境基準点数 ⑫	12	13	17	16	16	15	13	11	17	15	
⑫/⑪(%)	39	42	55	53	53	50	43	37	57	50		
八 代 海	平均値 (mg/L)	0.024	0.023	0.021	0.025	0.025	0.022	0.024	0.028	0.022	0.023	0.024 mg/L
	I 類 型	0.018	0.016	0.016	0.017	0.020	0.018	0.018	0.022	0.018	0.018	
	II 類 型	0.027	0.029	0.023	0.030	0.024	0.021	0.027	0.033	0.020	0.022	
	III 類 型	0.051	0.054	0.043	0.059	0.049	0.039	0.047	0.052	0.045	0.049	
	IV 類 型	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	環境基準点総数⑬	14	14	14	14	14	12	14	14	14	14	
	基準値を満たす 環境基準点数 ⑭	11	11	13	12	8	12	12	9	11	10	
⑭/⑬(%)	79	79	93	86	57	100	86	64	79	71		

図13-1 広域的な閉鎖性海域における全窒素の類型別の濃度推移

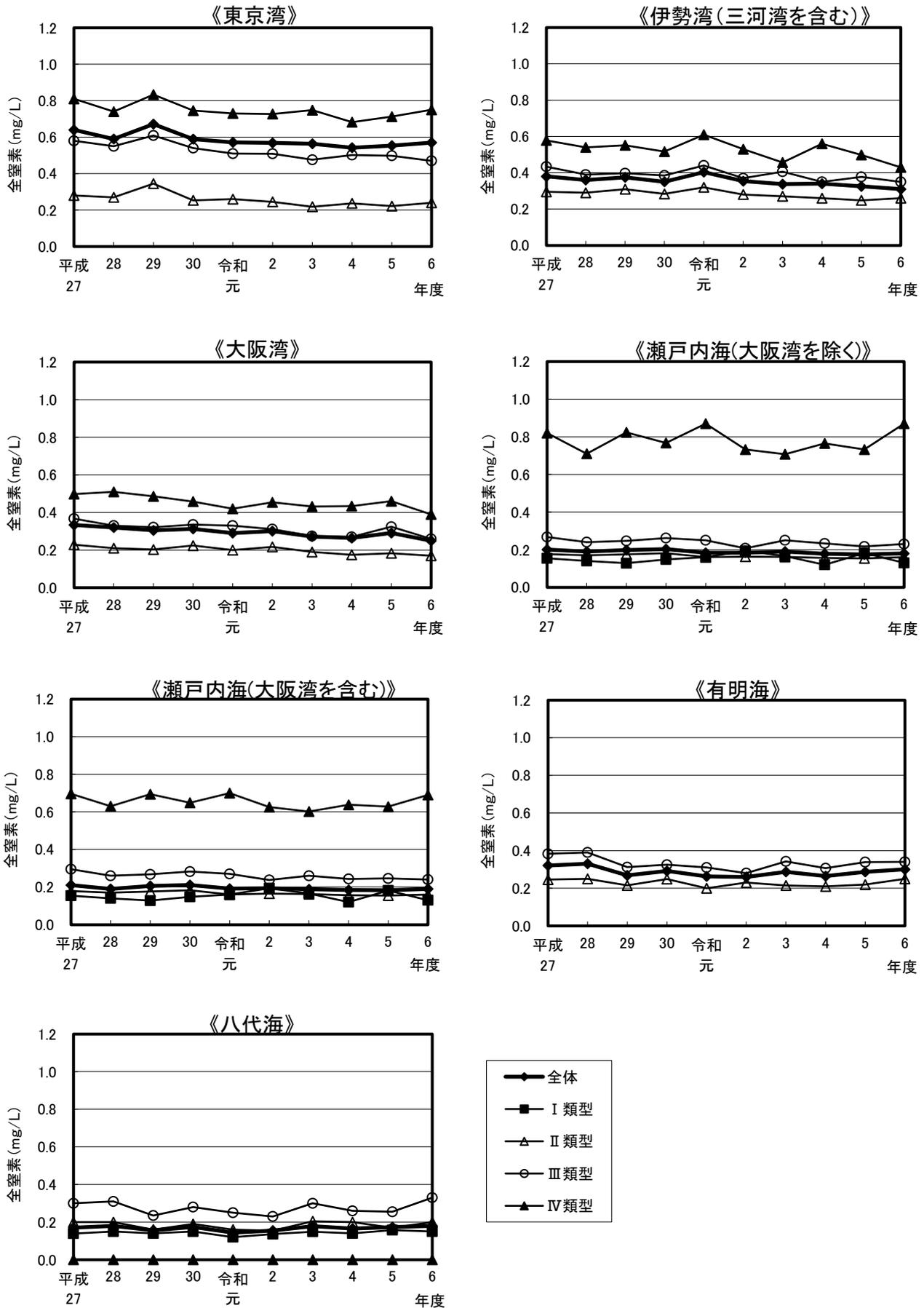


図13-2 広域的な閉鎖性海域における全燐の種類別の濃度推移

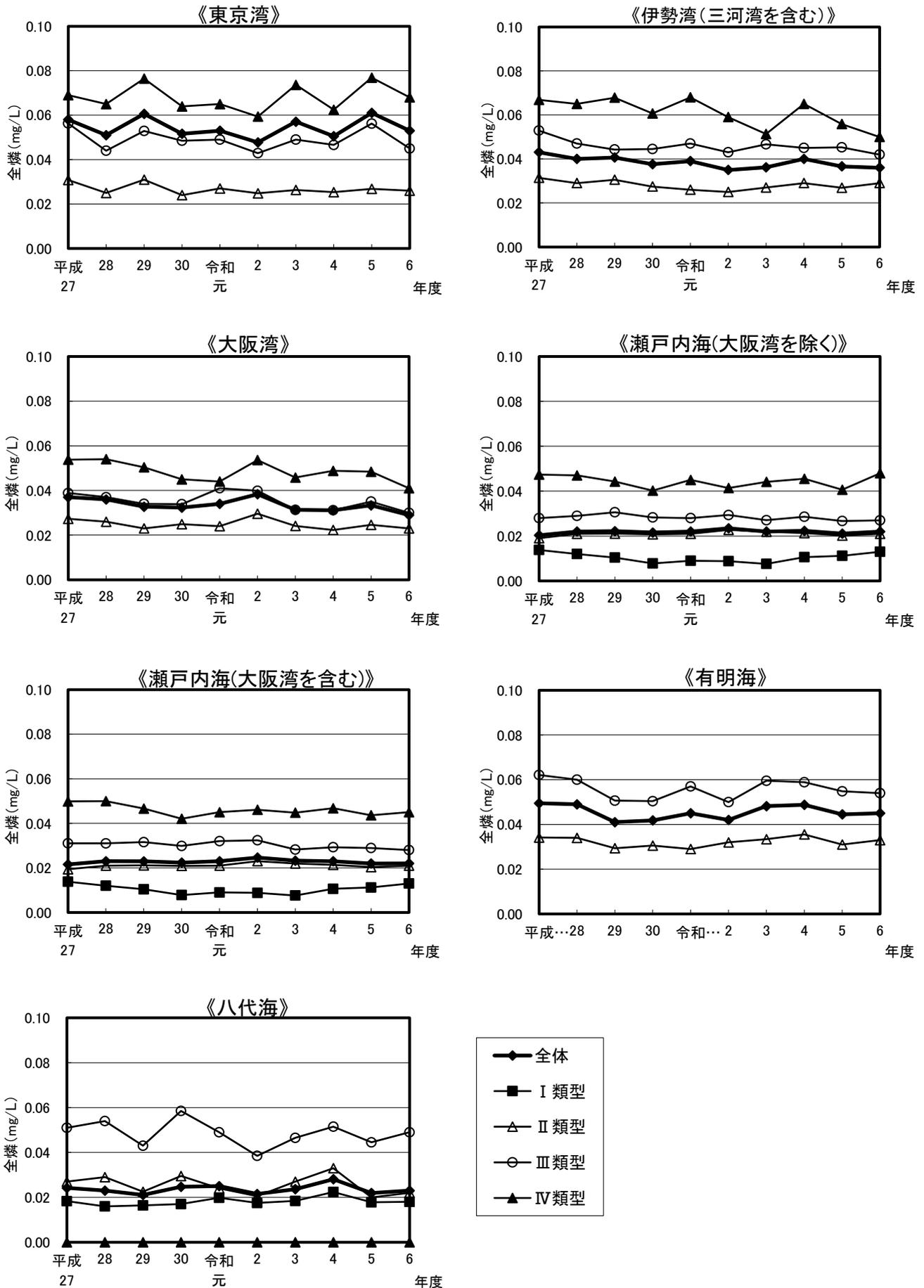


表17-1 水生生物保全に係る環境基準の達成状況(全亜鉛)

《 河 川 》

類 型	水域数		達成水域数		達成率(%)	
	令和6年度	令和5年度	令和6年度	令和5年度	令和6年度	令和5年度
生物A	597	596	596	595	99.8	99.8
生物特A	32	31	32	31	100.0	100.0
生物B	685	677	661	658	96.5	97.2
生物特B	2	2	2	2	100.0	100.0
合 計	1,316	1,306	1,291	1,286	98.1	98.5

《 湖 沼 》

類 型	水域数		達成水域数		達成率(%)	
	令和6年度	令和5年度	令和6年度	令和5年度	令和6年度	令和5年度
生物A	83	82	83	82	100.0	100.0
生物特A	0	0	0	0	-	-
生物B	35	34	35	34	100.0	100.0
生物特B	5	5	5	5	100.0	100.0
合 計	123	121	123	121	100.0	100.0

《 海 域 》

類 型	水域数		達成水域数		達成率(%)	
	令和6年度	令和5年度	令和6年度	令和5年度	令和6年度	令和5年度
生物A	13	14	13	14	100.0	100.0
生物特A	32	29	31	29	96.9	100.0
合 計	45	43	44	43	97.8	100.0

《 全 体 》

	水域数		達成水域数		達成率(%)	
	令和6年度	令和5年度	令和6年度	令和5年度	令和6年度	令和5年度
合 計	1,484	1,470	1,458	1,450	98.2	98.6

注：令和5年度調査は、令和4年度までに類型指定がなされた水域のうち、有効な測定結果が得られた水域について取りまとめたものである。

表17-2 水生生物保全に係る環境基準の達成状況(ノニルフェノール)

《 河 川 》

類 型	水域数		達成水域数		達成率(%)	
	令和6年度	令和5年度	令和6年度	令和5年度	令和6年度	令和5年度
生物A	532	516	532	516	100.0	100.0
生物特A	31	31	31	31	100.0	100.0
生物B	653	641	652	640	99.8	99.8
生物特B	2	2	2	2	100.0	100.0
合 計	1,218	1,190	1,217	1,189	99.9	99.9

《 湖 沼 》

類 型	水域数		達成水域数		達成率(%)	
	令和6年度	令和5年度	令和6年度	令和5年度	令和6年度	令和5年度
生物A	82	83	82	83	100.0	100.0
生物特A	0	0	0	0	-	-
生物B	34	32	34	32	100.0	100.0
生物特B	5	5	5	5	100.0	100.0
合 計	121	120	121	120	100.0	100.0

《 海 域 》

類 型	水域数		達成水域数		達成率(%)	
	令和6年度	令和5年度	令和6年度	令和5年度	令和6年度	令和5年度
生物A	13	14	13	14	100.0	100.0
生物特A	32	29	32	29	100.0	100.0
合 計	45	43	45	43	100.0	100.0

《 全 体 》

	水域数		達成水域数		達成率(%)	
	令和6年度	令和5年度	令和6年度	令和5年度	令和6年度	令和5年度
合 計	1,384	1,353	1,383	1,352	99.9	99.9

注: 令和6年度調査は、令和5年度までに類型指定がなされた水域のうち、有効な測定結果が得られた水域について取りまとめたものである。

表17-3 水生生物保全に係る環境基準の達成状況
(直鎖アルキルベンゼンスルホン酸及びその塩)

《 河 川 》

類 型	水域数		達成水域数		達成率(%)	
	令和6年度	令和5年度	令和6年度	令和5年度	令和6年度	令和5年度
生物A	527	516	527	516	100.0	100.0
生物特A	31	31	31	31	100.0	100.0
生物B	643	636	642	636	99.8	100.0
生物特B	2	2	2	2	100.0	100.0
合 計	1,203	1,185	1,202	1,185	99.9	100.0

《 湖 沼 》

類 型	水域数		達成水域数		達成率(%)	
	令和6年度	令和5年度	令和6年度	令和5年度	令和6年度	令和5年度
生物A	82	83	82	83	100.0	100.0
生物特A	0	0	0	0	-	-
生物B	34	32	34	32	100.0	100.0
生物特B	5	5	5	5	100.0	100.0
合 計	121	120	121	120	100.0	100.0

《 海 域 》

類 型	水域数		達成水域数		達成率(%)	
	令和6年度	令和5年度	令和6年度	令和5年度	令和6年度	令和5年度
生物A	13	14	13	14	100.0	100.0
生物特A	32	29	32	29	100.0	100.0
合 計	45	43	45	43	100.0	100.0

《 全 体 》

	水域数		達成水域数		達成率(%)	
	令和6年度	令和5年度	令和6年度	令和5年度	令和6年度	令和5年度
合 計	1,369	1,348	1,368	1,348	99.9	100.0

注: 令和6年度調査は、令和5年度までに類型指定がなされた水域のうち、有効な測定結果が得られた水域について取りまとめたものである。

図14-1 全亜鉛濃度(年間平均値)の分布状況(地点数)

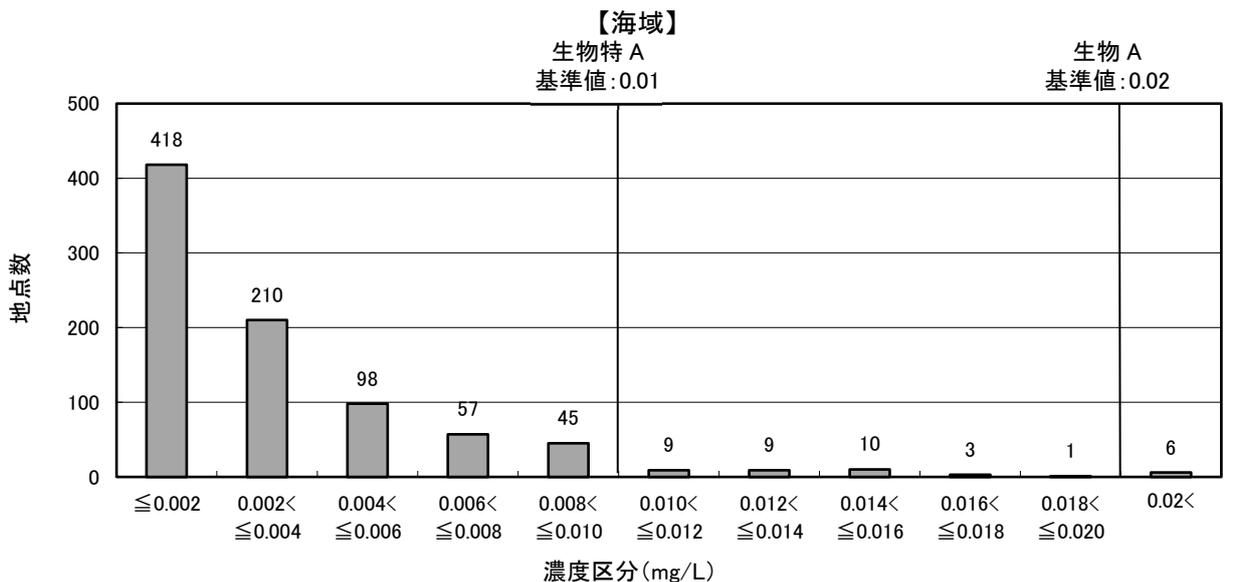
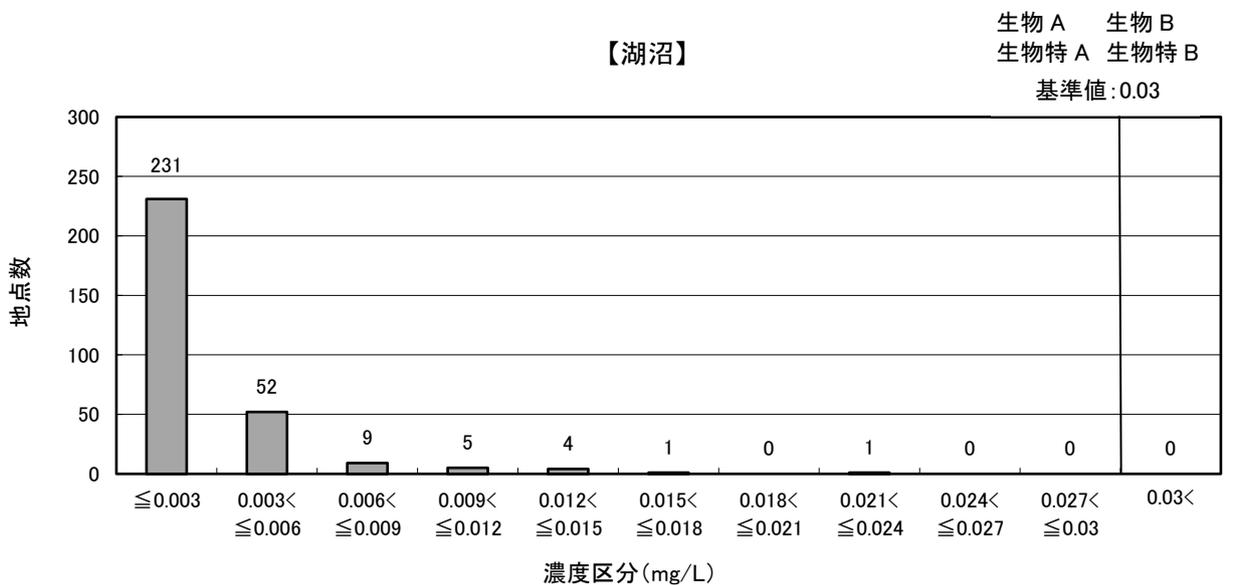
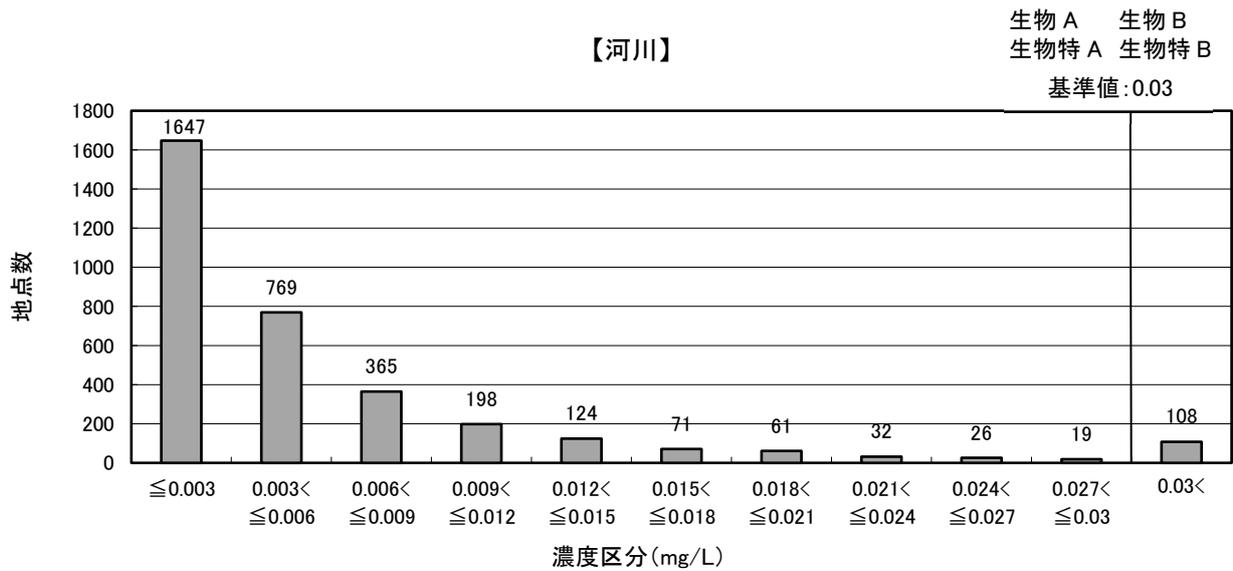


図14-2 ノニルフェノール濃度(年間平均値)の分布状況(地点数)

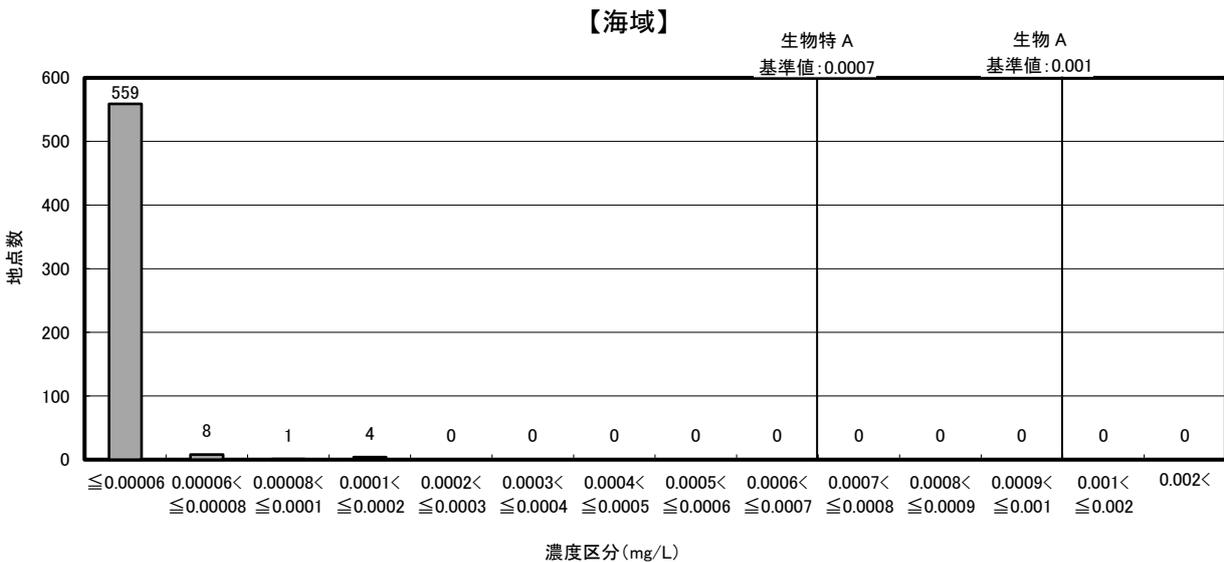
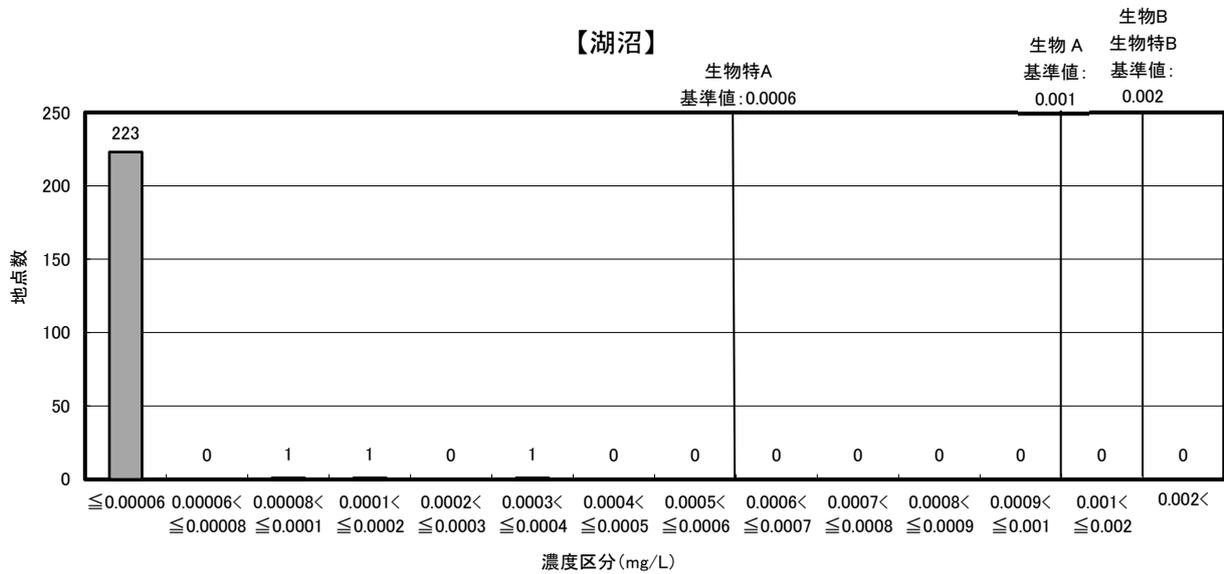
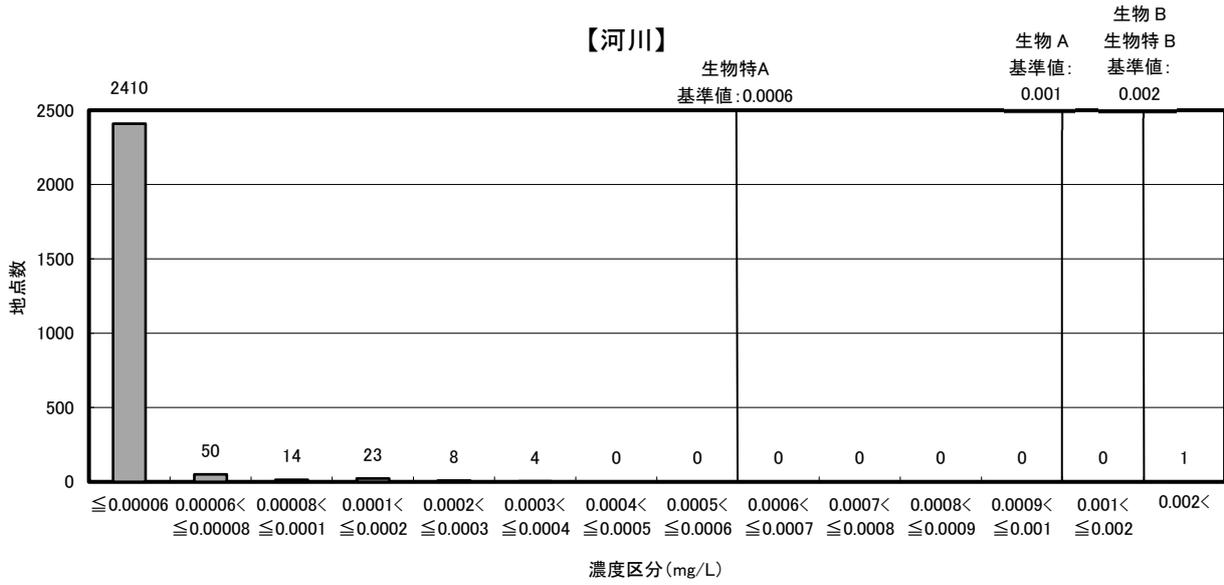


図14-3 直鎖アルキルベンゼンスルホン酸及びその塩濃度
(年間平均値)の分布状況(地点数)

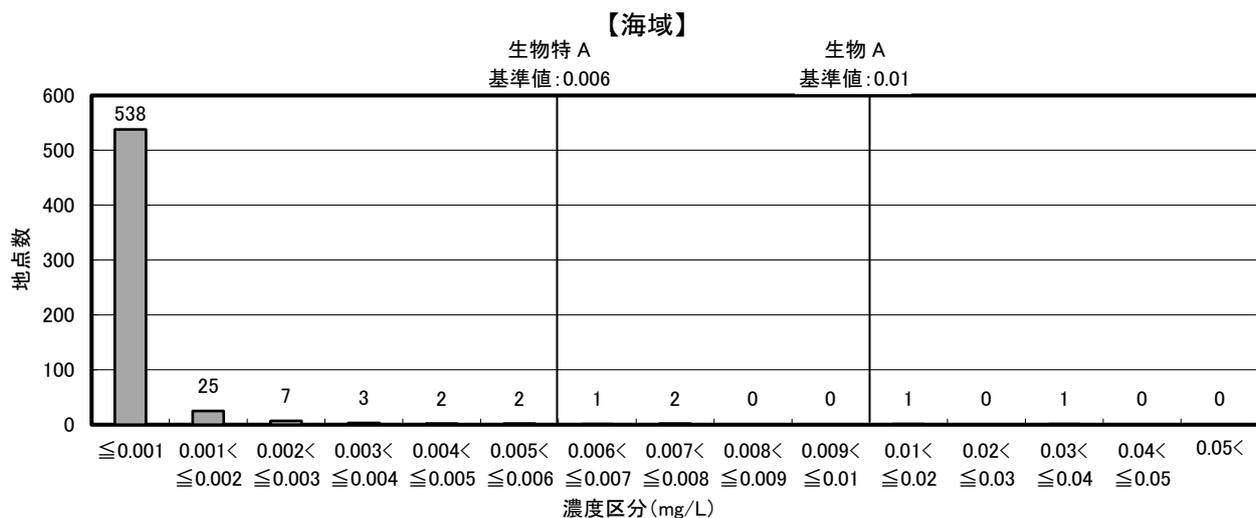
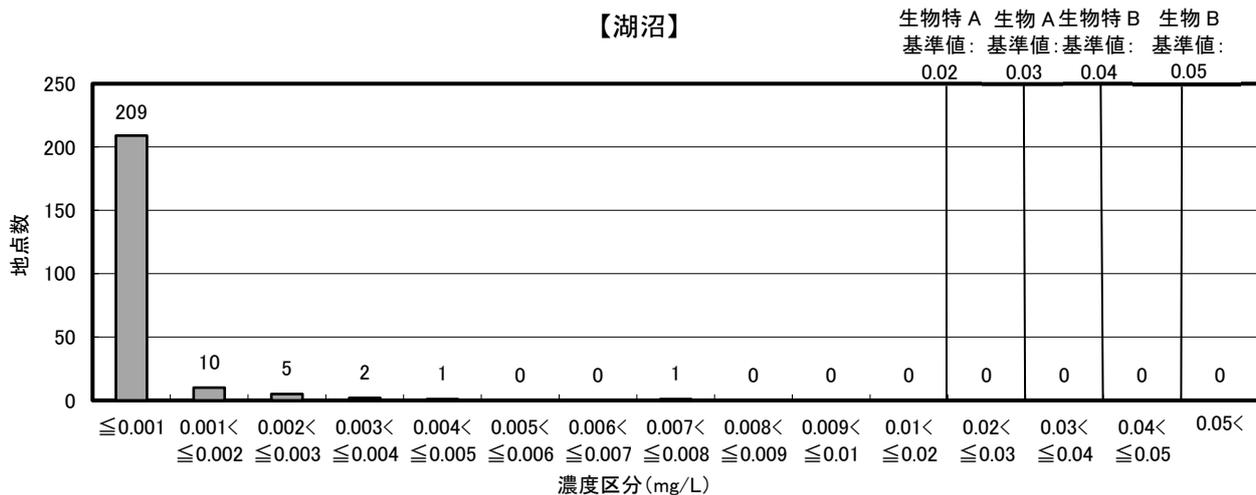
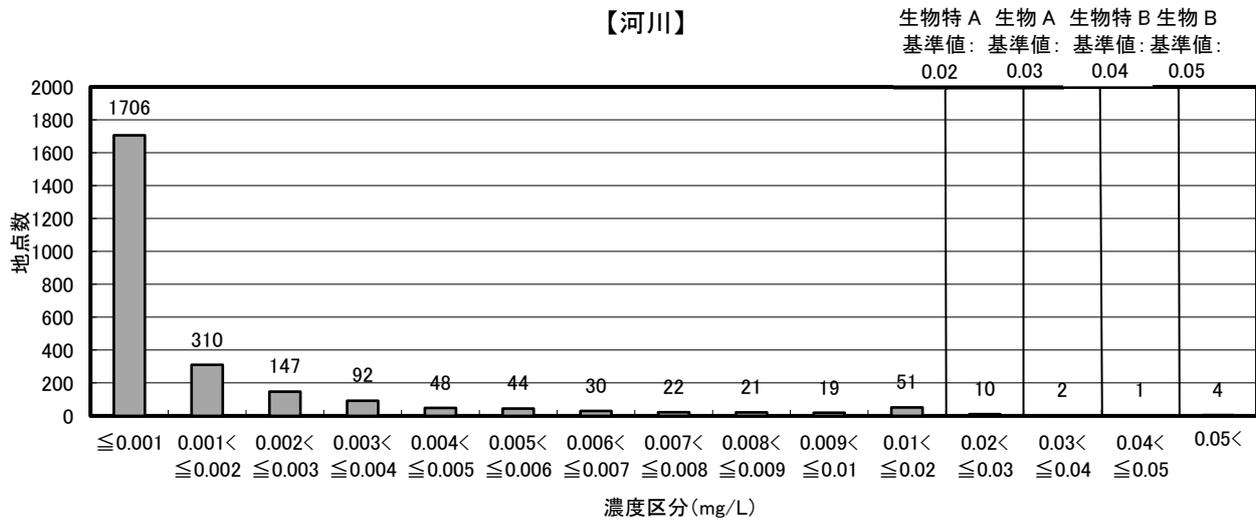


図15 底層溶存酸素量濃度(日間平均値の年間最低値)の分布状況(地点数)

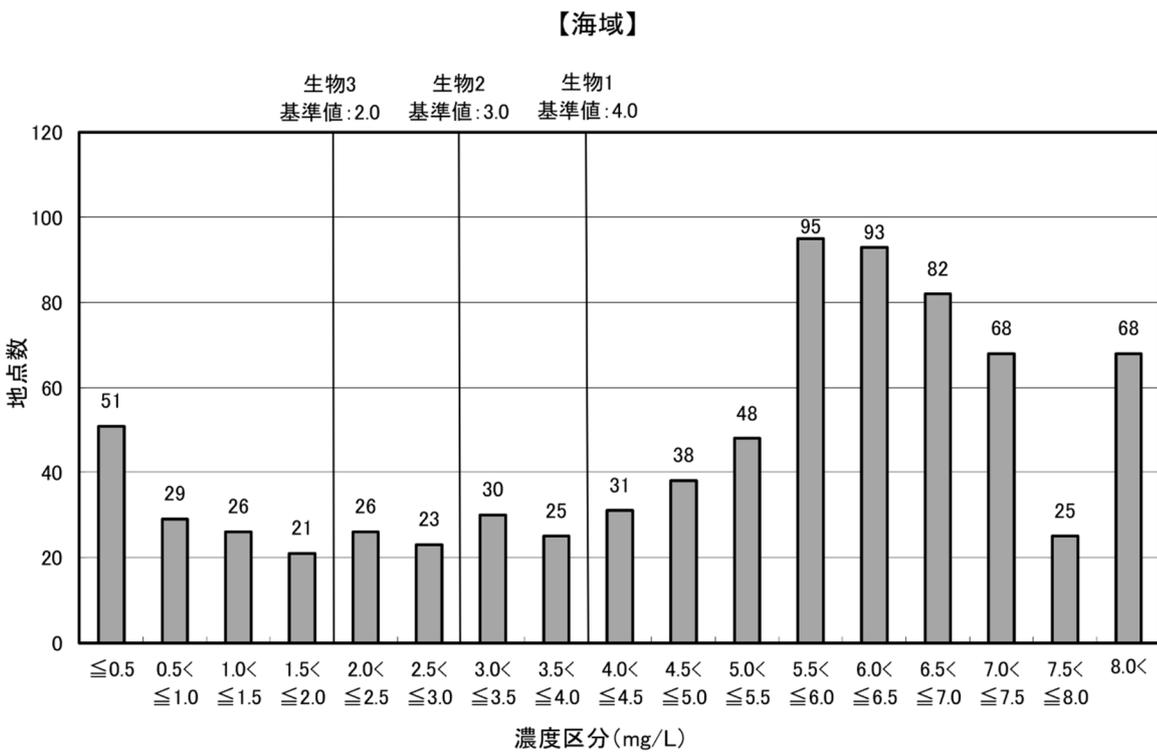
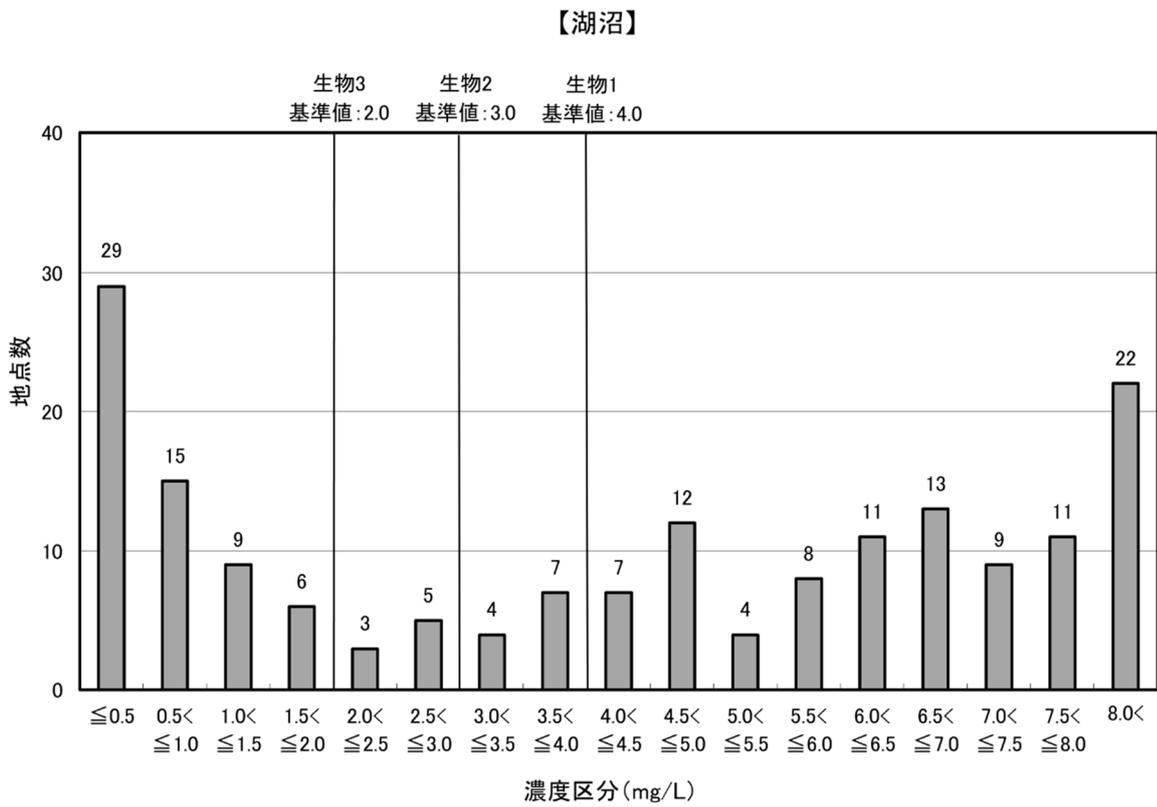


図16-1 トリハロメタン生成能の濃度(年間平均値)の分布状況(地点数)

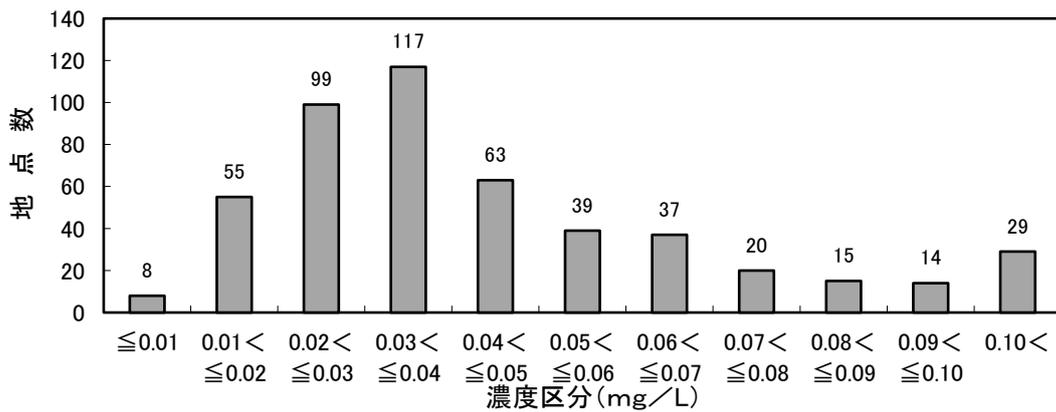


図16-2 トリハロメタン生成能の濃度推移(年間平均値)

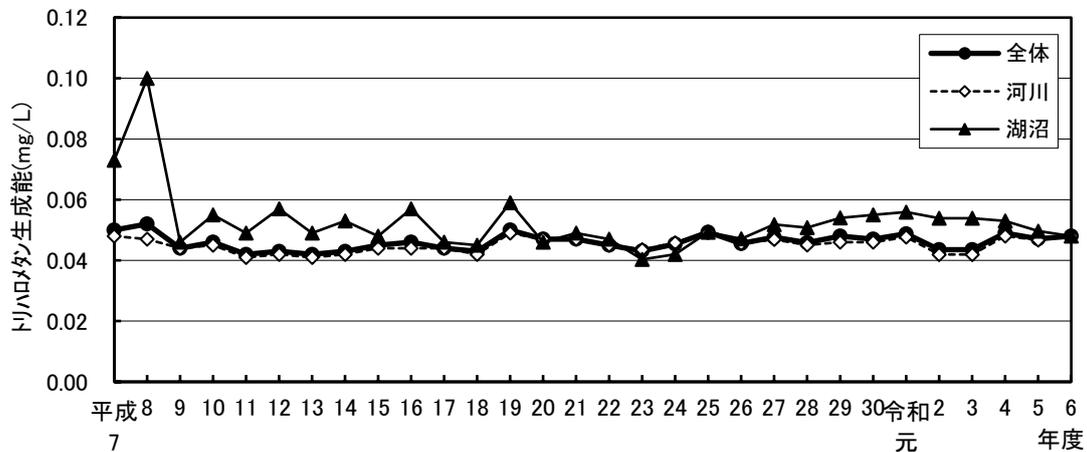


表18 トリハロメタン生成能の濃度推移(年間平均値)

年度		平成7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21
全体	平均値(mg/L)	0.050	0.052	0.044	0.046	0.042	0.043	0.042	0.043	0.045	0.046	0.044	0.043	0.050	0.047	0.047
	濃度範囲(mg/L)	0.0012 ~1.2	0.0024 ~1.5	0.0004 ~0.19	0.0050 ~0.20	0.0004 ~0.26	0.0083 ~0.27	0.0030 ~0.22	0.0034 ~0.26	0.0050 ~0.31	0.0040 ~0.26	0.0050 ~0.24	0.0005 ~0.37	0.0005 ~0.48	0.001 ~0.29	0.0013 ~0.15
	地点数	335	434	424*	409	460	473	483	473	496	523	538	557	518	522	537
河川	平均値(mg/L)	0.048	0.047	0.044	0.045	0.041	0.042	0.041	0.042	0.044	0.044	0.044	0.042	0.049	0.047	0.047
	濃度範囲(mg/L)	0.0012 ~1.2	0.0024 ~0.78	0.0004 ~0.19	0.0050 ~0.20	0.0040 ~0.26	0.0083 ~0.25	0.0030 ~0.22	0.0034 ~0.26	0.0050 ~0.31	<0.0050 ~0.26	<0.0050 ~0.24	0.0005 ~0.37	0.0005 ~0.47	0.001 ~0.29	0.0013 ~0.15
	地点数	309	399	388	377	420	433	438	431	450	475	477	494	459	467	475
湖沼	平均値(mg/L)	0.073	0.100	0.046	0.055	0.049	0.057	0.049	0.053	0.048	0.057	0.046	0.045	0.059	0.046	0.049
	濃度範囲(mg/L)	0.014 ~0.46	0.0097 ~1.5	0.011 ~0.13	0.0085 ~0.12	0.0004 ~0.15	0.011 ~0.27	0.0070 ~0.15	0.0090 ~0.16	0.0070 ~0.13	0.013 ~0.26	0.010 ~0.18	0.0083 ~0.11	0.010 ~0.48	0.009 ~0.11	0.009 ~0.12
	地点数	26	35	36	32	40	40	45	42	46	48	61	63	59	55	62

年度		平成22	23	24	25	26	27	28	29	30	令和元	2	3	4	5	6
全体	平均値(mg/L)	0.045	0.043	0.045	0.049	0.046	0.048	0.046	0.048	0.047	0.049	0.044	0.043	0.049	0.047	0.048
	濃度範囲(mg/L)	0.0013 ~0.27	0.0038 ~0.37	0.0070 ~0.41	<0.0013 ~0.44	<0.001 ~0.38	<0.0013 ~0.19	0.003 ~0.25	0.001 ~0.28	0.0013 ~0.28	<0.0013 ~0.23	<0.0013 ~0.22	<0.004 ~0.18	<0.004 ~0.64	<0.004 ~0.21	<0.004 ~0.35
	地点数	549	528	513	505	504	513	512	507	494	484	488	494	508	494	496
河川	平均値(mg/L)	0.045	0.044	0.046	0.049	0.046	0.047	0.045	0.046	0.046	0.048	0.042	0.043	0.048	0.047	0.048
	濃度範囲(mg/L)	0.0013 ~0.27	0.0038 ~0.37	0.0081 ~0.41	<0.0013 ~0.44	<0.0013 ~0.38	<0.0013 ~0.19	0.003 ~0.25	0.001 ~0.28	0.0013 ~0.28	<0.0013 ~0.23	<0.0013 ~0.22	<0.005 ~0.18	<0.005 ~0.64	<0.005 ~0.21	0.0065 ~0.35
	地点数	484	438	445	432	429	439	441	437	429	421	423	429	442	427	431
湖沼	平均値(mg/L)	0.047	0.040	0.042	0.049	0.047	0.052	0.051	0.054	0.055	0.056	0.054	0.048	0.053	0.050	0.048
	濃度範囲(mg/L)	0.010 ~0.12	0.010 ~0.14	0.0070 ~0.19	0.010 ~0.10	<0.001 ~0.11	0.012 ~0.14	0.0095 ~0.13	0.01 ~0.19	0.011 ~0.21	<0.0013 ~0.23	<0.0013 ~0.21	<0.004 ~0.15	<0.004 ~0.23	<0.004 ~0.17	<0.004 ~0.14
	地点数	65	70	68	73	75	74	71	70	65	63	65	65	66	67	65

*平成9年度における海域5地点の調査データは除く。

表19-1 人の健康の保護に係る要監視項目の指針値超過状況(令和6年度)

項目名・指針値(mg/L以下)	水域	河川			湖沼			海域			調査都道府県数
		調査地点数	超過地点数	超過率(%)	調査地点数	超過地点数	超過率(%)	調査地点数	超過地点数	超過率(%)	
クロロホルム	0.06	797	0	0	31	0	0	112	0	0	39
トランス-1,2-ジクロロエチレン	0.04	634	0	0	23	0	0	69	0	0	40
1,2-ジクロロプロパン	0.06	634	0	0	23	0	0	69	0	0	40
p-ジクロロベンゼン	0.2	640	0	0	23	0	0	69	0	0	41
イソキサチオン	0.008	644	0	0	26	0	0	69	0	0	41
ダイアジノン	0.005	630	0	0	25	0	0	69	0	0	41
フェニトロチオン(MEP)	0.003	651	0	0	29	0	0	69	0	0	41
イソプロチオラン	0.04	681	0	0	30	0	0	69	0	0	41
オキシ銅(有機銅)	0.04	633	0	0	23	0	0	62	0	0	40
クロロタロニル(TPN)	0.05	638	0	0	25	0	0	69	0	0	41
プロピザミド	0.008	616	0	0	24	0	0	69	0	0	40
EPN	0.006	763	0	0	42	0	0	125	0	0	41
ジクロロボス(DDVP)	0.008	607	0	0	24	0	0	69	0	0	40
フェノブカルブ(BPMC)	0.03	626	0	0	24	0	0	69	0	0	40
イプロベンホス(IBP)	0.008	615	0	0	25	0	0	69	0	0	40
クロルニトロフェン(CNP)	-	596	-	-	25	-	-	69	-	-	40
トルエン	0.6	692	0	0	24	0	0	83	0	0	41
キシレン	0.4	673	0	0	24	0	0	84	0	0	41
フタル酸ジエチルヘキシル	0.06	678	0	0	20	0	0	55	0	0	41
ニッケル	-	937	-	-	28	-	-	93	-	-	43
モリブデン	0.07	697	1	0.1	21	0	0	69	0	0	43
アンチモン	0.02	699	4	0.6	21	0	0	59	0	0	42
塩化ビニルモノマー	0.002	580	0	0	21	0	0	55	0	0	37
エピクロロヒドリン	0.0004	508	0	0	18	0	0	56	0	0	40
全マンガン	0.2	875	23	2.6	45	6	13.3	73	0	0	42
ウラン	0.002	549	2	0.4	22	0	0	69	61	88.4	37
ペルフルオロオクタンスルホン酸(PFOS)及びペルフルオロオクタン酸(PFOA)	0.00005*	1,469	132	9.0	37	1	2.7	115	0	0	47

注: 1) 評価は年間平均濃度による。

2) PFOS及びPFOAの指針値については、PFOS及びPFOAの合計値とする(令和7年6月30日環水大管発第2506309号による)。

3) 指針値は平成16年3月31日付け環境省環境管理局水環境部長通知による。

4) 一般的な海水中のウラン濃度は、0.003mg/L程度といわれている(出典:理科年表環境編(平成24年))。

表19-2 人の健康の保護に係る要監視項目の指針値超過状況
(平成6年度～令和6年度累計)

項目名・指針値(mg/L以下)	水 域	河 川			湖 沼			海 域		
		調査 地点数	超過 地点数	超過率 (%)	調査 地点数	超過 地点数	超過率 (%)	調査 地点数	超過 地点数	超過率 (%)
クロロホルム	0.06	26,004	1	0.004	1,357	1	0.074	4,439	0	0
トランス-1,2-ジクロロエチレン	0.04	21,058	0	0	977	0	0	3,107	0	0
1,2-ジクロロプロパン	0.06	21,067	0	0	978	0	0	3,081	0	0
p-ジクロロベンゼン	0.2	21,591	0	0	975	0	0	3,069	0	0
イソキサチオン	0.008	21,676	1	0.005	891	0	0	2,735	0	0
ダイアジノン	0.005	21,912	0	0	892	0	0	2,734	0	0
フェニトロチオン(MEP)	0.003	22,980	6	0.026	917	0	0	2,735	0	0
イソプロチオラン	0.04	22,641	1	0.004	929	0	0	2,734	0	0
オキシ銅(有機銅)	0.04	20,133	0	0	829	0	0	2,261	0	0
クロロタロニル(TPN)	0.05	21,616	0	0	880	0	0	2,746	0	0
プロピザミド	0.008	21,114	0	0	875	0	0	2,746	0	0
EPN	0.006	32,252	0	0	2,084	0	0	6,027	0	0
ジクロロボス(DDVP)	0.008	21,285	0	0	876	0	0	2,749	0	0
フェノブカルブ(BPMC)	0.03	21,600	0	0	873	0	0	2,733	0	0
イプロベンホス(IBP)	0.008	21,834	8	0.037	939	0	0	2,747	0	0
クロルニトロフェン(CNP)	-	21,966	-	-	920	-	-	2,747	-	-
トルエン	0.6	21,641	0	0	977	0	0	3,381	0	0
キシレン	0.4	21,388	0	0	989	0	0	3,407	0	0
フタル酸ジエチルヘキシル	0.06	18,256	0	0	749	0	0	2,406	0	0
ニッケル	-	26,456	-	-	1,001	-	-	3,255	-	-
モリブデン	0.07	20,456	18	0.088	776	0	0	2,746	0	0
アンチモン	0.02	21,145	91	0.43	835	0	0	2,486	1	0.04
塩化ビニルモノマー	0.002	10,418	4	0.038	496	0	0	1,426	0	0
エピクロロヒドリン	0.0004	9,995	29	0.29	486	0	0	1,463	1	0.07
全マンガン	0.2	16,282	440	2.7	885	71	8.0	1,722	3	0.17
ウラン	0.002	11,304	110	0.97	581	4	0.69	1,572	1,227	78
ペルフルオロオクタンスルホン酸(PFOS)及びペルフルオロオクタン酸(PFOA)	0.00005 (暫定)*	3,661	273	7.5	134	2	1.5	410	0	0

注：1) 平成6年度以降の公共用水域における要監視項目の指針値超過状況を取りまとめたものである。

2) 評価は年間平均濃度による。

3) PFOS及びPFOAの指針値(暫定)については、PFOS及びPFOAの合計値とする。

4) 指針値は平成16年3月31日付け環境省環境管理局水環境部長通知によることとし、指針値が変更された項目については変更後の超過状況を計上している。

5) 一般的な海水中のウラン濃度は、0.003mg/L程度といわれている(出典：理科年表環境編(平成24年))。

表19-3 水生生物保全に係る要監視項目の指針値超過状況(令和6年度)

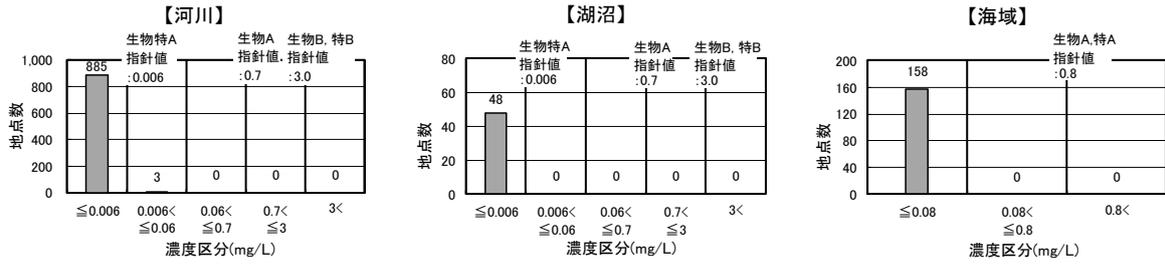
項目名	河川			湖沼			海域			調査都道府県数
	調査地点数	超過地点数	超過率(%)	調査地点数	超過地点数	超過率(%)	調査地点数	超過地点数	超過率(%)	
クロロホルム	888	0	0	48	0	0	158	0	0	41
フェノール	624	0	0	33	0	0	121	0	0	35
ホルムアルデヒド	652	0	0	34	0	0	111	0	0	34
4-tert-オクチルフェノール	623	0	0	40	0	0	100	0	0	38
アニリン	589	0	0	39	0	0	93	0	0	37
2,4-ジクロロフェノール	584	0	0	39	0	0	93	0	0	37

注：1) 評価は年間平均濃度による。

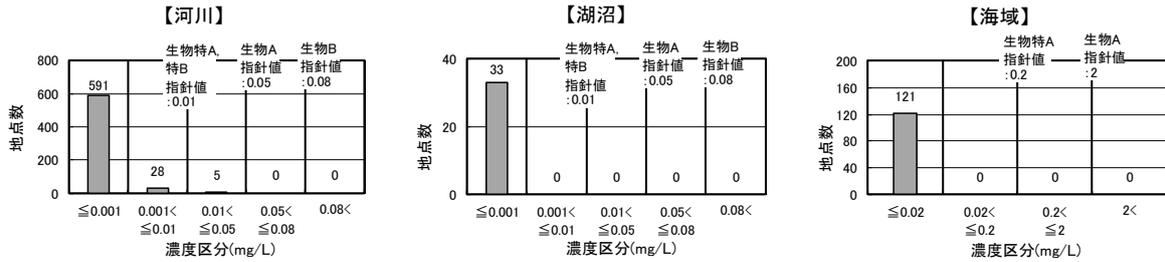
2) 指針値は平成16年3月31日付け環境省環境管理局水環境部長通知による。

図17 水生生物保全に係る要監視項目の濃度分布状況

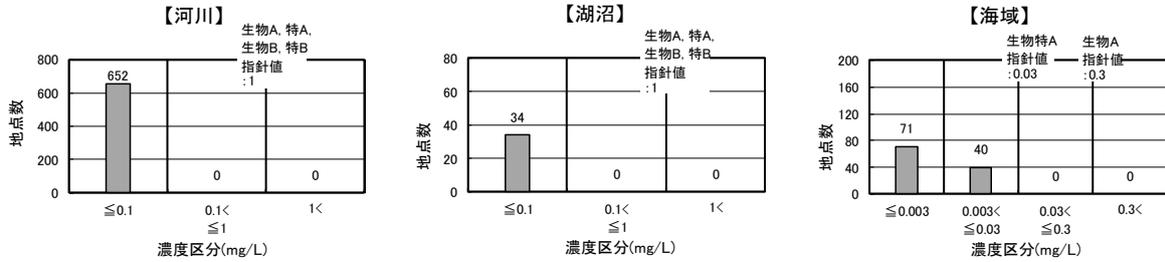
《クロロホルム》



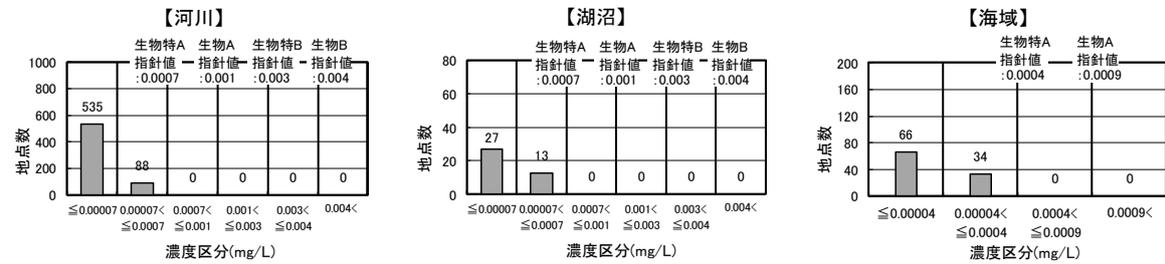
《フェノール》



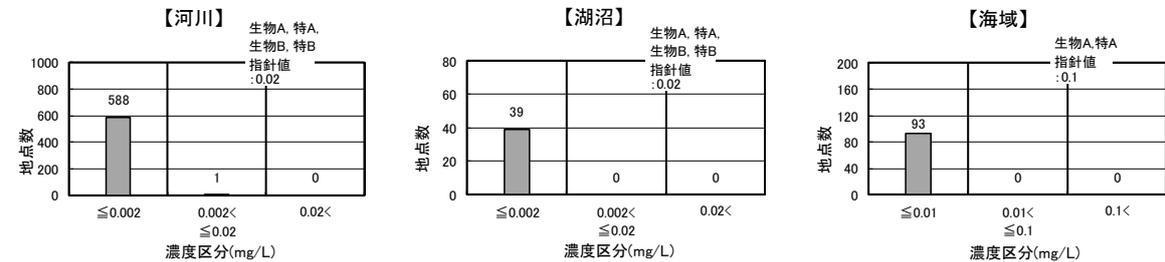
《ホルムアルデヒド》



《4-t-オクチルフェノール》



《アニリン》



《2,4-ジクロロフェノール》

